



## DS-7200-SH/SV&DS-7300-SH Series DVR

ユーザーマニュアル

## COPYRIGHTNOTICE

Copyright©2010byHIKVISIONTechnologyCorp.Allrightsreserved.

- ※ 本製品の仕様は改良のため、予告なく変更することがございます。その際、取扱説明書の内容と異なる部分が生じることがございますので、ご了承下さい。
- ※ 本取扱説明書に掲載されている全ての画像、文章、データ等の無断転用、転載をお断りします。

## 規制情報

### FCC 情報

FCC 準拠：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part15 に規定され、デジタル装置の制限に適合することが判明しました。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生、使用し、また放射無線周波数エネルギーとは、取扱説明書に従って設置および使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。この装置を住宅地域では、ユーザー側の負担で干渉に対処する必要があります、その場合に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

### FCC 条件

この装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従います。

1. このデバイスによって、有害な干渉が発生することはありません。
2. このデバイスは、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れなければなりません。

### EU の適合宣誓書



本製品および-該当する場合-付属品は、“CE”のマークが付いており、低電圧指令 2006/95/EC、EMC 指令 2004/108/EC の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



2002/96/EC (WEEE 指令)：この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) などの地方自治体の廃棄物処理処分することはできません。適切な製品のリサイクルについては、同等の新しい機器の購入時にお近くのサプライヤにこの製品を返すか、指定された収集のポイントでそれを処分してください。詳細については以下を参照してください。 [www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)



2006/66/EC (電池指令)：この製品は欧州連合 (EU) などの地方自治体の廃棄物処理処分することができないバッテリーが含まれています。特定のバッテリー情報については、製品マニュアルを参照してください。電池はカドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg として) を示すためにレタリングを含むことができるこのマークが付いています。適切な製品のリサイクルについては、仕入先、または指定された収集場所にバッテリーを返す。詳細については以下を参照してください。

[www.recyclethis.info](http://www.recyclethis.info)

# 本取扱説明書について

このたび HIKVISION DVR をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。ご質問やリクエストがある場合は、ご購入の販売店、ディーラーにご連絡をください。

ご使用前に、本マニュアルと、設置マニュアルをよくお読みください。

- お使いのデバイスを接続して操作する前に、下記の項目にご注意ください：
- 機器は換気の良い、埃のない環境に設置してください。
- 本機は屋内専用設計されています。屋外への設置はおやめください。
- 機器に液体をこぼさないでください。
- 環境条件が機器の仕様を満たしていることを確認してください。
- 機器が正しくラックや棚に固定されているか確認してください。それを守らない結果として機器に衝撃や振動が発生し、機器内の電子機器に損傷を引き起こす可能性があります。
- 電源環境の悪い場所では、UPS（無停電電源装置）を接続して機器を使用してください。
- アクセサリーや周辺機器を接続する時、シャットダウンする前に機器の電源をお切りください。
- 工場出荷時の推奨HDDは、このデバイスとの相性を確認したのになりますので交換の際、相性の悪いHDDを装着した場合、故障やエラーの原因となりますのでご注意ください。
- 不適切な使用や部品の交換は、爆発の危険性がありますのでおやめください。

# DVR 設置前の準備

HIIVISION DVR は非常に高度な監視装置です。設置の前に次のステップを確認ください。

1. 液体類をすべて本体から離してください。
2. よく換気され埃のない環境にDVRを設置してください。
3. 環境条件が仕様範囲に合致していることを確認してください。
4. メーカーより推奨されたHDDを装着してください。

# DVR 設置上の注意

設置環境：

1. ラック装備の場合はブラケットを使用して、キャビネットと固定してください。
2. 接続するオーディオおよび映像ケーブルの広いスペースがあることを確認してください。
3. ケーブルを接続する場合、ケーブルの曲げ状況にストレスがないかなど十分に確認する。
4. アラーム/通信機能使用の時はアラームおよびRS-485ケーブルの両方を接続してください。
5. 装置を複数台設置の場合、その間隔は少なくとも周囲2cm以上のスペースを空けてください。
6. 雷、サージ対策のため、DVRがアースされることを確認してください。
7. 環境温度は-10°C~+55°Cの範囲内にある事。
8. 環境湿度は、10%~90%の範囲内にある事。

# 製品の主な特長

## 製品の主な特徴

### 一般

- NTSC/PAL 自動適応型ビデオ入力。
- 高い信頼性と優れた定義を持つ H.264 ビデオ圧縮方式を採用。
- 最大WD1までの録画、再生が可能（NTSC：960×480、PAL：960×576）、DS-7204HWI-SV、DS-7200HWI-SH、DS-7200HVI-SVとDS-7300HWI-SH。最大4CIFまでの録画、再生が可能。DS-7200HVI-SH、DS-7200HFI-SHとDS-7300HFI-SH。
- 各チャンネルは、デュアルストリームに対応。
- 解像度、フレームレート、ビットレート、画質を含む各チャンネルなどの独立した設定が可能。
- 通常とイベント録画パラメータは、個々のカメラごとに設定が可能。
- デュアルストリームのエンコード時に音声と映像の同期、音声/映像コンポジットストリームとビデオストリームの両方に対してエンコーディングが可能。

### ローカル監視

- HDMI/VGAおよびCVBS（BNCアナログビデオ出力）が同時出力可能。
- HDMI/VGA出力は最大1920×1080の解像度まで対応。
- 1/4/6/8/9/16フルリアルライブ表示、画面中の表示順序、配置が調整可能。
- ライブビュー画面はグループに切り換えることができ、手動スイッチと自動切替表示の切替間隔を調整することができます。
- クイック設定メニューがライブビューのために提供されています。
- 動体検知、遮断検知、異常検知とビデオロスアラーム機能。
- プライバシーマスク機能。
- 複数のPTZプロトコルがサポートされ、設定やPTZプリセット、パトロールを行ってパターンの呼び出しが可能。
- マウスをドラッグして、マウスをクリックするとPTZは、トレースすることによってズームインが可能。

### HDD の管理

- SATA HDDは1台サポート、DS-7200HVI-SH、DS-7200HVI-SV、DS-7204HFI-SH、DS-7204HWI-SV と DS-7204HWI-SH。SATA HDDは2台サポート、DS-7208/7216HFI-SH と DS-7208/7216HWI-SH。SATA HDDは4台サポート、DS-7300HFI-SH と DS-7300HWI-SH。容量は最大4TBまで対応します。
- 8ネットワークディスク（8 NAS のディスク、または7の NAS ディスク1 IP SAN のディスク）を接続することができます。
- HDD のグループ管理。
- HDD スタンバイ機能をサポートしています。

- HDDのプロパティ：冗長性は、読み取り専用（R/W）の読み込み/書き込みを行います。
- HDDのクォータ管理、異なる容量は異なるチャンネルを割り当てることができます。

## 録音、撮影、再生

- 休日録画スケジュールの設定が可能。
- 通常とイベントのビデオ符号化パラメータを設定可能。
- 複数の録画タイプ：手動、通常、動体検知。
- 独立した記録タイプで8録画時間帯が可能。
- 動体検知記録検出、スケジュールおよび手動記録用プリレコード時間のプリレコードとポスト録画。
- イベントによって録画ファイルを検索可能。
- タグのカスタマイズ、検索やタグで再生可能。
- 録画ファイルのロックとロック解除機能。
- ローカル冗長録画。
- チャンネル番号、録画タイプでファイルを検索、再生可能。
- ビデオの中の選択した領域のスマート検索が可能。
- 再生時電子ズーム、逆再生。
- 4/8/16-chは同期再生サポート。最大WD1で再生が可能、DS-7204HWI-SV、DS-7200HWI-SH、DS-7200HVI-SVとDS-7300HWI-SH。最大4CIFで再生が可能。DS-7200HVI/HFI-SHとDS-7300HFI-SH。

## バックアップ

- USB、SATAまたはeSATAデバイスでビデオデータをエクスポートします。
- 再生時ビデオクリップをエクスポートします。
- バックアップデバイスの管理と保守。

## アラームと異常

- アラーム入力/出力のアーミング時間が設定可能。
- ビデオロス、動体検知、遮断、異常検知、ビデオ入力/出力規格の不一致、不正ログイン、ネットワーク切断、IP競合、異常な記録、HDDエラー、およびHDDフルなどのアラーム機能。
- アラームイベントが監視センターに通知して電子メールを送信すると、フルスクリーンの監視、音声アラームをトリガします。
- システムに異常がある場合、自動で復元します。

## 他のローカル関数

- フロントパネル、マウス、リモコン、および制御キーボードで操作が可能。  
3レベルのユーザー管理、管理者ユーザーは、多くのオペレーティングアカウントを作

成し、任意のチャンネルにアクセスするための制限を含む操作権限を設定可能。

## ネットワーク機能

- 1 自己適応 10M/100M ネットワークインターフェイス。
- IPv6 のサポート。
- TCP / IP プロトコルは、PPPoE、DHCP、DNS、DDNS、NTP、SADP、SMTP、SNMP、UPnP™を、NFS、および iSCSI をサポート。
- ユニキャスト用の TCP、UDP、および RTP。
- リモート検索、再生、ダウンロードは、ロックと録画ファイルのロック解除。
- リモートパラメータの設定、デバイスパラメータのリモートインポート/エクスポート。
- デバイスの状態、システムログ、およびアラーム状態をリモートで表示。
- リモートロックとコントロールパネルとマウスのロック解除が可能。
- リモートで HDD をフォーマットして、プログラムのバージョンアップ。
- RS-485 の透明チャンネル伝送。
- アラームイベントおよび異常情報をリモートホストに送信することが可能。
- リモート開始/録音を停止します。
- リモート FTP サーバでのアップグレードが可能。
- リモート PTZ コントロール。
- 双方向オーディオおよび音声放送。

## 開発スケーラビリティ

- WindowsおよびLinuxシステム用SDK。
- デモ用のアプリケーションソフトウェアのソースコード。
- 開発支援及びアプリケーション・システムのための訓練。



## 構成品（付属品）

- 製品本体
- ハードディスク(内部装着)
- USBマウス
- ACアダプタ
- 接続用AC電源ケーブル
- 取扱説明書(製品保証書を含む)
- 赤外リモコン(単4電池2個を含む)
- CD-ROM(iVMS-4200ソフトウェア、PC再生ソフト、取扱説明書データ一式)

## 目録

COPYRIGHTNOTICE.....	2
1. 製品の紹介.....	13
1.1. フロントパネル.....	13
1.2. 赤外線リモコン操作.....	15
1.3. USB マウスの操作.....	18
1.4. ソフトキーボード.....	19
1.5. リアパネル.....	20
1.6. 起動とシャットダウン.....	22
2. 初め.....	24
2.1. セットアップウィザード.....	24
3. ライブ映像.....	28
3.1. ライブの紹介.....	28
3.2. ライブビューモードでの操作.....	29
3.2.1. ライブビューでマウスを使用する.....	29
3.2.2. 補助モニターを使用する.....	30
3.2.3. メイン/補助出力切替.....	30
3.2.4. クイック設定ツールバー.....	31
3.3. 表示設定.....	34
3.4. チャンネルゼロエンコーディング.....	36
3.5. ユーザーログアウト.....	37
4. PTZ.....	38
4.1. 設定の構成.....	38
4.2. プリセット、パトロール&パターン.....	39
4.2.1. カスタマイズプリセット.....	39
4.2.2. プリセットの呼び出し.....	39
4.2.3. カスタマイズパトロール.....	40
4.2.4. パトロールの呼び出し.....	42
4.2.5. カスタマイズパターン.....	43
4.2.6. 呼び出しパターン.....	44
4.3. PTZ コントロールパネル.....	45
5. 録画.....	46
5.1. レコードパラメーター設定.....	46
5.2. 録画スケジュールの設定.....	50
5.3. 動体検知録画.....	54
5.4. 手動録画の設定.....	58
5.5. 休日の録画設定.....	59
5.6. 冗長化（ミラーリング）録画の設定.....	61
5.7. 録画用の HDD グループの設定.....	63
5.8. ファイルの保護.....	64
6. 再生.....	67
6.1. 録画ファイルの再生.....	67
6.1.1. チャンネルから再生.....	67
6.1.2. 指定時刻から再生する.....	70
6.1.3. 条件検索結果から再生.....	72
6.1.4. イベント検索して再生する.....	75
6.1.5. タグによる再生.....	78
6.1.6. システムログで再生.....	81
6.2. 再生の補助機能.....	83
6.2.1. フレーム単位での再生.....	83
6.2.2. スマート検索.....	83
6.2.3. デジタルズーム.....	85

7.	バックアップ.....	87
7.1.	録画ファイルのバックアップ .....	87
7.1.1.	クイックエクスポート .....	87
7.1.2.	ノーマルのビデオ検索結果によるバックアップ .....	89
7.1.3.	イベント検索によるバックアップ .....	92
7.1.4.	ビデオクリップのバックアップ .....	95
7.2.	バックアップデバイスの管理 .....	97
8.	アラーム設定.....	101
8.1.	動体検知の設定 .....	101
8.2.	ビデオロスを検出.....	104
8.3.	遮断検知 .....	105
8.4.	異常検知設定 .....	106
8.5.	アラーム応答アクションの設定.....	107
9.	ネットワークの設定.....	109
9.1.	一般設定 .....	109
9.2.	高度な設定.....	110
9.2.1.	PPPoE の設定を行う .....	110
9.2.2.	DDNS の設定 .....	110
9.2.3.	NTP サーバの設定 .....	113
9.2.4.	SNMP の設定.....	114
9.2.5.	UPnP の設定™.....	114
9.2.6.	リモートアラームのホストの設定 .....	116
9.2.7.	マルチキャストの設定 .....	117
9.2.8.	RTSP 設定.....	117
9.2.9.	設定サーバーおよび HTTP ポート .....	117
9.2.10.	Eメールの設定 .....	119
9.3.	ネットワークトラフィックの確認 .....	121
9.4.	ネットワークの検出.....	122
9.4.1.	ネットワーク遅延やパケットロスのテスト.....	122
9.4.2.	ネットワークパケットのエクスポート.....	122
9.4.3.	ネットワークの状態を調べる .....	124
10.	HDD 管理.....	126
10.1.	HDD 初期化 .....	126
10.2.	ネットワーク HDD 管理.....	128
10.3.	HDD グループ管理 .....	131
10.3.1.	HDD グループの設定 .....	131
10.3.2.	HDD のプロパティの設定 .....	132
10.4.	割当モードの設定.....	134
10.5.	HDD 状態確認.....	136
10.6.	S.M.A.R.T 情報 .....	138
10.7.	不良セクタ検出 .....	139
10.8.	HDD 異常検出設定 .....	140
11.	カメラ設定.....	141
11.1.	OSD の設定 .....	141
11.2.	プライバシーマスクの設定 .....	142
11.3.	ビデオパラメータの設定.....	143
12.	デバイスの管理とメンテナンス.....	145
12.1.	システム情報の表示.....	145
12.1.1.	デバイス情報の表示.....	145
12.1.2.	カメラ情報の表示 .....	145
12.1.3.	録画状態の表示.....	146
12.1.4.	ネットワーク状態を表示する .....	146

12.1.5.	HDD の情報を表示する.....	147
12.2.	ログファイルの検索とエクスポート .....	148
12.3.	設定ファイルのインポート/エクスポート .....	152
12.4.	システムのアップグレード.....	153
12.4.1.	ローカルバックアップデバイスによるアップグレード.....	153
12.4.2.	FTP によるアップグレード.....	153
12.5.	デフォルト設定の復元 .....	155
13.	その他.....	156
13.1.	基本設定の構成 .....	156
13.2.	RS-232 の設定.....	157
13.3.	DST の設定 .....	158
13.4.	詳細設定 .....	159
13.5.	ユーザーアカウントの管理.....	160
13.5.1.	ユーザーの追加.....	160
13.5.2.	ユーザーの削除.....	163
13.5.3.	ユーザーの編集.....	163
13.5.4.	管理者のパスワード変更 .....	165
13.6.	ログアウト/シャットダウン/デバイスの再起動.....	166
14.	iPhone、iPAD、Android と連携.....	167
14.1.	IOS の場合 .....	167
14.2.	Android の場合 .....	170
15.	付録.....	173
15.1.	用語集.....	173
15.2.	FAQ .....	175

## 1. 製品の紹介

### 1.1. フロントパネル

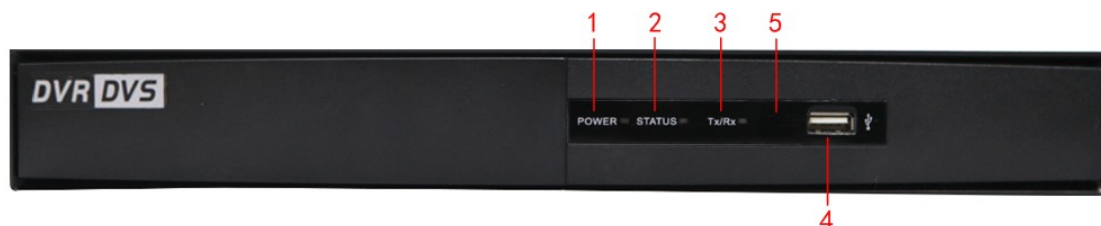


図 1.1 DS-7200-SH/SV フロントパネル

表 1. 1 コントロール・パネル・ボタンの説明

No.	名前	機能説明
1	POWER	DVR の電源を投入したときに、POWER インジケータが緑色に点灯します。
2	ステータス	HDD が読み込み/書き込みを行っている時に赤の STATUS ランプが点灯します。
3	Tx/Rx	ネットワーク接続が正しく機能している時 Tx / Rx のインジケータが緑色に点滅します。
4	USB	USB マウスや USB フラッシュ・メモリ・デバイスを接続します。
5	IR 受光部	赤外線リモコン用受光部。



図 1.2 DS-7300-SH フロントパネル

表 1. 2 コントロール・パネル・ボタンの説明

No.	名前	機能説明
1	POWER ON / OFF	DVR の電源を投入したときに、POWER インジケータが緑色に点灯します。
2	IR 受光部	リモートコントロール用
3	USB	USB マウスや USB フラッシュ・メモリ・デバイスを接続します。
4	DVD-ROM	DVD-EOM スロット
5	POWER	DVR が起動後、緑色が点灯する。
	READY	DVR 稼働正常時、緑色が点灯する。

	<b>ステータス</b>	HDD が読み込み/書き込みを行っている時に赤の STATUS ランプが点灯します。
	<b>ALARM</b>	アラームセンサー起動時、赤色が点灯する。
	<b>HDD</b>	書き込み/読込み時、赤色が点滅する。
	<b>Tx/Rx</b>	ネットワーク接続が正しく機能している時 Tx / Rx のインジケータが緑色に点滅します。
6	<b>1/MENU</b>	“1” メニューインターフェースにアクセス
	<b>2ABC/F1</b>	“2” “ABC” F1 ボタンはリストの全項目を選択する PTZ のモード場合、ズームアウト ライブビューモードと再生モード場合、ビデオアウトとスポットビデオアウト
	<b>3DEF/F2</b>	“3” “DEF” PTZ のモード場合、ズームイン F2 ボタンは全タブページのサイクル
	<b>4GHI/ESC</b>	“4” “GHI” 取り消し、前のメニューに移動用
	<b>5JKL/EDIT</b>	“5” “JKL” 前の文字を削除する チェックボックス選択 再生時、レコードクリップをスタートとストップ
	<b>SHIFT</b>	英文字と数字の切り替え
	<b>6MNO/PLAY</b>	“6” “MNO” 再生時、プレーバックインターフェースのダイレクトアクセス
	<b>7PQRS/REC</b>	“7” “PQRS” 手動録画、マニュアルプレーバックインターフェースのダイレクトアクセス 録画有効/無効
	<b>8TUV/PTZ</b>	“8” “TUV” PTZ コントロールインターフェースアクセス
	<b>9WXYZ/PREV</b>	“9” “WXYZ” ライブビューにマルチカメラを表示 再生モード、または、メニュー→タグ再生インターフェース、タグの削除

	0/A	“0” “TUV” PTZ コントロールインターフェースアクセス
7	DIRECTION	メニュー項目のナビゲット 再生時、アップとダウンの操作は、再生スピードをアップとスロー オールディ再生時、ライトとレフトボタンは、後日と先日のビデオ を選択、 ライブビューモード時、全チャンネルのサイクル PTZ コントロールモード、PTZ カメラの制御
	ENTER	設定の確認

## 1.2. 赤外線リモコン操作

デバイスは、図 1.3 に示すように、同梱の赤外線リモコンで制御することができます。  
注意： 電池（単 4 型×2 本）は操作の前に入れる必要があります。

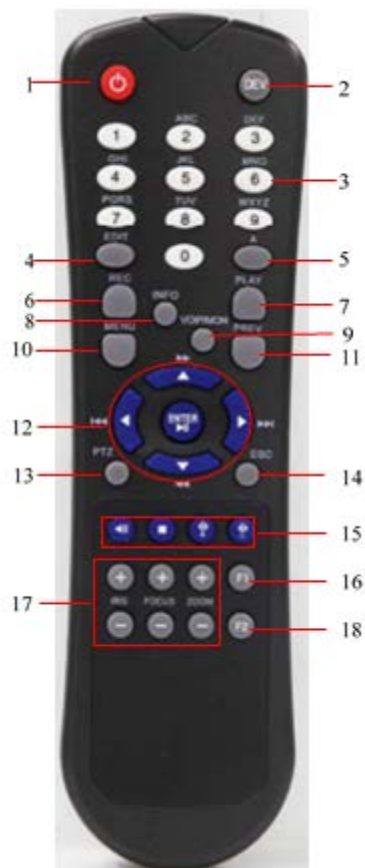


図 1.3 赤外線リモコン

表 1.2 赤外線リモコンボタンの説明

	名前	説明
1	POWER	電源 on/off
2	DEV	リモートコントロールを有効または無効にします。
3	英数字ボタン	フロントパネル上の英数字ボタンと同じ。 ライブビューや PTZ コントロールモードで対応するチャンネルに切り替えます。 編集モードで数字と文字を入力します。終日再生モードで異なるチャンネルを切り替える。
4	EDIT ボタン	フロントパネルの EDIT/IRIS+ボタンと同じ。テキストフィールドを編集します。テキストフィールドを編集する場合、それはまた、カーソルの前に文字を削除するには、バックスペースボタンとして機能します。

		チェックボックスフィールドで、[EDIT]ボタンを押すと、チェックボックスにチェックを入れます。再生モードでは、バックアップのためのビデオクリップを生成するために使用することができます。
5	A ボタン	フロントパネル上の A/FOCUS+ボタンと同じ。入力メソッド（大文字と小文字のアルファベット、記号と数値の入力）を切り替える。
6	REC ボタン	フロントパネルの REC/ショットボタンと同じ。 手動録画設定メニューに入る。 PTZ 制御の設定で、REC ボタンを押した後、数字ボタンを押して PTZ プリセットを呼び出すことができます。
7	PLAY ボタン	フロントパネルの PLAY/AUTO ボタンと同じ。全再生メニューに入る。
8	INFO ボタン	未使用。
9	VOIP/MON ボタン	フロントパネル上の MAIN/SPOT/ZOOM ボタンと同じ。リスト上のすべてのアイテムを選択すること;ライブビューまたは再生モードでは、メインと AUX ビデオ出力を切り替えるために使用することができます。
10	MENU ボタン	フロントパネルの MENU/WIPER ボタンと同じ。メインメニュー（ログインに成功した後）を表示します。
11	PREV ボタン	フロントパネル上の PREV/FOCUS-ボタンと同じ。 1 画面、分割画面モードの切り替え。



12	DIRECTION/ENTER ボタン	フロントパネル上の DIRECTION/ENTER ボタンと同じ。異なる分野やメニュー内の項目間のナビゲート。再生モードでは、Up と Down ボタンがスピードアップし、記録した映像の再生を遅くするために使用されます。左と右のボタンが 30 リバースとフォワード 30s の録画したビデオを選択します。ライブビューモードでは、これらのボタンはチャンネルを順番に使用することができます。
13	PTZ ボタン	フロントパネルの PTZ/IRIS ボタンと同じ。 PTZ コントロールモードを開始します。
14	ESC ボタン	フロントパネルの ESC ボタンと同じ。前のメニューに戻る。 警戒のために押す/ライブビューモードで DVR を警戒解除。
15	RESERVED	未使用
16	F1 ボタン	フロントパネルの F1/LIGHT ボタンと同じ。リストフィールドに指定された場合は、リスト上のすべてのアイテムを選択。PTZ コントロールモードでは、PTZ ライトのオン/オフになります。
17	PTZ Control ボタン	PTZ カメラのアイリス、フォーカス、ズームを調整します。
18	F2 ボタン	フロントパネルの F2/AUX ボタンと同じ。 タブページが切り替わります。

#### リモートコントロールのトラブルシューティング:

注意: リモコンに電池を正しく挿入していることを確認してください。そして、フロントパネル上の IR 受光部にリモートコントロールを向けてください。リモートのいずれかのボタンを押した後も応答がない場合、トラブルシューティングを行うには、次の手順に従ってください。

#### 手順:

- マウスを操作して、[メニュー]>[構成]>[基本設定]>[詳細設定]に進みます。
  - デフォルトの番号は255でデバイスN0をチェックして覚えています。このデバイス番号はすべての赤外線リモートコントロールが有効です。
  - リモコンのDEVボタンを押します。
  - ステップ2のデバイス番号を入力してください。
  - リモコンのENTERボタンを押します。リモコンが正常に動作しているが、リモートからの応答がまだ存在しない場合は、次のことを確認してください。
1. 電池が正しくインストールされていて、電池の極性が逆になっていない。
  2. バッテリーの充電量が不足していないか。
  3. 赤外線受信が妨害されていないか。リモコンが正常に動作しないことがある場合は、リモートを変更してから再度試すか、販売店、ディーラーにお問い合わせください。

### 1.3. USB マウスの操作

定期的な 3 ボタン（スクロールホイール/左/右）USB マウスもこの装置を使用することができます。

USB マウスを使用するには：

1. フロントパネルにある USB インターフェースの 1 つに装着します。
2. マウスが自動的に検出されます。マウスが検出されないケースでは、考えられる理由は、2 つのデバイスに互換性がない可能性がある場合は、プロバイダからの推奨デバイスリストを参照してください。

マウスの操作：

表 1.3 マウスコントロールの説明

名前	アクション	説明
左クリック	シングルクリック	ライブビュー：チャンネルを選択して、クイック設定メニューが表示されます。 メニュー：選択して入力します。
	ダブルクリック	ライブビュー：シングル画面やマルチ画面を切り替えます。
		PTZ 制御：パン、チルト、ズーム。遮断検知機能、プライバシーマスクと動体検知：ターゲットエリアを選択します。デジタルズームイン：対象エリアをドラッグして選択します。チャンネル/タイムバーをドラッグ：ライブビュー。
右クリック	シングルクリック	メニューを表示：ライブビュー。メニュー：現在のメニューから上位のメニューに戻ります。
スクロールホイール	上にスクロール	前の画面に：ライブビュー。右クリックメニュー：前の項目。
	下にスクロール	次画面：ライブビュー。右クリックメニュー：次の項目。

#### 1.4. ソフトキーボード



図 1.4 ソフトキーボード

ソフトキーボード上のボタンの説明:

表 1.4 ソフトキーボードのアイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	英語		キャピタル英語
	数字		記号
	大文字/小文字		バックスペース
	スペース		入力
	終了		

## 1.5. リアパネル



図 1.5 DS-7204HVI/HFI/HWI-SH, DS-7204HVI-SV と DS-7204HWI-SV リアパネル



図 1.6 DS-7216HVI-SH と DS-7216HVI-SV リアパネル



図 1.6 DS-7216HFI-SH と DS-7216HWI-SH リアパネル

表 1.6 リアパネルの説明

No.	アイテム	説明
1	VIDEO IN	アナログビデオ入力用の BNC コネクタ。
2	VIDEO OUT	ビデオ出力用 BNC コネクタ。
3	USB Interface	USB マウスや USB フラッシュ・メモリ デバイスを接続します。
4	HDMI	HDMI ビデオ出力。
5	VGA	VGA 出力用の DB15 コネクタ。ローカルビデオ出力とメニューを 表 示します。
6	AUDIO IN	音声入力用の RCA コネクタ。
7	AUDIO OUT	オーディオ出力用の RCA コネクタ。
8	LAN Interface	LAN 用のコネクタ (ローカルエリアネットワーク)。
9	RS-485 Interface	RS-485 デバイス用のコネクタです。D-端子+と T をそれぞれ PTZ 受 信機などに接続します。
10	12V	12VDC 電源。(付属の AC アダプターを接続します)
11	POWER	電源オン/オフするためのスイッチ。
12	GND	グラウンド (DVR が起動時に接続する必要があります)。

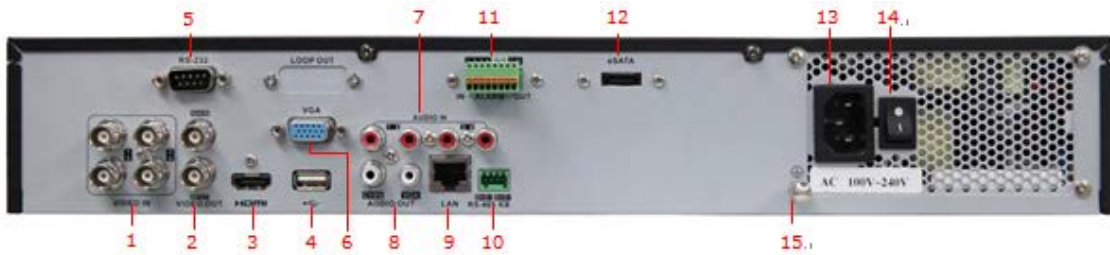


図 1.8 DS-7304HFI-SH と DS-7304HWI-SH リアパネル

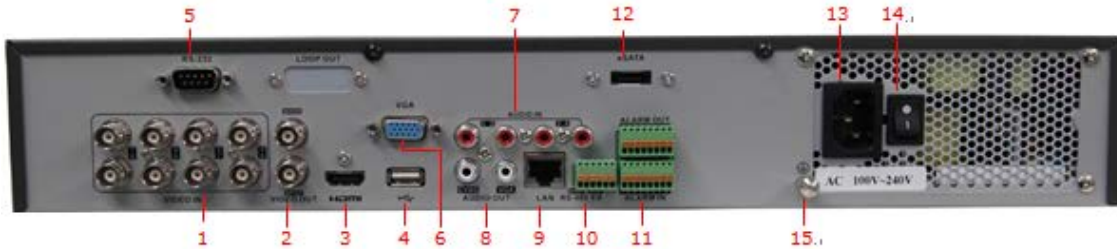


図 1.9 DS-7308HFI-SH と DS-7308HWI-SH リアパネル

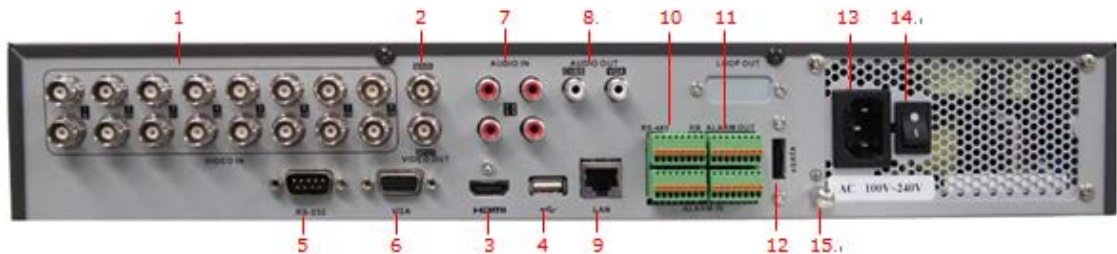


図 1.10 DS-7316HFI-SH と DS-7316HWI-SH リアパネル

表 1.7 リアパネルの説明

No.	アイテム	説明
1	VIDEO IN	アナログビデオ入力用の BNC コネクタ。
2	VIDEO OUT	ビデオ出力用 BNC コネクタ。
	SPOT VIDEO OUT	
3	HDMI	HDMI ビデオ出力。
4	USB Interface	USB マウスや USB フラッシュ・メモリ デバイスを接続します。
5	RS-232	RS-232 デバイスと接続
6	VGA	VGA 出力用の DB15 コネクタ。ローカルビデオ出力とメニューを 表 示します。
7	AUDIO IN	音声入力用の RCA コネクタ。
8	AUDIO OUT	オーディオ出力用の RCA コネクタ。
9	LAN Interface	LAN 用のコネクタ (ローカルエリアネットワーク)。
10	RS-485 Interface	RS-485 デバイス用のコネクタです。D-端子+と T をそれぞれ PTZ 受 信機などに接続します。
11	Alarm in / out	アラームのインプットとアウトプット接続用
12	eSATA	外部 SATA HDD と DVD-R/W 接続用
13	110~240VAC	12VDC 電源。(付属の AC アダプターを接続します)
14	POWER	電源オン/オフするためのスイッチ。
15	GND	グラウンド (DVR が起動時に接続する必要があります)。

## 1.6. 起動とシャットダウン

目的:

適切な起動およびシャットダウン手順は、装置、HDD の寿命を持続させるのに不可欠です。

始める前に:

電源の電圧が仕様の要件と同じであることを確認して、グラウンドへの接続もご確認ください。

デバイスを起動する:

手順:

1. 電源をチェックして、コンセントに差し込まれているか。悪環境時は無停電電源装置 (UPS) を一緒に使用することをお勧めします。
2. リア・パネルの電源ボタンを押します。電源インジケータ LED はユニットが起動を開始したことを示す緑色に変わります。

デバイスをシャットダウンする:

手順:

1. シャットダウンメニューを入力してください。  
[メニュー]>>[シャットダウン]

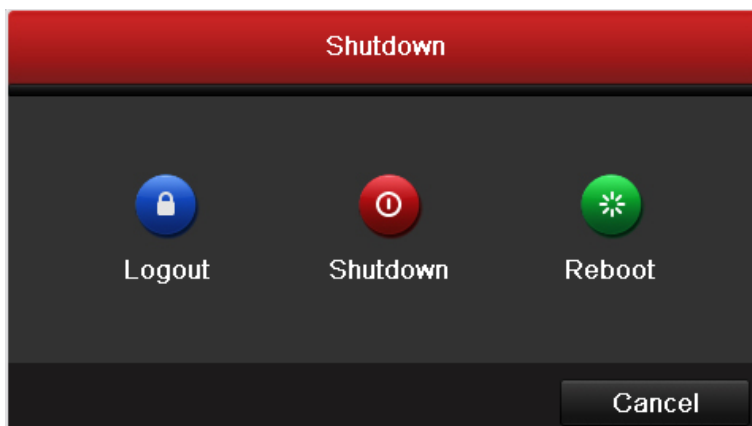


図 1.11 シャットダウンメニュー画面

2. 次のダイアログボックスを入力する[シャットダウン]ボタンをクリックします。

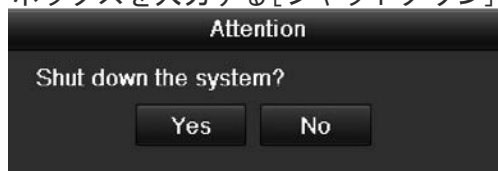


図 1.12 シャットダウンメニュー画面

3. [はい]ボタンをクリックします。次のメッセージボックスがポップアップします

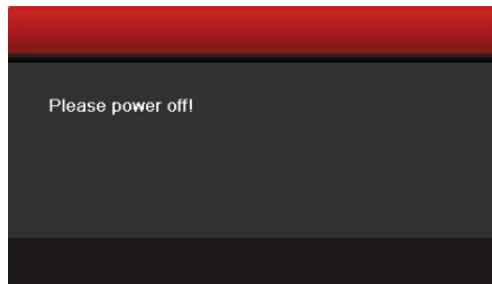


図 1.13 シャットダウンメニュー画面

- 
4. NVR/HDVR の電源スイッチをオフにします。

#### デバイスの再起動

シャットダウンメニューで、デバイスを再起動できます。

## 2. 初め

### 2.1. セットアップウィザード

セットアップウィザードでは、デバイスのいくつかの重要な設定を順に追ってすることができます。デフォルトでは、セットアップウィザードは、一度デバイスに読み込みされて起動します。

セットアップウィザードを操作する：

1. デバイスの起動時に毎回セットアップウィザード起動する場合はチェックボックスをオンにします。不要の場合チェックを外します。ウィザードを続行するには[NEXT]をクリックします。今回この設定をスキップする場合は[キャンセル]をクリックします。

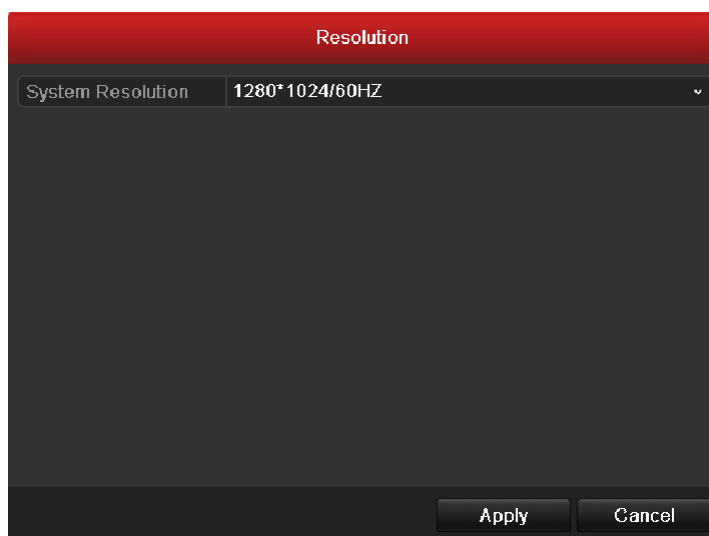


図 2.1 ウィザードの開始画面

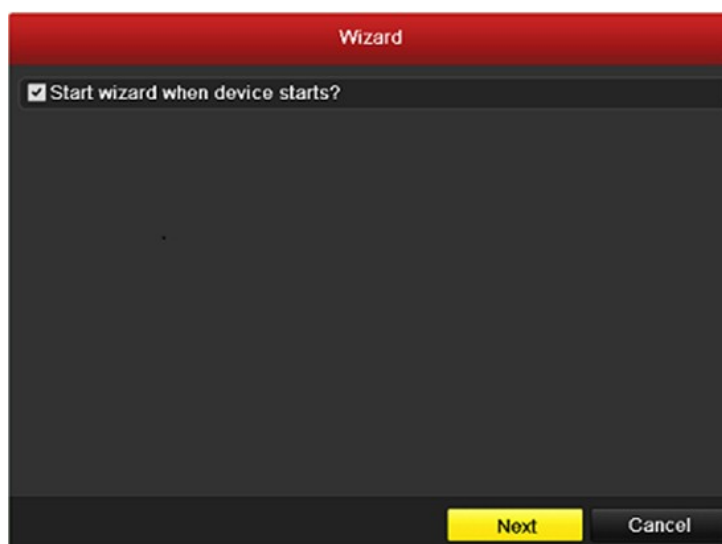


図 2.2 ウィザードの開始画面

2. 図 2.2 に示すログイン・ウィンドウを入力するためのウィザードウィンドウで[次へ]ボタンをクリックします。
  - 1) 管理者パスワードを入力します。デフォルトでは、パスワードは 12345 で



す。

- 2) 管理者パスワードを変更するには、[新しい管理者パスワード]チェックボックスをチェックします。新しいパスワードを入力して、確認フィールドでパスワードを入力します。



図 2.3 ログイン画面

3. 図 2.3 に示すように、日付と時刻の設定を入力するには[次へ]ボタンをクリックしてください。タイムゾーン、日付表示形式、システム日付とシステム時間（現在時刻）を設定します。

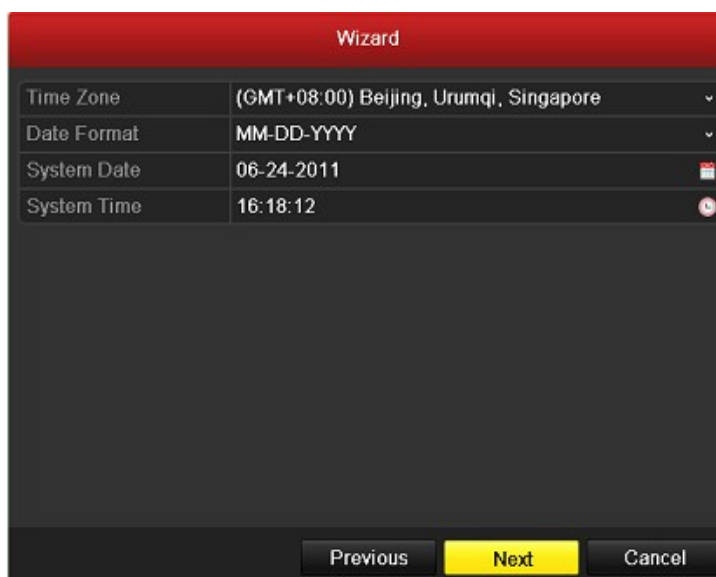


図 2.4 日付と時刻の設定

4. 図 2.4 に示すように、ネットワーク・セットアップ・ウィザードの入力のために[次へ]ボタンをクリックします。NIC タイプ、IPv4 アドレス、IPv4 サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどのネットワークパラメータを設定します。[DHCP 有効]のチェックボックスを ON にすると、DHCP が自動的にそのサーバーから IP アドレスおよびその他のネットワーク設定を取得できるようにすることができます

5. DS-7200 シリーズにのみ追加項目として存在する[内部 NICIPv4 アドレス]は、NVR の PoE ネットワークインターフェースに接続されているカメラに設定する必要があります。

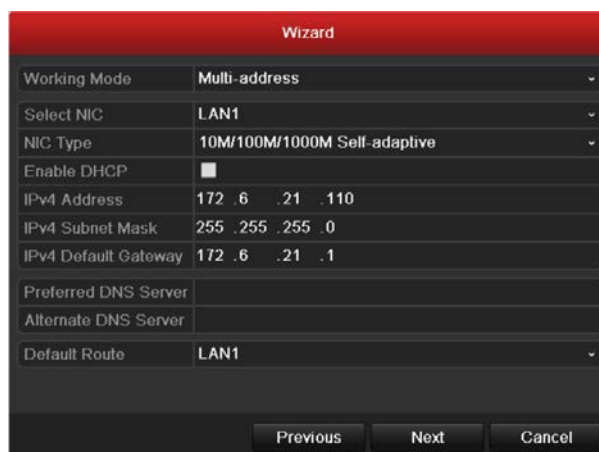


図 2.5 ネットワークの設定

6. 図 2.5 に示すように、HDD の管理ウィンドウ入力のために、[NEXT] ボタンをクリックしてください。

HDD を初期化するには、初期化ボタンをクリックします。初期化は、HDD に保存されているすべてのデータが削除されます。

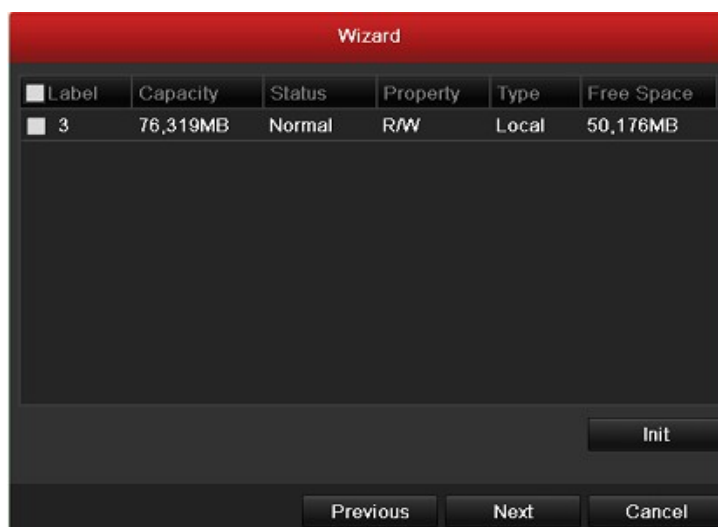


図 2.6 HDD の管理

7. 図 2.7 に示すように、録画設定を入力するため、[次へ] ボタンをクリックしてください。

- 1) 設定するカメラチャンネルを選択します。
- 2) [録画開始] チェックボックスを ON にします。
- 3) [通常録画] または [動体検知録画] を選択します。



図 2.7 記録設定

- 1) 図 2.8 に示すように、必要に応じて他のカメラに、現在のカメラの録画設定をコピーするには、[コピー]をクリックし、コピーしたい各チャンネルのチェックボックスを ON にします。すべてのチャンネルの場合、すべてのチェックボックスを ON にします。



図 2.8 録画設定のコピー

- 2) 録画設定ウィンドウに戻り、OK をクリックします。
8. 起動セットアップウィザードが完了したら [OK] をクリックします。




### 3. ライブ映像

#### 3.1. ライブの紹介

ライブビューでは、リアルタイムで各カメラから得た映像を表示します。電源投入時にデバイスが自動的にライブビューモードに入ります。あとは違う画面上でEscキーを複数回（あなたが使っているメニューに応じて）押すと、メニュー階層の最上部にもあるライブビューモードに戻ります。

ビューアイコン表示ライブビューモードでは、各チャンネルの画面の右上部にあるアイコンは、アラーム発生時、チャンネル記録状態を知ることができるように、レコードおよびチャンネルのアラームの状態を表示します。

表 3.1 ライブビューのアイコンの説明

アイコン	説明
	アラーム（ビデオロス、改ざん、動体検知やセンサーアラーム）
	録画（手動録画、スケジュール録画、動体検知やアラームトリガ録画）
	アラーム&録画

### 3.2. ライブビューモードでの操作

ライブビューモードでは、以下の機能を実現することができる。

- 1画面表示：モニタ上で1つの画面のみを示す。
- 分割表示：同時にモニタ上に複数の画面を示す。
- オートスイッチ：自動的に次のいずれかの画面を切り替えられます。そして、自動切り替えを有効にする前に、環境設定メニューの画面ごとの切替時間を設定する必要があります。
- [メニュー]>[構成]>[ライブビュー]>[切替時間]
- 全再生：録画したビデオを再生します。
- 録画開始/停止：すべてのチャンネルの終日通常の録画や動体検知録画を開始します。
- 出力モード：DVRはメインと補助出力インターフェイスを定義するために、出力インターフェイスの接続をチェックします。HDMIおよびVGAの両方が接続されている、またはいずれか一方が接続されている場合、それはライブビュー、再生、録音及びPTZコントロール用のAUXビデオ出力として使用され、HDMIとVGAの両方が接続されていない場合には、メインビデオ出力として使用されているライブビュー再生、録音、PTZコントロールおよびメニュー操作として使用されます。何も操作をメイン出力に許可されていない状態でAUX出力が有効になっている場合、補助出力のためのライブビューモードにいくつかの基本的な操作を行うことができます。

#### 3.2.1. ライブビューでマウスを使用する

ライブビューモードでは、次のメニューにアクセスするには、ウィンドウ上で右クリックしてマウスを使用します。

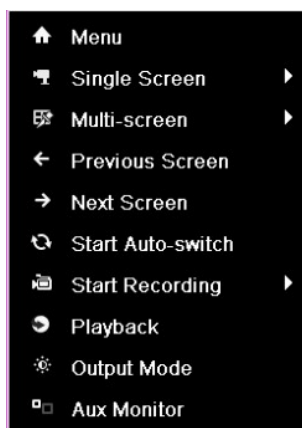


図 3.1 右クリックメニュー

表 3.2 ライブビューでのマウス操作

名前	説明
メニュー	マウスを右クリックすることにより、システムのメインメニューに入ります。
一画面表示	ドロップダウンリストからチャンネル番号を選択することで、シングル全画面表示に切り替えます。

分割表示	ドロップダウンリストから選択することで、画面レイアウトを調整します。
前画面	前の画面に切り替え。
次画面	次の画面に切り替え。
オートスイッチを開始/停止	画面の自動切り替えを有効/無効にします。 注意: ライブビュー設定の切替時間は、スタートオートスイッチを使用する前に設定しなければなりません。
録画開始	すべてのチャンネルで終日通常の録画や動体検知録画を開始します。
出力モード	標準、明るさ、飽和（初期値）鮮やかさ、の4つの映像モードを設定。
全再生	選択したチャンネルのビデオを再生。
補助モニタ	補助出力モードに切り替えると、メイン出力の動作が無効になります。注意: 補助モニタモードと補助モニタが接続されていない状態では、画面上のマウス操作は無効になります。その場合赤外線リモコンの VOIP/MON ボタンでメイン出力に切り替える必要があります。

### 3.2.2. 補助モニタを使用する

ライブビューの特定の機能は、補助モニタ中にも利用できます。これらの機能は次のとおりです。

- 1画面表示：ドロップダウンリストからチャンネル番号を選択することで、シングル全画面表示に切り替えます。
- 分割表示：ドロップダウンリストから選択することで、画面レイアウトを調整します。
- 前の画面：前の画面に切り替えます。
- 次の画面：次の画面に切り替えます。
- 出力モード：標準、明るさ、飽和（初期値）、鮮やかに映像出力モードを設定します。
- メインモニタ：メイン出力モードに切り替えて、補助出力のための操作は無効になります。

注意: 補助出力モードが有効になっている間は、メイン出力モニタのライブビューモードでは、メニュー操作はできません。

### 3.2.3. メイン/補助出力切替

HDMI/VGA 出力をメイン出力として設定されているときに、メイン出力として出力を CVBS (BNC ビデオ出力) に切り替えるには、次の操作を実行します。

手順:

分割画面中のカメラの配置を設定する。

1. 画面をクリックすると、下記のポップアップが出ます。

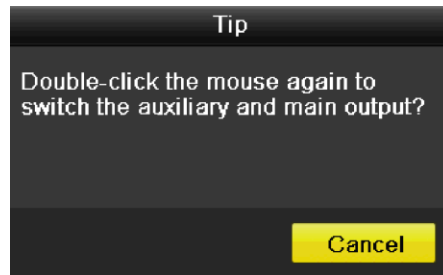


図 3.2 メインと補助出力を切替

2. 画面からマウスの右クリックメニューで[メイン/補助モニタ]を選択します。

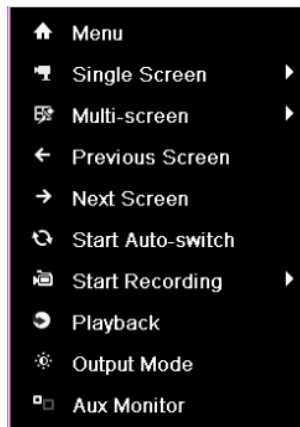


図 3.3 画面上の右クリックメニュー

3. ポップアップメッセージボックスに、メイン出力として CVBS (BNC ビデオ出力) を有効にするには、デバイスを再起動するために[はい]をクリックします。

注意: メニュー上からもメニュー出力モードを選択することができる。[メニュー][構成]>[基本設定]>[詳細設定]>メニュー出力項目で[自動/HDMI/VGA/CVBS]を選択してから、デバイスを再起動します。

### 3.2.4. クイック設定ツールバー

各チャンネルの画面で、カメラ上でマウスを右クリックしたときにクイック設定のツールバーが表示されます。



図 3.4 クイック設定のツールバー

表 3.3 クイック設定のツールバーアイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
------	----	------	----	------	----



	手動録画		簡易再生		ミュート切替
	PTZ		デジタルズーム		画像設定
	閉じる				

### 簡易再生

簡易再生は最後の 5 分間の記録を示しています。記録が見つからない場合、それは最後の 5 分間に録画がないことを意味します。

### デジタルズーム

デジタルズームはフルスクリーンに選択されたエリアにズームインすることができます。図 3.5 に示すように、左クリックしてズームインするための領域を選択するために描くことができます。



図 3.5 デジタルズーム

### 画像設定

イメージ設定アイコンが[画像の設定]メニューを入力するように選択することができる。  
手順:

- 異なる光条件、例えば、昼と夜の時間に独立した画像のパラメータを設定するには、一日の周期を設定します。二つの期間を設定することができます。1 期を設定した場合は、期間 2 はその他の時間として残っています。
- 異なる光条件に応じて、ドロップダウンメニューからモードを選択します。

4 つのモードが選択可能です:

- 標準: 一般的な照明の下 (デフォルト) です。
- 屋内: 画像は比較的スムーズです。
- 低光: 画像が他の 3 つのモードよりスムーズです。



- 屋外：画像が比較的鮮明でシャープです。コントラストと彩度は高い。



図 3.6 画像設定

1. 明るさ、コントラスト、彩度、色相、シャープネスレベルとスライダーを移動させたり増加させたり、値を減少させることによってノイズ除去レベルを含む画像パラメータを調整します

注意：調整可能な値の範囲は、明るさ、コントラスト、彩度、色相は0～255で、ノイズ除去レベルのシャープネスレベルを0～5の場合は0～15。

2. 画像設定をコピーします。
  - 1) 他のカメラに、現在のカメラの画像パラメータをコピーしたい場合には、該当チャンネルチェックボックスをONにして、[OK]ボタンをクリックします。

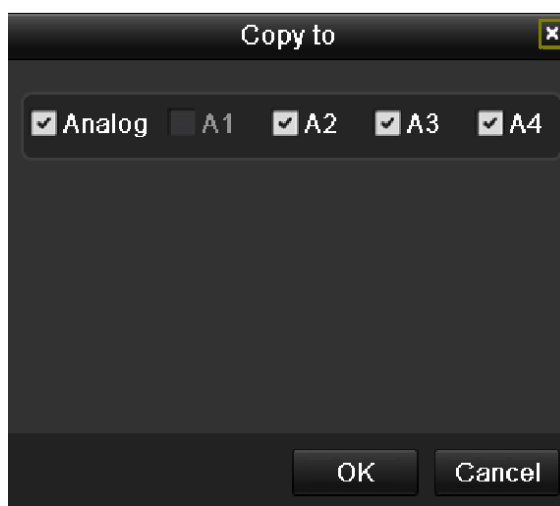


図 3.6 その他のカメラに、画像設定をコピー

- 2) 画像の設定で構成するカメラ（複数可）を選択します。また、すべてのカメラを選択するにはアナログカメラのチェックボックスをクリックします。
- 3) コピーの設定が完了したら[OK]ボタンをクリックします。

注意：デフォルトのパラメータに現在の画像設定を復元するには、[デフォルト]ボタンをクリックします。

### 3.3. 表示設定

目的:表示設定は、さまざまなニーズに応じてカスタマイズすることができます。表示すべき画面の時、ミュートやオーディオ、各チャンネルの画面番号などをオン/オフ、出力画面を設定できます。

手順:

1. ライブビューの設定画面に入ります。
2. [メニュー]>[構成]>[表示設定]

Video Output Interface	VGA
Live View Mode	1 * 1
Dwell Time	No Switch
Enable Audio Output	<input type="checkbox"/>
Event Output	HDMI
Full Screen Monitoring Dwell Time	10s

図 3.8 表示設定画面

- このメニューで使用可能な設定があります:
- ビデオ出力インターフェース: 設定を構成するために出力を選択します。3つの出力インターフェースが選択できます。HDMI と VGA、メイン CVBS (BNC 出力)。それぞれのビデオ出力を使用する場合は各個別の表示設定が必要です。
- ライブ表示形式: ライブ表示のデフォルト時に表示される画面方式を選択します。ドロップダウンリストから表示/分割モードを選択します。
- 1\*1 : 1 画面、2\*2 : 4 分割、3\*3 : 9 分割、4\*4 : 16 分割 . . . .
- 切替時間: ライブビューでオートスイッチを有効にするときにチャンネルのスイッチング間の切替時間(秒)を設定します。例) 16 入力でライブ表示形式が 4 分割表示の場合、4 分割×4 スクロール自動切替となります。
- 音声出力有効: 選択したビデオ出力用の音声出力を有効/無効にします。
- イベント出力: イベントのビデオを表示するための出力を選択します。
- フルスクリーンの監視では切替時間: アラームイベント画面を表示する時間を秒単位で設定します。

#### 1. カメラチャンネルの配置設定



図 3.9 ライブビューカメラの表示設定

カメラの表示順序と配置を設定するには:

- 1) カメラ表示順序の設定画面に入るには、[表示設定]タブをクリックします。
- 2) 出カインターフェース (HDMI/VGA/CVBS) を選択し、画面のレイアウト (分割表示) を選択します。出カインターフェース毎に個別のレイアウト配置/順序の設定ができます。同時に複数のビデオ出力を使用したい場合は出力毎の表示/配置設定を個別に行なってください。
- 3) 画面下の分割モード図を選択し、各分割モード時それぞれの順序と配置を設定します。例えばカメラ 16 台接続で 4 分割表示の場合は 4 分割表示 × 4 ページ構成になりますのでページ毎の配置/順序を設定してください。4 分割が終了したら 8 分割→16 分割の順で設定を行います。

■設定方法右側の領域で、画面をクリックして選択し、左側の領域でチャンネルを選択しダブルクリックします。こうして選択されたチャンネルは、対応する画面に表示されます。

注：設定されていない箇所 (画面) はチャンネルが表示されないことを意味します。

- 4) [すべてのチャンネルのライブビューを開始する]をクリックし、すべてのチャンネルのライブビューを停止するには再度クリックします。
- 5) 設定を保存するには、[適用]ボタンをクリックします。

### 3.4. チャンネルゼロエンコーディング

目的:時には画質に影響を与えることなく、帯域幅要件を低減するために、Web ブラウザまたは CMS（顧客管理システム）ソフトウェアからリアルタイムで多くのチャンネルのリモートビューを取得する必要があり、チャンネルゼロエンコーディングはオプションとしてサポートされています。

手順:

1. ライブビューの設定画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[表示設定]
2. [チャンネルゼロエンコーディング]タブを選択します。

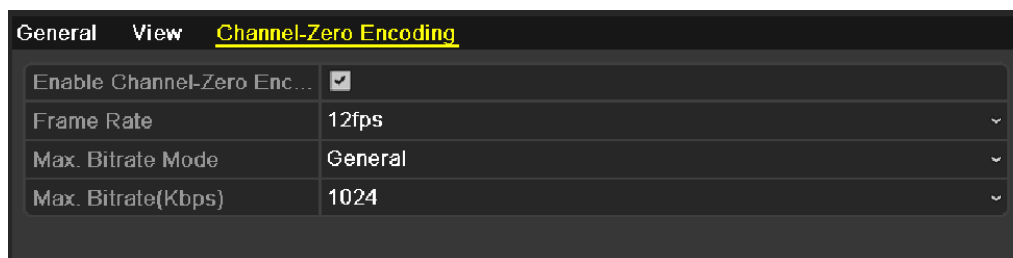


図 3.10 チャンネルゼロライブエンコード

3. チャンネルエンコーディングのチェックボックスをオンにします。
4. フレームレート、最大値を設定します。ビットレートモードと Max. ビットレートを調整できます。チャンネルゼロエンコーディングを設定した後、リモートクライアントまたは1つの画面内のすべてのチャンネルの IE ブラウザで画像を得ることができます。

### 3.5. ユーザーログアウト

目的: ログアウトした後、モニタはライブビューモードに変わり、いくつかの操作を行いたい場合は、ユーザー名と、再ログインするためのパスワードを入力する必要があります。

手順:

1. [シャットダウン]メニューに入ります。

[メニュー]>[シャットダウン]

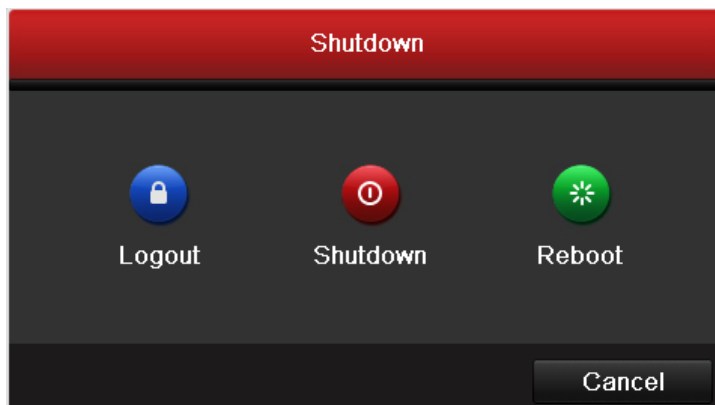


図 3.10 シャットダウン

2. [ログアウト]をクリックします。

注意: システムをログアウトした後、画面上のメニュー操作は無効です。システムにログインするためにユーザー名とパスワードを要求されます。

## 4. PTZ

### 4.1. 設定の構成

目的:PTZ カメラのパラメータを設定する手順に従ってください。PTZ カメラを制御する前の PTZ パラメータの設定を行ってください。

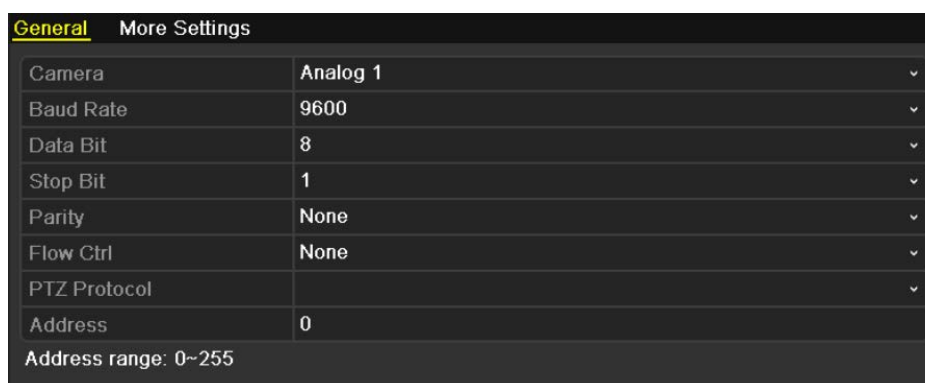
始める前に:

PTZ およびデバイスは、RS-485 インターフェースを介して正しく接続されていることを確認してください。

手順:

1. PTZ 設定画面に入ります。

メニュー>カメラ>PTZ>基本設定



General		More Settings	
Camera	Analog 1		▼
Baud Rate	9600		▼
Data Bit	8		▼
Stop Bit	1		▼
Parity	None		▼
Flow Ctrl	None		▼
PTZ Protocol			▼
Address	0		

Address range: 0~255

図 4. 1PTZ-基本設定

2. カメラのドロップダウン・リストで PTZ 設定のためのカメラを選択してください。
3. PTZ カメラのパラメータを入力します。注意: すべてのパラメータは、PTZ カメラのパラメータとすべて同じでなければなりません。唯一の PTZ プロトコルは、ネットワークカメラに設定することができます。例: PTZ カメラのボーレートが 115200 の場合は、[ボーレート]フィールドに 115200 を入力しなければなりません。
4. 他の PTZ カメラに同じ設定を構成する場合は、[コピー]をクリックします。
5. 設定を保存するために[適用]ボタンをクリックしてください。

## 4.2. プリセット、パトロール&パターン

始める前に：プリセット、パトロールやパターンが PTZ プロトコルによってサポートされていることを確認してください。

### 4.2.1. カスタマイズプリセット

目的：イベントが発生した際に指定した PTZ カメラのプリセット位置を設定するために、以下の手順に従ってください。

手順：

1. PTZ コントロール画面に入ります。

メニュー>カメラ>PTZ>詳細設定

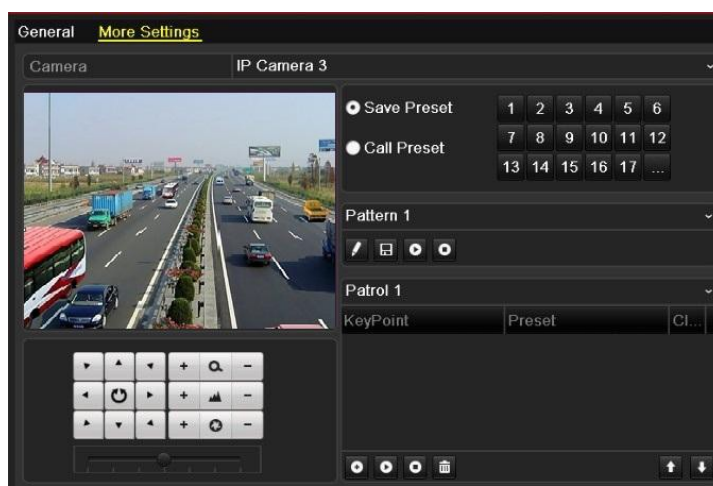


図 4. 2PTZ-詳細設定

2. カメラをプリセット設定したい場所に方向ボタンで設定します。
3. プリセットの保存前にある丸いアイコンをクリックします。
4. プリセットを保存するプリセット番号をクリックします。より多くのプリセットを保存する場合ステップ 2~4 を繰り返します。保存したいプリセットの数が 17 以上ある場合は、[...]をクリックし、使用可能な番号を選びます。

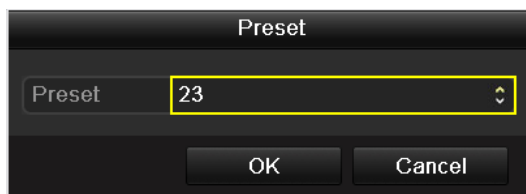


図 4.3 多くのプリセット

### 4.2.2. プリセットの呼び出し

目的:この機能は、イベント発生時に指定された位置にカメラを移動することを可能にします。PTZ 設定画面でプリセットを呼び出します。

手順：

1. PTZ コントロール画面に入ります。

メニュー>カメラ>PTZ>詳細設定

2. コールプリセットの前にある丸いアイコンをチェックしてください。

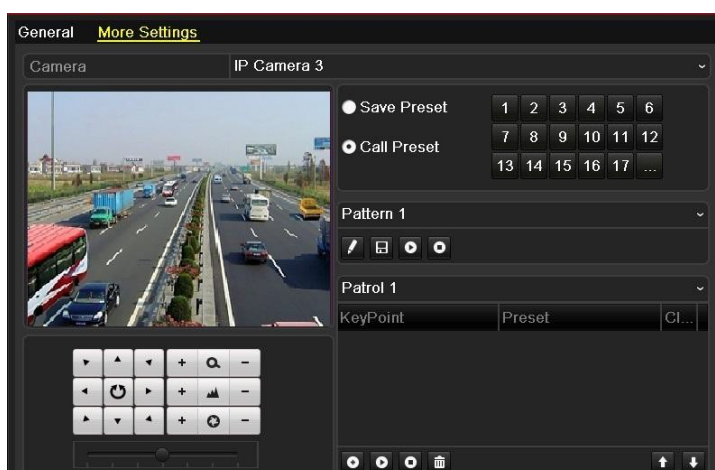


図 4.4 PTZ-プリセット呼び出し

3. プリセット番号を選択します

ライブビューモードでプリセットを呼び出す:

手順:


- 1) ライブビューモードで PTZ 設定メニューに入ってクイック設定バーで PTZ コントロールアイコン  をクリックします。



図 4.5 PTZ パネル

- 2) メニューリストからカメラを選択します。
- 3) プリセットリストからダブルクリックしてプリセットを呼び出します。

#### 4.2.3. カスタマイズパトロール

目的:パトロールは異なるキーポイントに PTZ カメラを移動するように設定でき、次のキーポイントに移動する前に設定して期間そこに留まります。キーポイントは、プリセットに対応しています。プリセットは、上記の手順に従って設定します。



手順:


1. PTZ コントロール画面に入ります。  
メニュー>カメラ>PTZ>詳細設定
2. パトロール番号を選択します。
3. パトロールのためのキーポイントを追加するには、パトロールオプションボックス下の  を選択します。



図 4.6 キーポイントに PTZ 追加

4. パトロールには一つのキーポイントとスピード、プリセット番号、巡回時間などの主要ポイントのパラメータを設定します。重要な点はプリセットに対応しています。巡回時間は、対応するキーポイントに留まる期間を指します。スピードは、PTZ を次のキーポイントから移動する速度を意味します。

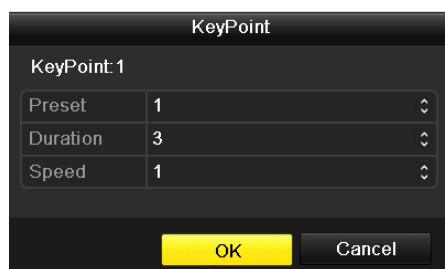



図 4.7 キーポイントの設定

5. パトロールにキーポイントを保存するには、[OK]をクリックします。より多くのキーポイントを追加するには、上記の手順を繰り返します。また、ごみ箱アイコン  をクリックして、不要なキーポイントを削除することができます。

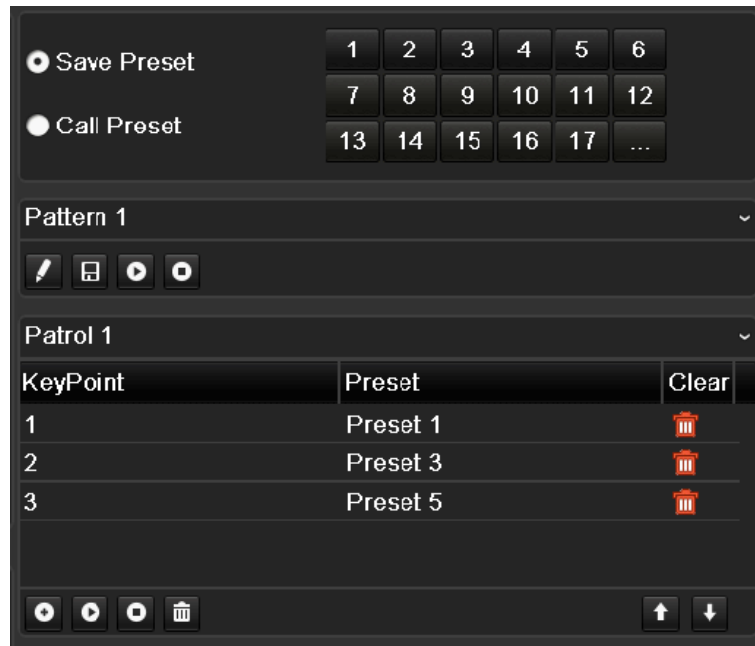




図 4.8 キーポイントの削除

#### 4.2.4. パトロールの呼び出し

目的:パトロールを呼び出すと、PTZ カメラは、あらかじめ定義された巡回経路に従って移動することができます。

PTZ 設定画面でパトロールを呼び出します。

手順:

1. PTZ 設定画面に入ります。  
メニュー>カメラ>PTZ>詳細設定
2. パトロール番号を選択し、パトロールを呼び出すために  をクリックします
3. それを停止するには、 をクリックします

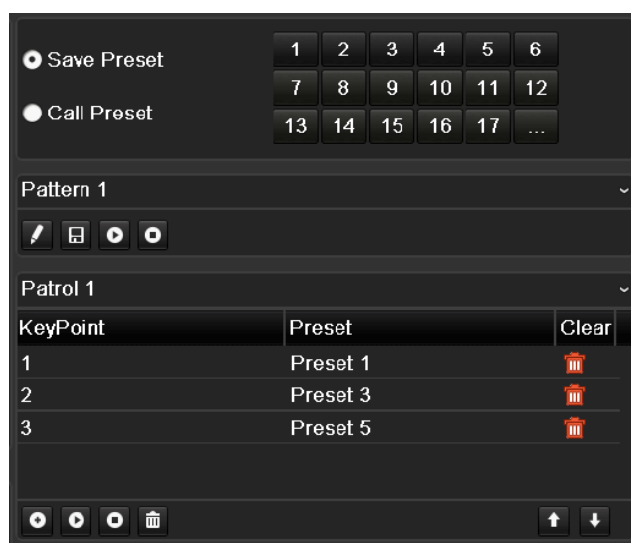


図 4.9 パトロールの呼び出し

ライブビューモードでプリセットを呼び出す:

手順:


1. 赤外線リモコン、またはクイック PTZ コントロールのアイコンを押して、PTZ コントロールがクイック設定ツールバーの PTZ コントロールツールバーに表示されます。
2. コントロールバーのパトロールを選択してください。
3. 呼び出したいパトロールをクリックします。



図 4.10 パトロール PTZ のツールバー

#### 4.2.5. カスタマイズパターン

目的:パターンは、PTZ の動きを記録することによって設定することができます。事前定義されたパスに従って、PTZ の動きを作るためにパターンを呼び出すことができます。

手順:

1. PTZ コントロール画面に入ります。  
メニュー>カメラ>PTZ>詳細設定
2. オプションボックスのパターン番号を選択します。

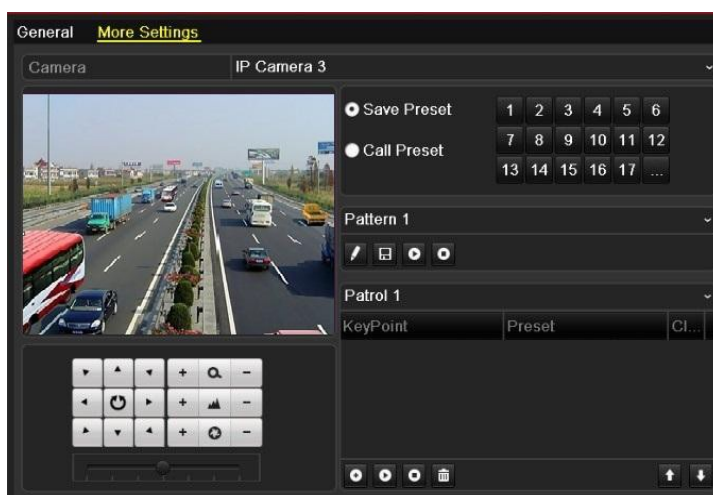




図 4.11PTZ パターン



3. をクリックし、画像をドラッグするか、PTZ カメラを移動するために画像下のコントロールボックス内の 8 方向ボタンをクリックします。PTZ の動きはパターンとして記録されます。

4. パターンを保存するためにをクリックします。複数のパターンを保存するために、上記の手順を繰り返します。

#### 4.2.6. 呼び出しパターン

目的: 事前定義されたパターンに従って、PTZ カメラを移動する手順に従ってください。PTZ 設定画面で呼び出す場合:

手順:

1. PTZ コントロール画面に入ります。
2. パターン番号を選択します。
3. をクリックして、PTZ はパターンに応じて移動する。停止するには、をクリックします。

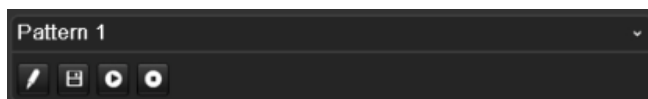


図 4. 12PTZ パターンの呼び出し

ライブビューモードでパターンを呼び出します。

手順:



1. ライブビューモードでは、赤外線リモコンのボタンを押して PTZ 制御、またはクイック設定ツールバーの PTZ コントロールアイコンをクリックします。
2. コントロールバー上のパターンを選択します。
3. 呼び出したいパターン番号をダブルクリックするか、パターン番号を選択し、パターンを呼び出すためにをクリックします。



図 4. 13PTZ パターンのツールバー

### 4.3. PTZ コントロールパネル


ライブビューモードでは、赤外線リモコンで PTZ 制御ボタンを押すか、ツールバーの PTZ を入力する PTZ コントロールアイコン  を選択します。



図 4.14 PTZ パネル

表 4.1 PTZ パネルのアイコン説明

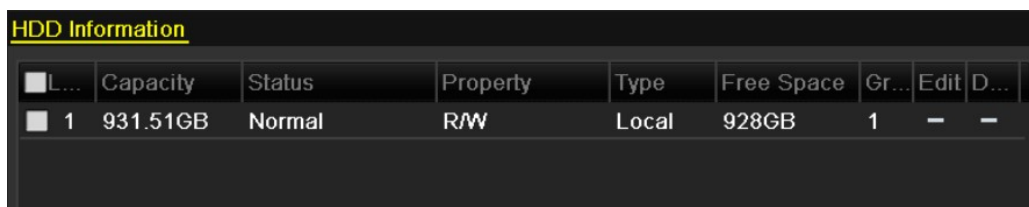
アイコン	説明	アイコン	説明	アイコン	説明
	方向/オートサイクル		ズーム・フォーカス・アイリス		ズーム・フォーカス・アイリス
	PTZ 移動スピード		ライトオン/オフ		ワイバーオン/オフ
	3D ズーム		画像のセンタリング		プリセット
	パトロール		パターン		プリセット
	戻る		次へ		パターン/ パトロール 開始
	パトロール/ パターンの 停止		ウィンドウ 最小化		終了

## 5. 録画

### 5.1. レコードパラメータ設定

目的:エンコードパラメータを設定することにより、伝送ストリームの種類、録画再生のための解像度、画質、フレームレートなど定義することができます。(設定はカメラCH毎に個別となります。)は始める前に:

1. HDD が既にインストールされていることを確認してください。されていない場合は、HDD を設置し、初期化行ってください。  
[メニュー]>[HDD]>[基本設定]



HDD Information									
<input type="checkbox"/> L...	Capacity	Status	Property	Type	Free Space	Gr...	Edit	D...	
<input checked="" type="checkbox"/> 1	931.51GB	Normal	R/W	Local	928GB	1	-	-	

図 5. 1HDD の情報

2. HDD のストレージモードをチェック。
  - 1) HDD のストレージモードを確認するには[詳細設定]をクリックします。
  - 2) HDD のモードはクォータである場合、最大記録容量と最大画像容量を設定してください。詳細については、第 10.5 章クォータモードを参照してください。
  - 3) HDD のモードがグループの場合は、HDD のグループを設定する必要があります。詳細については、第 5.9 章の[HDD グループによる録画]を参照してください。



Storage Mode	
Mode	Group
Record on HDD Group	1
<input checked="" type="checkbox"/> Analog	<input checked="" type="checkbox"/> A1 <input checked="" type="checkbox"/> A2 <input checked="" type="checkbox"/> A3 <input checked="" type="checkbox"/> A4

図 5. 2HDD グループ

手順:

1. 録画設定のエンコードパラメータを設定するには、エンコードパラメータの画面を表示します。

メニュー>録画>エンコードパラメータ



図 5.3 エンコードパラメータ-メインストリーム

2. メインストリームのエンコードパラメータを設定します。
  - 1) メインストリームの設定画面を表示するために[録画]を選択します。
  - 2) 設定のためのカメラ CH を選択します。(設定はカメラ CH 毎に個別となります。)
  - 3) メインストリーム (ノーマル) とメインストリーム (イベント) については、次のパラメータを設定します。
    - ストリームの種類：ストリームの種類をビデオまたはビデオ & オーディオに設定します。
    - 解像度：録画する解像度を WD1、4CIF、2CIF、CIF (高い順) の中から設定します
    - ビットレートの種類：指定するビットレートのタイプを可変か定数に設定します。
    - ビデオ品質：6つのレベルで、録画の映像品質を設定します。
    - フレームレート：録画のフレームレートを設定します。
    - 最大ビットレートモード：(32-3072Kbps) 一般またはカスタマイズモードに設定します。
    - 最大ビットレート (kbps)：記録の最大ビットレートを選択するか、またはカスタマイズします。
    - 最大推奨ビットレート範囲：推奨最大。ビットレートの範囲は、参考までに提供されています。
  - 4) プレ録画、ポスト録画時間を設定する時、ミラーリング録画 (このオプションは HDD モードがグループの場合のみ有効です) 時は有効期限が切れて、音声を録音するかどうか。
    - プレ録画：スケジュールされた時間やイベントの前に記録するように設定された時間。

- 5秒としてプリレコードタイムを設定した場合には、アラームが10:00に記録をトリガされたとき、カメラは午前9時59分55秒から録画します。
- ポスト録画：イベントまたはスケジュールされた時間後に録画するように設定された時間。たとえば、アラームは5秒間のポスト記録時間を設定した場合、記録は、11:00で終了トリガされたとき、それは午前11時00分05秒まで記録されます。
- ファイル有効期限（日）：期限切れ時間が期限に達した場合、ファイルは削除されます。HDDに保持する記録ファイルの最長時間です。0に期限切れ時間を設定するとファイルは削除されません。ファイルの実際の保持時間は、HDDの容量によって決定します。
- ミラーリング録画：ミラーリング録画を有効にするには、ミラーリングしたHDDに録画ファイルを保存することを意味します。第5.8章ミラーリング録画の設定を参照してください。

注意：ミラーリング録画オプションはHDDモードがグループの場合のみ利用可能です。ミラーリング録画では、カメラがミラーリングしたHDDに記録されたファイルを保存するかどうかを決定します。ここではHDDの設定でHDDのミラーリング化を設定する必要があります。詳細については、第10.4.2設定HDDのプロパティを参照してください。

- 音声記録：音声なしで映像を記録するために音声記録チェックボックスをオン/オフします。
- 960Mode有効：WD1でエンコーディングを有効にします（解像度PAL：960×576、NTSC：960×480）。無効にするにはチェックボックスをオフにします。

他のカメラに、現在のメインストリーム設定と同じ設定内容をコピーしたい場合、[コピー]をクリックします。ポップアップ画面からカメラを選択して、コピーの設定が完了したら[OK]をクリックします。

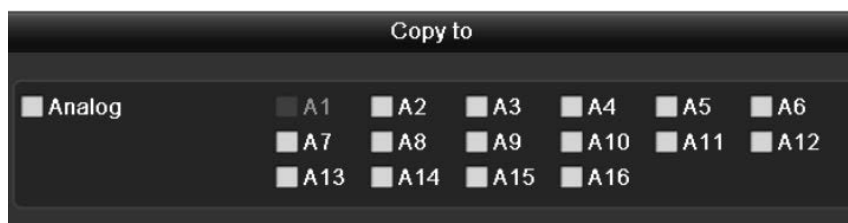


図 5.4 カメラ設定のコピー

- 5) 録画設定画面で設定を保存するには、[適用]をクリックします。注意：デフォルトパラメータに、現在のメインストリームの設定を復元するために[復元]ボタンをクリックします。

### 3. サブストリームのエンコードパラメータの設定

- 1) サブストリームの設定画面を表示するために[サブストリーム]タブをクリックします。

※カメラが9分割以上のライブビュー画像はこのサブストリーム設定内の解像度が反映されるので9/16分割でクリアなライブビュー再現の為に解像度は[4CIF]に設定することを強くおすすめします。



Record <u>Substream</u>	
Camera	Analog 1
Stream Type	Video & Audio
Resolution	QCIF
Bitrate Type	Variable
Video Quality	Medium
Frame Rate	25(PAL)/30(NTSC)
Max. Bitrate Mode	General
Max. Bitrate(Kbps)	128
Max. Bitrate Range Recommended	192~320(Kbps)

図 5.5 サブストリームのエンコードパラメータ

- 2) サブストリームのパラメータを設定します。メインストリームの設定の手順を参照してください。
- 3) 設定を保存するには、[適用]をクリックします。

注意：デフォルト・パラメータに現在のサブストリームの設定を復元するには、復元ボタンをクリックします。

- 4) 他のカメラに、現在のサブストリームの設定をコピーしたい場合は、[コピー]をクリックします。カメラを選択して、コピーの設定を完了するには[OK]をクリックします。

## 5.2. 録画スケジュールの設定

目的:録画スケジュールを設定すると、カメラは録画を自動的に開始し設定されたスケジュールに従って録画を停止します。設定はカメラCH毎に個別となります。)

手順:

1. 録画スケジュール画面に入ります。  
メニュー>録画>スケジュール
2. 録画スケジュールを設定。
  - 1) レコードスケジュール設定画面に入るために[スケジュール]をクリックします。

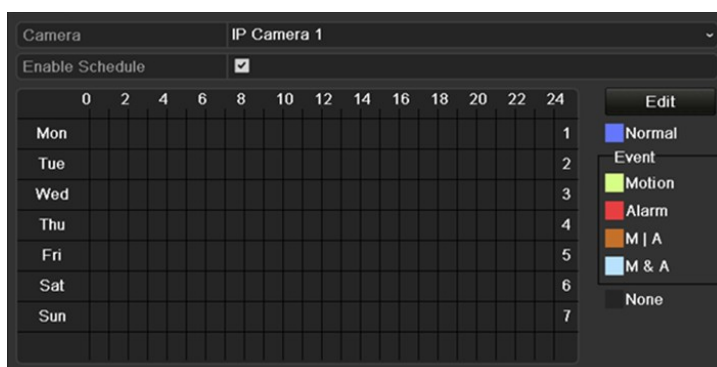


図 5.6 録画スケジュール

- 2) 設定したいカメラ CH を選択します。(設定はカメラ CH 毎に個別となります。)
- 3) [スケジュール有効]のチェックボックスをオンにします。録画スケジュールを設定する方法は2つあります。(タスク 1/タスク 2項目を参照下さい)

タスク 1: スケジュールの編集

ステップ:

- 1) [編集]をクリックします。
- 2) メッセージ・ボックスでは、スケジュールを設定する曜日を選択します。(設定は曜日毎に個別となります。)
- 3) 終日録画のスケジュールを設定するには[終日]チェックボックスをオンにします。終日でない場合、下の 8 項目から開始/終了時刻を設定します。
- 4) 録画タイプを選択します。常時、動体検知、アラーム、などドロップダウンリストでタイプを設定します。

注: 動体検知録画を有効にするには、動体検知の設定を同様に行う必要があります。詳細については、第 8.1 章および第 8.2 章を参照してください。

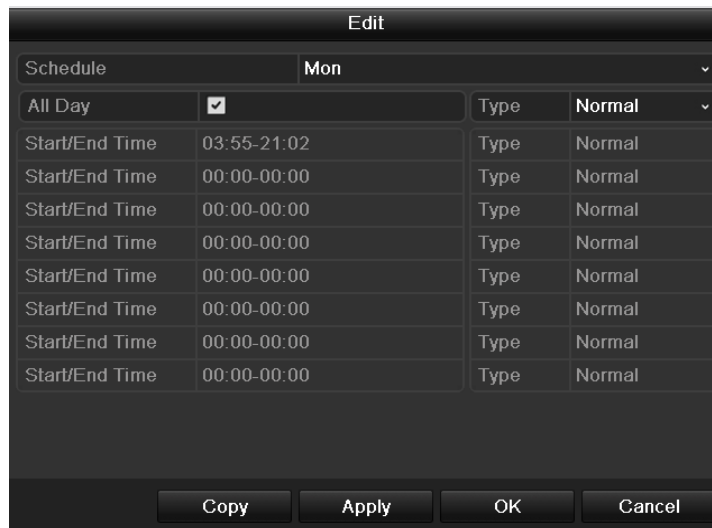


図 5.7 スケジュール編集

- 5) 他のスケジュールを手配するには、[終日]のチェックボックスを空白のままにして、すべての開始/終了時刻とタイプを設定します。

注：最大 8 期間が日ごとに設定することができます。但し時間が互いにオーバーラップすることはできません。

上記 5) の週の他の日の記録をスケジュールすることを繰り返します。スケジュールはまた、他の曜日に同じ設定をしたい場合は、[コピー]をクリックします。

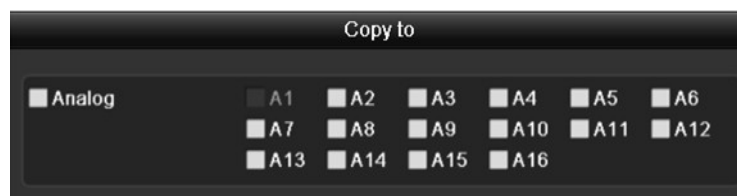


図 5.8 他の曜日にスケジュールをコピーする

注意：休日設定で休日のスケジュールを有効にしたときの休日のスケジュールオプションがドロップダウンリストで利用可能です。第 5.5 章の休日の録画構成を参照してください。

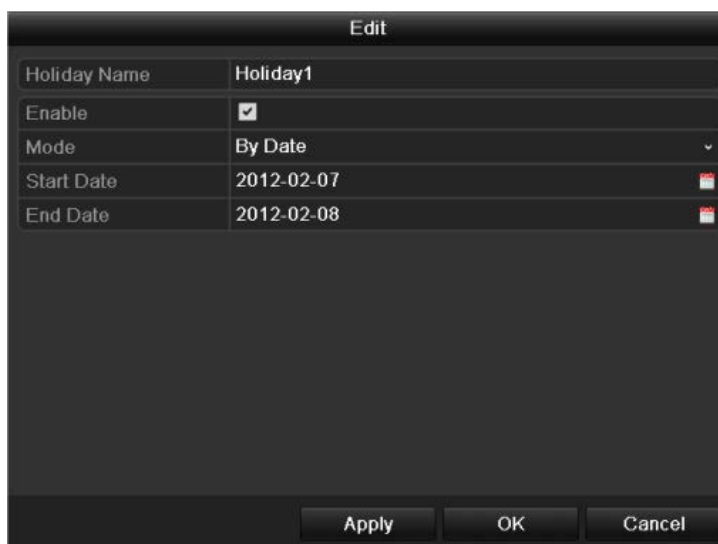


図 5.9 休日設定

- 6) 設定を保存するには、[OK]をクリックして、上位レベルのメニューに戻ります。

#### タスク 2 : スケジュール

手順 :

- 1) 通常録画（青）、動体検知（黄緑）、アラーム（赤）等を含む録画タイプを選択するには、右のアイコンをクリックしてください。注意：動体検知録画を有効にするには、動体検知設定を行う必要があります。詳細については、第 8.1 章および第 8.2 章を参照してください。
- 2) 時間帯をドラッグして、描画するために、マウスを使用してください。注意：最大 8 期間を曜日毎に設定することができます。

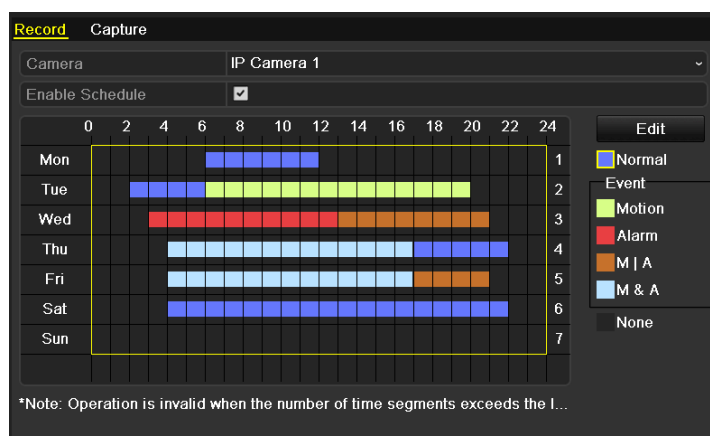


図 5.10 スケジュールを描く

- 3) 他のチャンネルのためのスケジュールを設定するには、上記の手順を繰り返します。同じ設定を、他のチャンネルに使用する場合は、カメラコピー画面に入り、[コピー]をクリックしてからコピーしたいチャンネルを選択します。

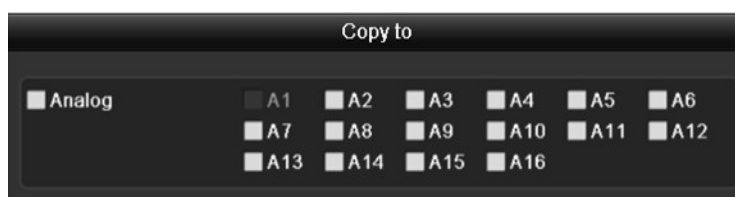


図 5.11 他のチャンネルにスケジュールをコピーする

- 4) 設定を保存するには録画スケジュール画面で[適用]をクリックします。

### 5.3. 動体検知録画

目的: 動体検知のパラメータを設定する手順を説明します。ライブビューモードでは、いったん動体検知のイベントが行われると、デバイスはそれを分析して、処理するために、いくつかの応答アクションを実行できます。動体検知機能を有効にすると、上のように録画を開始するか、フルスクリーンの監視、オーディオの警告をトリガする、監視センターに通知するには、特定のチャンネルをトリガすることができます。この章では、検出された動きによって引き起こされた録画をスケジュールする手順に従います。

手順:

1. 動体検知画面に入ります。

メニュー>カメラ>動体検知



図 5.12 動体検知

2. 動体検知を設定します

- 1) 設定したいカメラを選択します。(設定はカメラ CH 毎に個別となります。)
- 2) 動体検知有効のチェックボックスをオンにします。
- 3) マウスで動体検知のための領域をドラッグして描画します。カメラで撮影したすべての領域の動体検知を設定したい場合は、[全画面]をクリックします。動体検知エリアをクリアするには、[クリア]をクリックします。

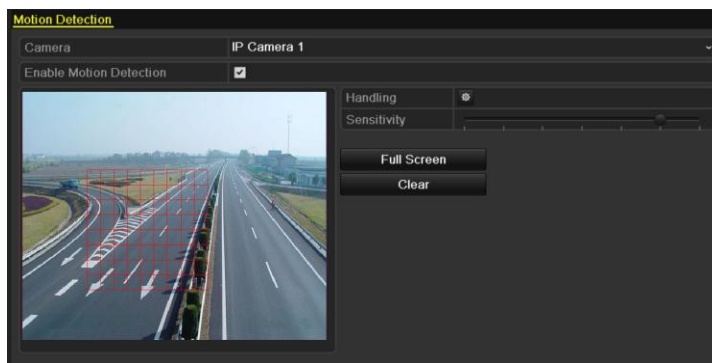


図 5.13 モーション検出-マスク

- 4) 取扱をクリックして、チャンネル情報のメッセージボックスがポッ

プアップ表示されます。

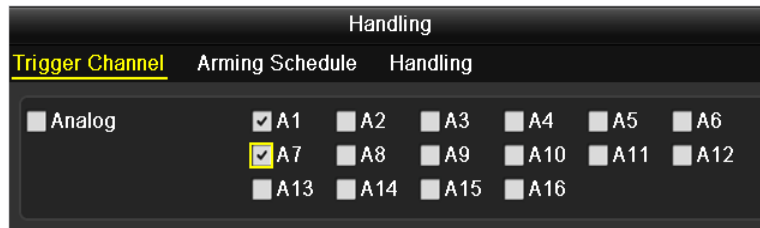


図 5.14 動体検知の取扱

- 5) 動体検知イベント録画をトリガしたいチャンネルを選択します。
- 6) 設定を保存するには、[適用]をクリックします。
- 7) 上位のメニューに戻るには、[OK]をクリックします。
- 8) 動体検知メニューを終了します。

3. スケジュール設定画面に入ります。

メニュー>録画>スケジュール>録画スケジュール



図 5.15 録画スケジュール

- 1) スケジュール有効のチェックボックスをオンにします。

2) [編集]をクリックします

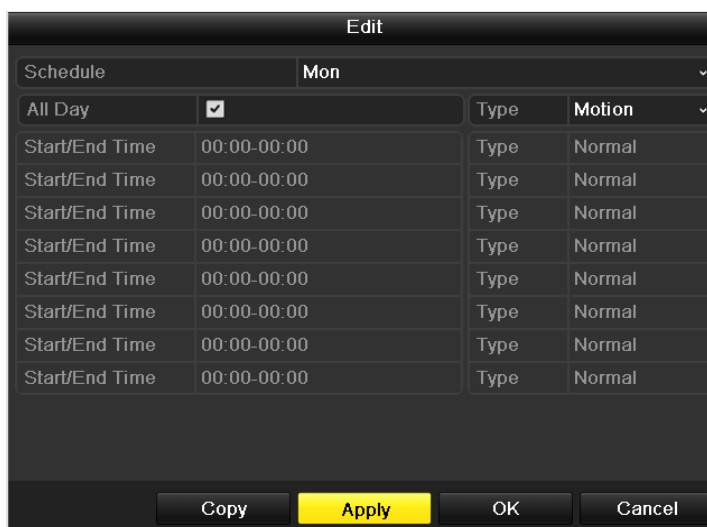


図 5.16 スケジュール・モーション検知を編集

- 3) メッセージボックスでは、スケジュールを設定したい曜日を選択することができます。(設定は曜日毎の個別となります。)
- 4) タイプを[動体検知]に設定します。
- 5) 終日録画をスケジュールするには、[終日]のチェックボックスにチェックを入れます。

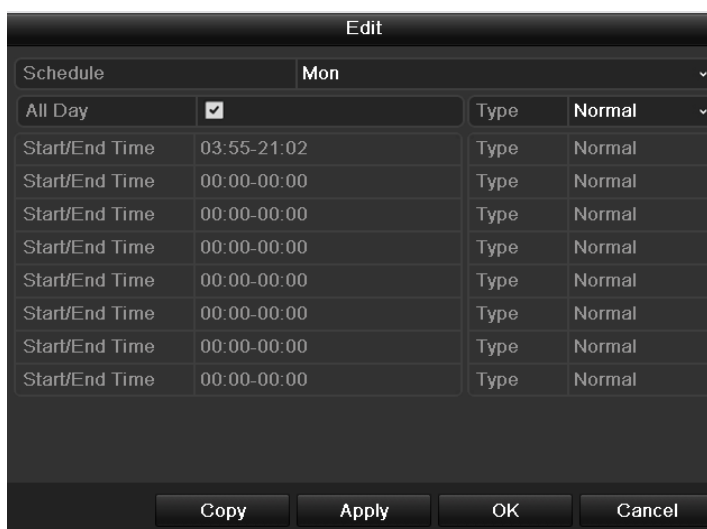


図 5.17 編集スケジュール-すべてのデータ

- 6) 他のスケジュールを手配するには、終日のチェックボックスを空白のままにして、すべての開始/終了時刻を設定してください。

注：最大8期間が日ごとに設定することができます。期間が互いにオーバーラップすることはできません。動体検知をすべての週に設定したい場合は、上記 6) のステップを繰り返します。スケジュールはまた、他の曜日に設定する場合は、[コピー]をクリックします



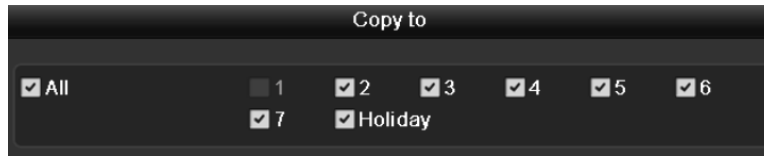


図 5.18 他の曜日にスケジュールをコピーする

7) 上位メニューに戻るには、[OK]をクリックします。

他 CH カメラに同じスケジュール設定をコピーすることができた場合は、カメラコピー画面に入っているには[コピー]をクリックし、コピーしたいカメラ CH を選択します。

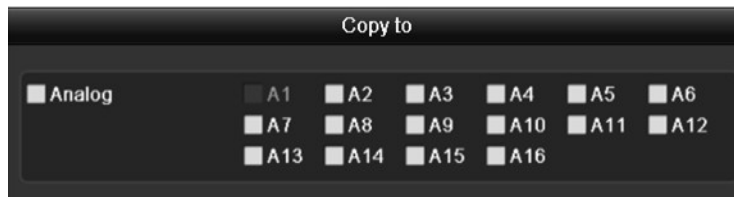


図 5.19 他のチャンネルにスケジュールをコピーする

## 5.4. 手動録画の設定

目的:手動録画のためのパラメータを設定する手順を説明します。手動録画を使用する場合は、手動で録画をキャンセルする必要があります。手動録画は予約録画の前にあります。

手順:

1. 手動設定画面を入力し。

メニュー>手動操作

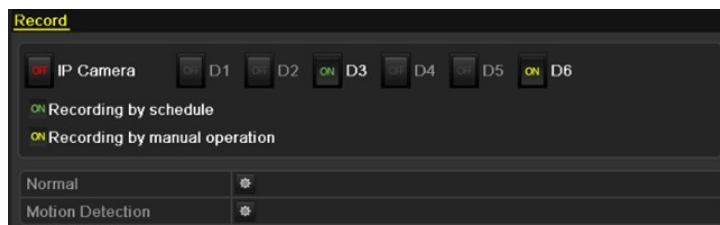


図 5.20 手動録画

各 CH カメラの録画を有効にします。各カメラ番号を[ON]に変更するか、[ON]に変更するアナログ前に[ON/OFF]ステータスバーをクリックすることで、すべてのカメラの録画を有効にすることができます。

2. マニュアルの録画モードを設定します。デフォルトでは、カメラは、スケジュール録画 (ON) が有効になっています。もう一度クリックしてマニュアルの録画を有効にするには、[オフ]に変更するには、ステータスバーの[ON]をクリックします。

注意：再起動後、有効になっているすべての手動録画が解除されます。

3. 終日、通常記録またはすべてのチャンネルのすべての日の動体検知の録画を開始します。

- 1) 通常か動体検知の  をクリックします。

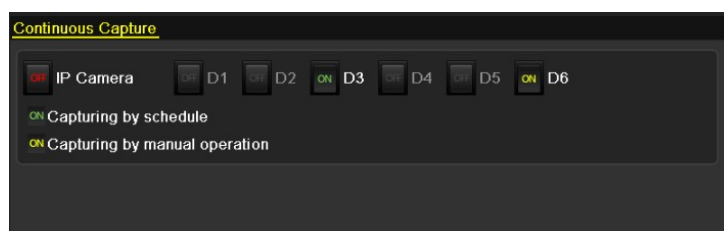


図 5.21 通常又は動体検知録画の開始

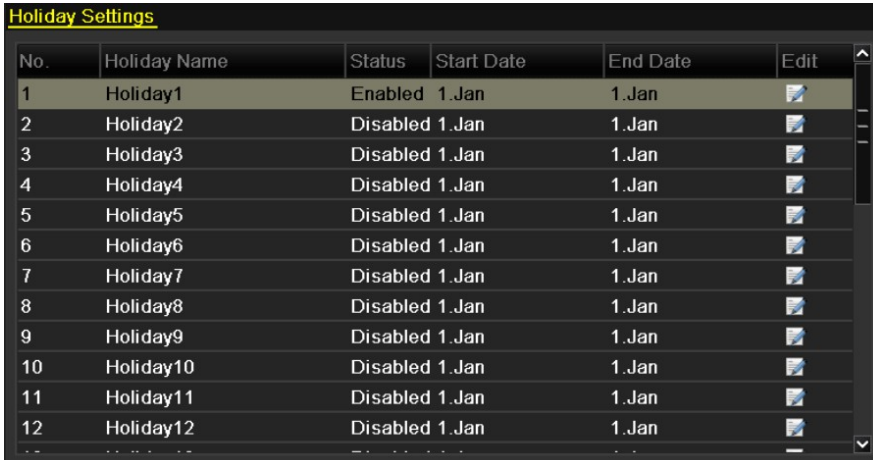
- 2) 終日通常の録画またはすべてのチャンネルの動体検知録画を有効にするには、[はい]をクリックします

## 5.5. 休日の録画設定

目的: 休日録画するために別のスケジュールを持つ必要があります。休日に録画スケジュールを設定するには、次の手順に従ってください。

手順:


1. 録画設定画面に入ります。  
メニュー>録画>休日設定
2. 左のバーで休日設定を選択してください。



No.	Holiday Name	Status	Start Date	End Date	Edit
1	Holiday1	Enabled	1.Jan	1.Jan	
2	Holiday2	Disabled	1.Jan	1.Jan	
3	Holiday3	Disabled	1.Jan	1.Jan	
4	Holiday4	Disabled	1.Jan	1.Jan	
5	Holiday5	Disabled	1.Jan	1.Jan	
6	Holiday6	Disabled	1.Jan	1.Jan	
7	Holiday7	Disabled	1.Jan	1.Jan	
8	Holiday8	Disabled	1.Jan	1.Jan	
9	Holiday9	Disabled	1.Jan	1.Jan	
10	Holiday10	Disabled	1.Jan	1.Jan	
11	Holiday11	Disabled	1.Jan	1.Jan	
12	Holiday12	Disabled	1.Jan	1.Jan	

図 5.22 休日設定

3. 休日のスケジュールを編集し有効にします。
  - 1) 編集画面に入るためにをクリックします。



Edit	
Holiday Name	Holiday1
Enable	<input checked="" type="checkbox"/>
Mode	By Date
Start Date	02-07-2012
End Date	02-08-2012

Apply OK Cancel

図 5.23 休日設定の編集

- 2) [有効]のチェックボックスをオンにします。
- 3) モードのドロップダウンリストより1日、1週間、1ヶ月の3種類のモードから選択します。
- 4) 開始日と終了日を設定します。

- 5) 設定を保存するために[適用]をクリックします。
  - 6) 編集画面を終了するには[OK]をクリックします。
4. 録画スケジュールの設定画面を入力す。

メニュー>録画>スケジュール

- 1) 録画を選択します。
- 2) スケジュール[有効]のチェックボックスをオンにします。
- 3) [編集]をクリックします。
- 4) スケジュールのドロップダウンリストから休日を選択します。

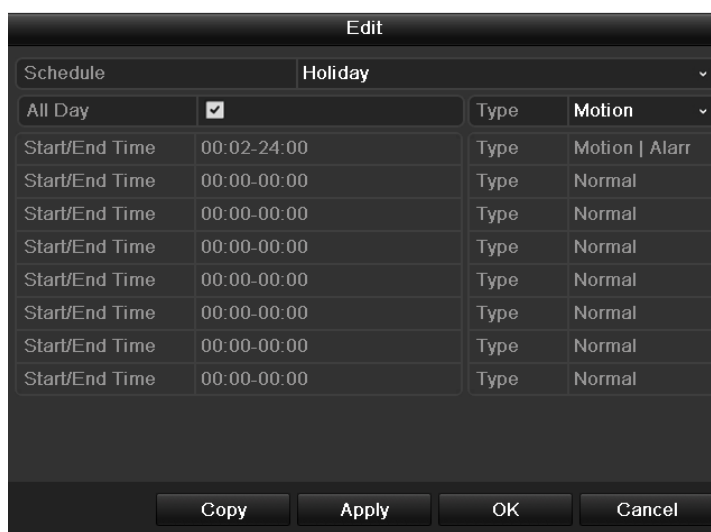


図 5.24 休日スケジュール編集

- 5) [タイプ]のドロップダウンリストから常時、又は動体検知などを選択します。
- 6) 終日録画が必要な場合は、[終日]のチェックボックスにチェックマークを付けます。それ以外の場合は空白のままにします。
- 7) 休日のスケジュールの開始/終了時刻を設定します。
- 8) 注意：最大 8 期間を日毎に設定することができます。期間は互いにオーバーラップすることはできません。チャンネルのタイムテーブルでは、休日のスケジュールと普通の日々のスケジュールの両方が表示されます。

## 5.6. 冗長化（ミラーリング）録画の設定

目的: 本体内HDDとオプションで接続するNetHDDをミラーリングさせ録画ファイルを保存することでデータの安全性と信頼性を向上することが可能です。

注: ミラーリングしたHDDのプロパティを設定する前に、HDDグループの詳細設定でストレージモードを設定する必要があります。詳細については、第10.4章HDDグループの管理を参照してください。少なくとももう一台読み書き可能なHDD (NetHDD)が必要となります。

手順:

1. HDD情報の画面に入ります。

メニュー>HDD

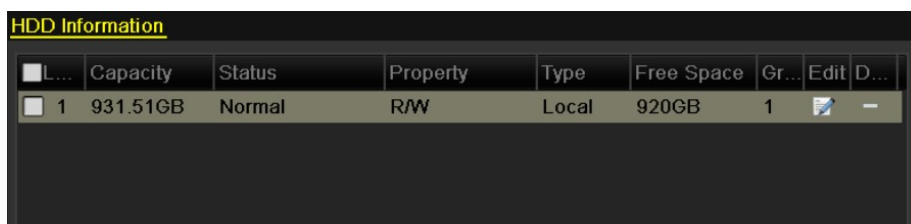


図 5. 25HDD 一般

2. HDDを選択して、ローカルHDDの設定画面に入るためにをクリックします。

- 1) HDDプロパティを冗長性に設定します。



図 5. 26HDD の一般的な編集

- 2) 設定を保存するには、[適用]をクリックします。
  - 3) 上位のメニューに戻るには、[OK]をクリックします。
3. 録画設定画面に入ります。

メニュー>録画>エンコードパラメータ>

- 1) [録画]を選択します。



図 5.27 録画のエンコーディング

- 2) 設定したいカメラを選択します。
- 3) 冗長録画/キャプチャのチェックボックスをオンにします。
- 4) 上位メニューに戻って設定を保存し、[適用]をクリックします。他のチャンネルを設定するには上記のステップ 2) ~4) を繰り返します。

## 5.7. 録画用の HDD グループの設定

目的:HDDをグループ化し、特定のHDD群内に録画ファイルを保存することができます。

手順:

1. HDD の設定画面に入ります。

メニュー>HDD

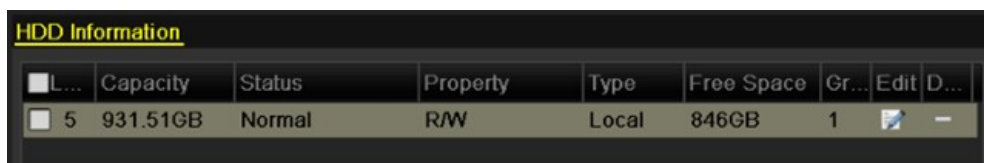



図 5. 28HDD 総合情報

2. 左のバーにある[詳細設定]を選択します。  
ストレージモードの HDD がグループであるかどうか確認してください。グループでない場合は、グループに設定します。詳細については、第 10. 4HDD グループの管理を参照してください。
3. 左のバーで[基本設定]を選択します。編集画面に入るにはをクリックします。
4. HDD グループを設定する。

- 1) HDD グループのグループ番号を選択します。
- 2) [適用]をクリックすると、ポップアップメッセージがでますので、[はい]をクリックして設定を保存します。
- 3) [OK]をクリックして上位メニューに戻ります。

他の HDD グループを設定する場合は上記のステップ 3)~4)を繰り返します。

5. HDD のグループ内に録画ファイルを保存したいチャンネルを選択します。

- 1) 左のバーにある[詳細設定]を選択します。

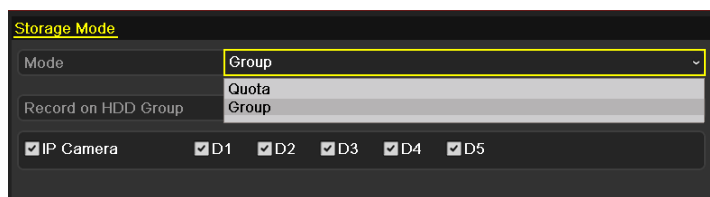


図 5. 29HDD 詳細設定

- 2) ドロップダウンリストより HDD グループ録画のグループ番号を選択します。
- 3) このグループに保存したいチャンネルをチェックしてください。
- 4) 設定を保存するために[適用]をクリックします。

注 : HDD グループを設定した後、第 5. 2 章~第 5. 6 章の手順に従って、録画設定を行います。

## 5.8. ファイルの保護

目的:録画したファイルをロックしたり、読み取り専用の上書きされないように録画ファイルを保護するために、HDDのプロパティを設定することができます。録画ファイルをロックして、ファイルを保護します。

手順:

1. 再生設定画面に入り

[メニュー]>[再生]

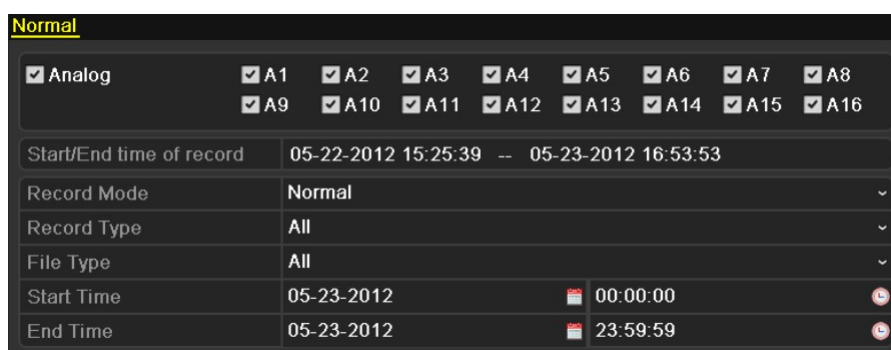


図 5.30 再生

2. にあるチェックボックスをオンにしてチャンネルを選択します。
3. 録画タイプ、ファイルタイプ、および開始/終了時間を設定します。
4. 結果を表示するために[検索]をクリックします。

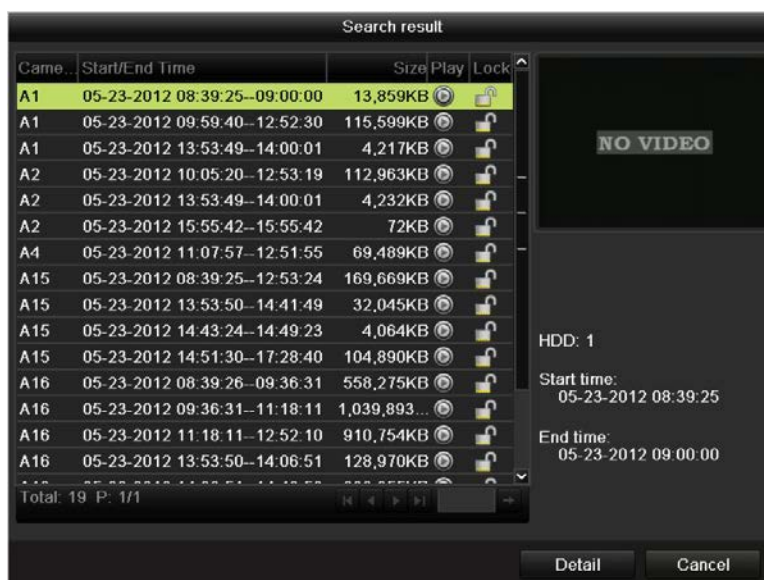




図 5.31 再生・検索結果

5. 録画ファイルを保護します。

- 1) 保護したい録画ファイルを検索して、のアイコンをクリックしてのアイコンに変わると、ファイルがロックされていることを示します。



注意：録画がまだ完了していないファイルをロックすることはできません。



- 2)  をクリックして  のアイコンに変わるとファイルのロックは解除され、ファイルは保護されません。



図 5.32 ロック解除のポップアップ画面

読み取り専用HDDのプロパティを設定したファイルの保護。

注意:HDDのプロパティを編集するには、ストレージモードのHDDをグループに設定する必要があります。詳細は第10.4章HDDグループの管理を参照してください。

手順:

1. HDD の設定画面に入ります。

メニュー>HDD

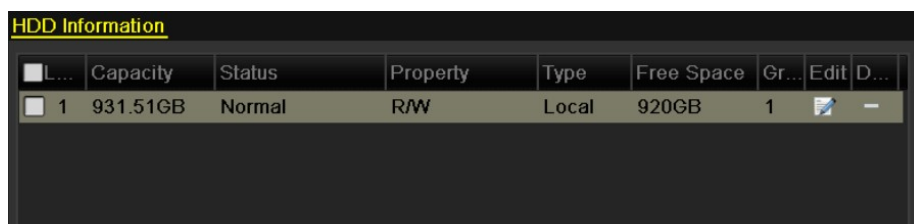



図 5.33HDD 一般

2. 保護したい HDD を編集するために  をクリックします。

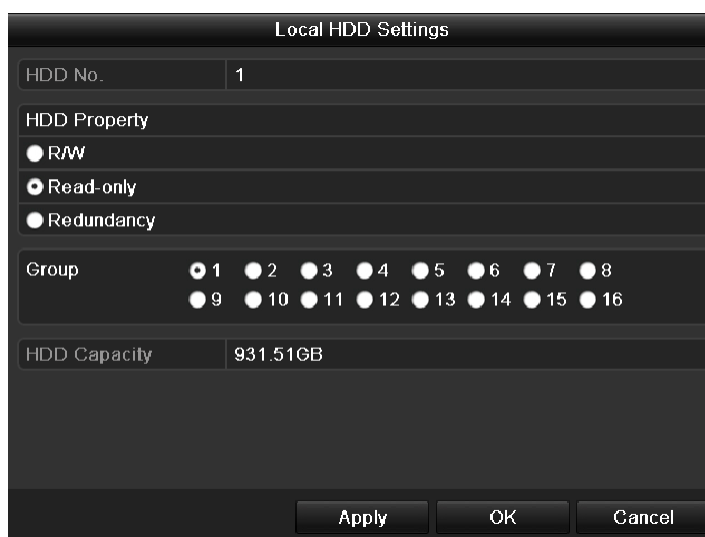


図 5.34HDD の一般的な編集

3. ローカル HDD 編集画面から [読み取り専用] のチェックボックスを ON にて設定します。

4. [適用]をクリックします。

注意：読み取り専用 HDD 内のファイルを保存することはできません。HDD にファイルを保存する

## 6. 再生


### 6.1. 録画ファイルの再生

#### 6.1.1. チャンネルから再生

目的: ライブビューモードで特定のチャンネルで録画したビデオファイルを再生します。チャンネル・スイッチがサポートされています。

#### A: 簡易再生 (直近 5 分間のみの再生)

手順:

マウスを使用してライブビューモードでチャンネルを選択して、クイック設定のツールバーで  ボタンをクリックします。

注意: 指定チャンネル上の最後の 5 分間の録画だけが再生されます。



図 6.1 簡易再生画面

#### B: チャンネル毎の全再生

1. 全再生ボタンをクリックします。マウス操作の場合: ライブビューモードでチャンネルをクリックして、右クリックのメニューから【全再生】を選択します。図 6.2 参照

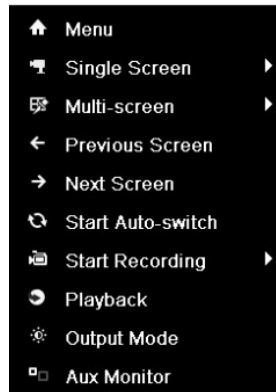


図 6.2 ライブビュー上のマウス右クリックメニュー

赤外線リモコン操作の場合：単画面ライブビューチャンネルの録画ファイルを再生するためには、赤外線リモコンの PLAY ボタンを押します。分割表示時のライブビューでは、一番上の左チャンネル（マスクされていない）の録画ファイルが再生されます。注意：数字ボタンを押すと、再生処理中に、対応するチャンネルに再生を切り替えます。

## 2. 再生管理。

再生画面の下部にあるツールバーは、図 6.3 に示すように、進捗状況を再生制御するために使用できます。



図 6.3 全再生画面

チャンネルと時間、カレンダーの選択メニューは、再生画面の右端にマウスを動かすことによって表示されます。他のチャンネルに再生を切り替えた。

図 6.4 に示すように、複数チャンネルの同時再生を実行したい場合は、選択メニュー上で見たいカメラチャンネルを順にクリックします。

見たいカメラチャンネルのチェックボックス（複数選択可能）を ON に選択します。チェックボックスを ON にしたカメラ台数により再生時の分割画面が下記のように変化します。

- カメラ 1 台 : 単画面再生
- カメラ 2 台 : 2 分割再生
- カメラ 3 ~ 4 台 : 4 分割再生
- カメラ 5 ~ 9 台 : 9 分割再生
- カメラ 10 ~ 16 台 : 16 分割再生



図 6.4 カメラ 01~04 クリック指定し 4 分割で再生

異なる色でマークされた日付:

- 11**この日は録画ファイルがありません。
- 9**この日は録画ファイルは（現在でない日）があります。
- 20**この日はイベント録画ファイルのみ（現在でない日）があります。
- 10**マウスカーソルが位置しています。



図 6.5 終日再生のツールバー

表 6.1 終日再生ツールバーの詳細解説

ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン	操作
	ミュート オンオフ		クリー ピング開始 停止		30 秒前		30 秒後
	規定タグ 追加		カスタム サイズタ グ追加		タグ管理		巻き戻し
	ポーズ・ 再生 / 前のフレ		ポーズ・ 再生 / 次のフレ		停止		早送り

	←		→				
	前日		翌日		隠す		終了
	プロセス バー		ビデオタイ プのバ ー				

注意:

1. 再生プログレスバー: プログレスバーの任意の点をクリックするか、または特別なフレームを見つけるためにプログレスバーをマウスでドラッグします。
2. ビデオタイプバーについて: ■通常の記録(手動またはスケジュール)、■イベント録画(モーション)、■スマート検索の録画を表しています。

### 6.1.2. 指定時刻から再生する

目的: 指定した時間に録画された動画ファイルを再生します。マルチチャンネル同時再生とチャンネルスイッチがサポートされています。

ステップ:

1. 再生画面に入ります。

[メニュー]>[再生]>[通常]

2. 見たいカメラチャンネルのチェックボックス(複数選択可能)をONにします。チェックボックスをONにしたカメラ台数により再生時の分割画面が下記のように変化します。

カメラ1台: 単画面再生

カメラ2台: 2分割再生

カメラ3~4台: 4分割再生

カメラ5~9台: 9分割再生

カメラ10~16台: 16分割再生選択したチャンネルの記録情報を表示するには、[詳細]ボタンをクリックします。レコード情報を表示するには、曜日を選択して[Previous(戻る)]ボタンまたは[Next]をクリックします。



図 6.6 録画詳細情報

3. 再生画面に戻るには、[戻る]をクリックします。
4. 検索条件を設定し、再生画面で[再生]ボタンをクリックします。

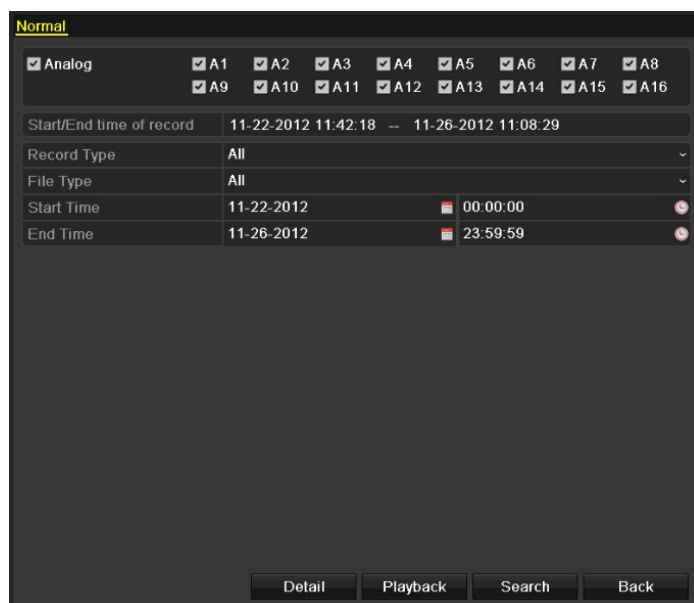


図 6.7 日時ビデオ検索

再生画面の場合：再生画面の下部にあるツールバーは図 6.9 に示すように、再生状況を制御するために使用します。



図 6.8 時間による再生の画面



図 6.9 時間による再生のツールバー

表 6.2 再生ツールバーの詳細解説

ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン	操作
	ミュート オンオフ		クリー ピング開始 停止		30 秒前		30 秒後
	規定タグ 追加		カスタ ムサイ ズタグ 追加		タグ管理		巻き戻し
	ポーズ・ 再生 / 前のフレ ーム		ポーズ・ 再生 / 次のフレ ーム		停止		早送り
	終了		ビデオ検 索		隠す		プログレ スバー
	ビデオタ イプのバ ー						

注意:

1. 再生プログレスバー: プログレスバーの任意の点をクリックするか、または特別なフレームを見つけるためにプログレスバーをマウスでドラッグします。
2. ビデオタイプバーについて: ■通常の記録 (手動またはスケジュール)、■イベント録画 (モーション)、■スマート検索の録画を表しています。

### 6.1.3. 条件検索結果から再生

目的: 録画タイプ (常時、動体検知、アラームなど) と記録時間を制限して、検索された動画ファイルを再生します。

手順:

1. 録画ファイルの検索画面に入ります。  
[メニュー]>[再生]>[通常]録画タイプ (通常、動体検知、アラームなど) と記録開始、終了時間の検索条件を入力し、[検索]ボタンをクリックします。

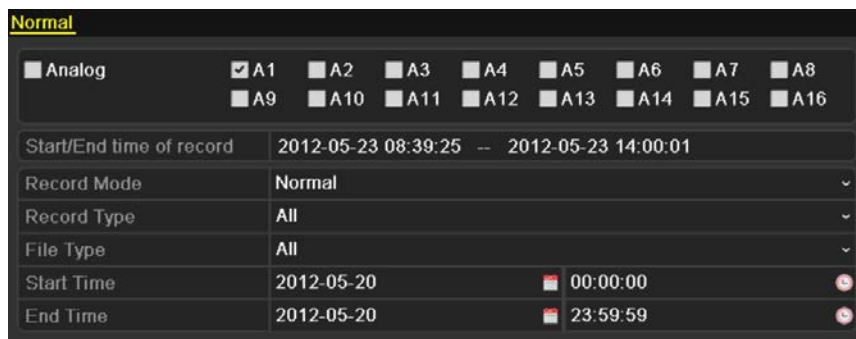


図 6.10 通常の動画検索結果

2. 再生したい録画ファイルを選択してください。





検索結果にカメラ 1CH のみが存在する場合、 ボタンを押すと、このチャンネルのフルスクリーン再生の画面に移動します。複数のチャンネルデータが検出された場合、 ボタンをクリックして、ステップ 3 とステップ 4 に移動します。



図 6.11 ノーマルの動画検索結果

3. 同時再生のためのチャンネルを選択します。

注意：同時再生用のオプションチャンネルは、ステップ 1 で録画ファイルを検索するよう  
に選択したチャンネルと同じです。

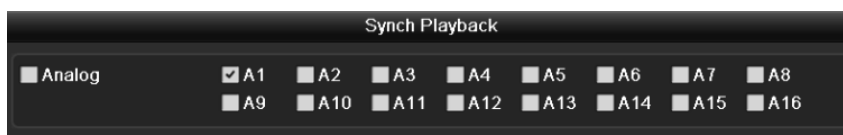


図 6.12 同期再生のためのチャンネルを選択する

4. 同期再生画面

再生画面の下部にあるツールバーは、再生状況を制御するために使用します。



図 6.134 チャンネル同期再生画面

隠れたリストの録画ファイルは、再生画面の右側にマウスを動かすことによって表示されます。



図 6.14 ビデオリスト付き 4 チャンネル同期再生画面

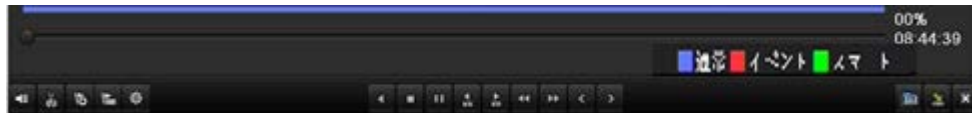


図 6.15 通常再生のツールバー

表 6.3 ノーマル再生ツールバーの詳細解説

ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン	操作
	ミュート オンオフ		クリーピ ング開始 停止		30 秒前		30 秒後
	規定タグ 追加		カスタム サイズタ グ追加		タグ管理		巻き戻し
	ポーズ・ 再生 / 前のフレ ーム		ポーズ・ 再生 / 次のフレ ーム		停止		早送り
	前のファ イル		次のファ イル		隠す		プログレ スバー
	ビデオタ イプのバ ー		ビデオ検 索		終了		

注意:

- 再生プログレスバー: プログレスバーの任意の点をクリックするか、または特別なフレームを見つけるためにプログレスバーをマウスでドラッグします。
- ビデオタイプバーについて: ■通常の記録 (手動またはスケジュール)、■イベント

録画（モーション）、■スマート検索の録画を表しています。

#### 6.1.4. イベント検索して再生する

目的：イベントの種類（動体検出など）を制限することによって、検索されたいくつかのチャンネルに録画ファイルを再生します。

手順：

1. 再生画面に入ります。  
[メニュー]>[再生]
2. イベント再生画面に入るには、[イベント]タブを選択します。
3. イベントタイプは[動体検知]を選択します。
4. 録画ファイルの開始時刻と終了時刻を設定します。
5. 検索するカメラを選択します。

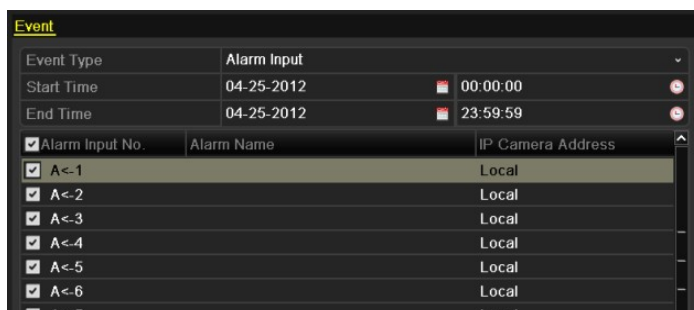


図 6.16 動体検知による映像検索

6. 検索結果の画面に入るには、[検索]ボタンをクリックします。プレ再生とポスト再生を設定します。プリ再生はイベント検索で定義された開始時刻の前に設定された時間を指し、ポスト再生はイベント検索で定義された終了時刻後に設定された時間を指します。たとえば、イベント検索で開始時刻が 12:00:00、終了時刻が 13:00:00 に設定されている場合、プレ再生とポスト再生時間がそれぞれ 30 秒と 20 秒に設定されている場合、実際のイベントのビデオファイルは 11:59:30 から 13:00:20 となります。

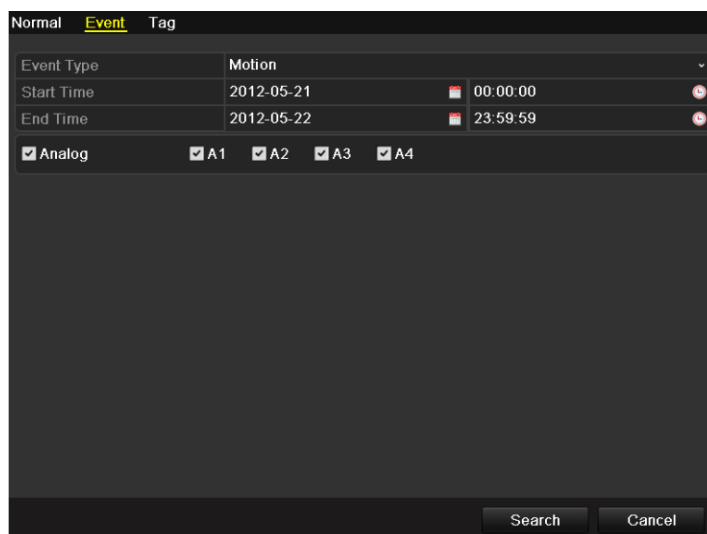


図 6.17 動体検知の検索結果

7. リストから項目を選択して録画ファイルの詳細な情報を表示するには、[詳細]をクリックします。開始時刻、終了時刻、ファイルサイズが表示されます。

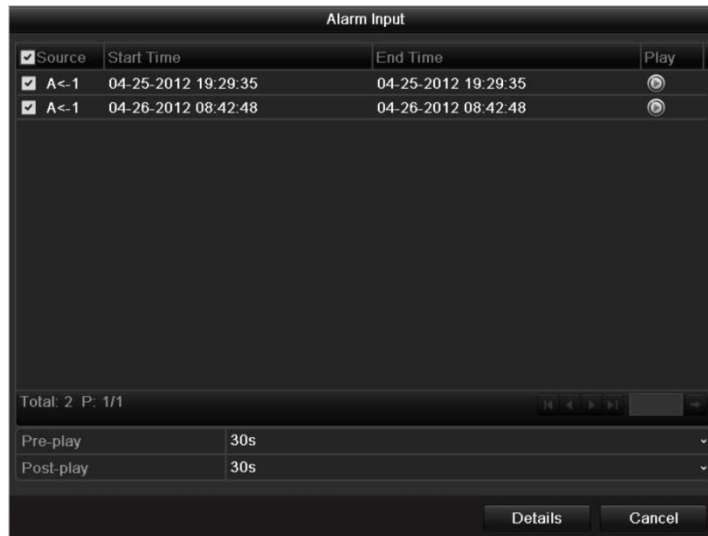


図 6.18 イベントの詳細

8. または直接その再生画面に入るには、各ファイルの項目の ボタンをクリックします。再生画面の下部にあるツールバーは、再生状況を制御するために使用します。



図 6.19 イベントによる再生画面(1)

イベントの隠れたリストは再生画面右側にマウスを動かすことによって表示されます。



図 6.19 イベントによる再生画面 (2)



図 6.21 イベントによる再生のツールバー

表 6.4 再生・バイ・イベント・ツールバーの詳細解説

ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン	操作
	ミュート オンオフ		クリープ ング開始 停止		30 秒前		30 秒後
	規定タグ 追加		カスタム サイズタ グ追加		タグ管理		巻き戻し
	ポーズ・ 再生 / 前のフレ ーム		ポーズ・ 再生 / 次のフレ ーム		停止		早送り
	前のイベ ント		次のイベ ント		隠す		プログレ スバー
	ビデオタ イプのバ ー		イベント 検索		終了		

注意:

1. 再生プログレスバー: プログレスバーの任意の点をクリックするか、または特別なフレームを見つけるためにプログレスバーをマウスでドラッグします。
2. ビデオタイプバーについて: ■通常の記録 (手動またはスケジュール)、■イベント録画 (モーション)、■スマート検索の録画を表しています。

### 6.1.5. タグによる再生


目的:video タグを使用すると、再生時に一定時間のポイントに人や位置などの関連情報を記録することができます。また、録画ファイルとタイムポイントを検索するために video タグを使用します。


タグで再生する前に：

1. 再生画面を表示します。



図 6.22 時間による再生画面

デフォルトのタグを追加するために  ボタンをクリックします。

カスタマイズされたタグとタグ名を入力したタグを追加するには、 ボタンをクリックします。注意：単一のビデオファイルに最大 64 のタグを追加することができます。


2. タグ管理  ボタンをクリックし、タグの確認、編集、および削除を行います。



図 6.23 タグ管理画面

手順：

1. 再生画面に入ります。  
[メニュー]>[再生]
2. [タグ]タブをクリックして、タグ画面の再生に入ります。チャンネル、タグの種類と時間を選択し、[検索]をクリックして検索結果画面に入ります。注意：全てとタグキーワードの二つのタグの種類が選択可能です。タグキーワードを選択した場合、キーワードを入力します。

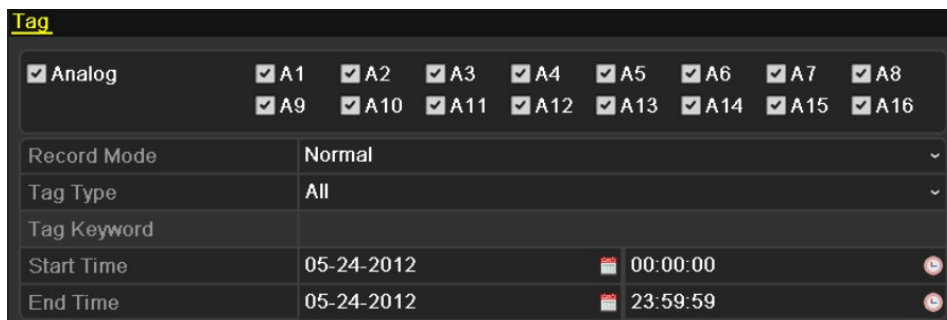


図 6.24 タグで動画検索


- 1) 再生条件とタグ管理の設定をします。再生したい録画ファイルのタグ名を選択します。編集や削除が可能です。プリ再生とポスト再生時間は、実際のニーズに応じて設定することができます。

注意：プリ再生時間とポストプレイ時間はタグのタイムポイントに追加されます。



図 6.25 タグで動画検索結果

3. タグによる再生。

タグを選択し、関連する録画ファイルを再生するには、 ボタンをクリックしま

す。



図 6.26 タグによる再生画面

タグの隠れたリストは、再生画面右側にマウスを動かすことによって表示されます。



図 6.27 動画一覧とタグによる再生画面



図 6.28 タグによる再生のツールバー

表 6.5 タグによるツールバーの詳細解説

ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン	操作
-----	----	-----	----	-----	----	-----	----



	ミュート オンオフ		クリー ピング開始 停止		30 秒前		30 秒後
	規定タグ 追加		カスタ ムサイズタ グ追加		タグ管理		巻き戻し
	ポーズ・ 再生 / 前のフレ ーム		ポーズ・ 再生 / 次のフレ ーム		停止		早送り
	前のタグ		次のタグ		隠す		プログレ スバー
	ビデオタ イプのバ ー		タグ検索		終了		

注意：

1. 再生プログレスバー：プログレスバーの任意の点をクリックするか、または特別なフレームを見つけるためにプログレスバーをマウスでドラッグします。
2. ビデオタイプバーについて：■通常の記録（手動またはスケジュール）、■イベント録画（モーション）、■スマート検索の録画を表しています。

#### 6.1.6. システムログで再生

目的: システムログを検索した後のチャンネルに関連付けられた録画ファイルを再生します。

手順：

1. ログ検索画面に入ります。

[メニュー]>[メンテナンス]>[ログ情報]>[ログ検索]



図 6.29 システムログの検索の画面

2. 検索時間とタイプを設定し、[検索]ボタンをクリックします。



No	Major Type	Time	Minor Type	Paramet.	Play	Details
36	Operation	04-26-2012 08:51:20	Remote Operati...	Image	—	✓
37	Operation	04-26-2012 08:51:21	Remote Operati...	Image	—	✓
38	Operation	04-26-2012 08:51:23	Remote Operati...	Image	—	✓
39	Operation	04-26-2012 08:51:46	Remote Operati...	Image	—	✓
40	Operation	04-26-2012 08:52:13	Local Operation:...	N/A	⏪	✓
41	Operation	04-26-2012 08:52:14	Local Operation:...	N/A	⏪	✓
42	Operation	04-26-2012 08:52:15	Local Operation:...	N/A	⏪	✓
43	Operation	04-26-2012 08:52:17	Local Operation:...	N/A	⏪	✓
44	Operation	04-26-2012 08:52:26	Local Operation:...	N/A	⏪	✓
45	Operation	04-26-2012 08:52:28	Local Operation:...	N/A	⏪	✓
46	Exception	04-26-2012 09:14:02	IP Camera Disc...	N/A	⏪	✓
47	Operation	04-26-2012 09:16:22	Local Operation:...	N/A	—	✓
48	Exception	04-26-2012 09:18:37	IP Conflicted	N/A	—	✓

図 6.30 システムログを検索した結果


3. 3 録画ファイルのログを選択し、ボタンをクリックして再生画面に入ります。  
注意：ログのタイムポイントに録画ファイルが無い場合は、メッセージボックスに“結果は見つかりませんでした”とポップアップ表示されます。再生画面下部にあるツールバーは、再生状況を制御するために使用します。



図 6.31 ログによる再生画面

## 6.2. 再生の補助機能

### 6.2.1. フレーム単位での再生

目的:異常なイベントが発生した画像の詳細をチェックするために、ビデオファイルをフレーム毎に再生します。

手順:

再生画面に移動します。録画ファイルの再生を選択した場合:◀◀と▶▶のボタンをクリックすると、シングルフレームに変更され、再生画面上でワンクリックすると1フレームが表示されます。

### 6.2.2. スマート検索

目的:再生の進行状況バーに簡単かつ正確に動体検知イベントを見つけるために、動的に特定の領域(シーン)を分析し、その領域で発生した関連する動体検出した全てのイベントを取得することができます。

手順:

1. 通常の再生あるいは全日再生に移動します。

注意:スマート検索機能は、単一のチャンネルで再生可能です。



図 6.32 再生画面

2. マウスを右クリックして、スマート検索をするために解析領域の選択画面に行きます。

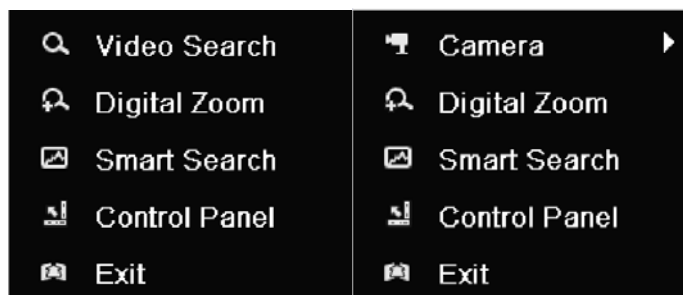


図 6.33 全日再生と通常再生画面での右クリックメニュー





3.  ボタンをクリックすると、ターゲットエリアを検索するようにフルスクリーン設定します。エリアを描画した後、そのエリアでスマート検索を実行するために  ボタンをクリックします。注意：マルチエリアとフルスクリーン検索モードがサポートされています。



図 6.34 スマート検索の領域を描きます

インテリジェントな分析の結果：ビデオタイプのバー：

：通常記録ファイル；

：イベント録画ファイル；


：ダイナミック録画ファイル再生画面右側にマウスを移動すると、記録ファイルの隠れたリストが表示されます。



図 6.35 ビデオリスト付きスマート検索結果

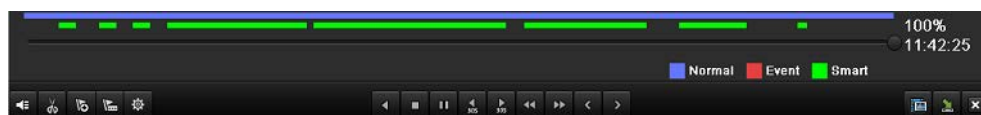


図 6.36 スマート検索の再生ツールバー

表 6.6 スマート検索の再生ツールバーの詳細解説

ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン	操作
	ミュート オンオフ		クリープ ング開始 停止		30 秒前		30 秒後
	規定タグ 追加		カスタム サイズタ グ追加		タグ管理		巻き戻し
	ポーズ・ 再生 / 前のフレ ーム		ポーズ・ 再生 / 次のフレ ーム		停止		早送り
	前の検索 結果		次の検索 結果		隠す		プログレ スバー
	ビデオタ イプのバ ー		ビデオ検 索		終了		スマート 検索バー

注意：

1. 再生プログレスバー：プログレスバーの任意の点をクリックするか、または特別なフレームを見つけるためにプログレスバーをマウスでドラッグします。
2. ビデオタイプバーについて：■通常の記録（手動またはスケジュール）、■イベント録画（モーション）、■スマート検索の録画を表しています。

### 6.2.3. デジタルズーム

手順：

1. 再生中のチャンネルの上でマウスの右クリックを行い、デジタルズーム画面に入りデジタルズームを選択します。
2. マウスで赤い矩形を描画すると、その領域が 16 倍まで拡大できます。



図 6.37 デジタルズームの領域を描画する

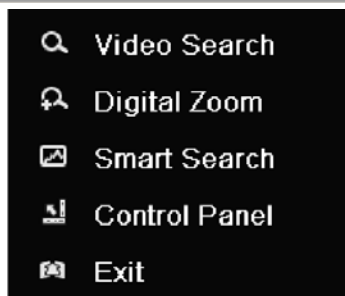







図 6.38 再生モードの右クリックメニュー

右クリックメニュー:

注意:このメニューには、1つの再生画面から別のものと若干異なります。

表 6.7 の再生時の右クリックメニューの詳細説明

ボタン	機能
	再生画面に戻る
	デジタルズーム画面を表示します
	指定された領域に対してスマート検索
	制御画面を表示 & 非表示
	ビデオ再生の画面を終了

## 7. バックアップ

### 7.1. 録画ファイルのバックアップ

はじめる前に:

デバイスにバックアップデバイス（複数可）を挿入してください。

#### 7.1.1. クイックエクスポート

目的:

すぐにデバイス（複数可）をバックアップする録画ファイルをエクスポートします

手順:

1. ビデオのエクスポート画面に入ります。

[メニュー]>[エクスポート]>[通常]



図 7.1 エクスポート画面

2. バックアップおよびクイック書き出しボタンをクリックしてチャンネルを選択してください。

注意:

1. 指定されたチャンネル上の録画ファイルの持続時間は 24 時間を超えることはできません。あるいは、メッセージボックスに“最大で 24 時間までエクスポートが可能です”とポップアップ表示されます。
2. 同時エクスポートチャンネル数が 4 を超えることはできません。あるいは、メッセージボックスに“最大で 4 チャンネルは同時エクスポートが可能です。”とポップアップ表示されます。



図 7.2 USB を使用してクイック書き出し

3. エクスポート画面では、バックアップデバイスを選択し、[エクスポート]ボタンをクリックしてエクスポートを開始します。注意：ここでは、USB フラッシュドライブを使用します。サポートされている複数のバックアップデバイスについては、次のセクション標準バックアップを参照してください。
4. すべての録画ファイルは、USB フラッシュドライブにエクスポートされるまで、エクスポート画面に表示されます。

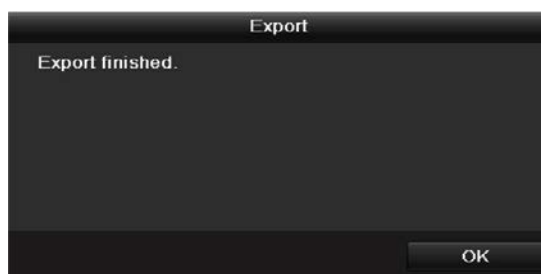


図 7.3 エクスポートが完了

5. バックアップの結果を確認してください。エクスポート画面の録画ファイルを選択し、確認するには ボタンをクリックします。注意：プレーヤーの player.exe が録画ファイルのエクスポート時に自動的にエクスポートされます。





図 7.4 USB を使用したクイックエクスポートの結果確認

### 7.1.2. ノーマルのビデオ検索結果によるバックアップ

目的: 録画ファイルは、USBデバイス（USBフラッシュドライブ、USBのHDD、USB機器）と SATA 機器など様々なデバイスへバックアップすることができます。

手順:

1. エクスポート画面を表示します。

[メニュー]>[エクスポート]>通常



図 7.5 通常のビデオ検索結果のバックアップ

2. 検索条件を設定して検索結果の画面に入り、[検索]ボタンをクリックします。

3. バックアップしたい録画ファイルを選択します。🔍ボタンをクリックして、確認したい録画ファイルを再生します。バックアップしたい録画ファイルの前にあるチェックボックスをオンにします。注意：現在選択されているファイルのサイズは、ウィンドウの左下隅に表示されます。

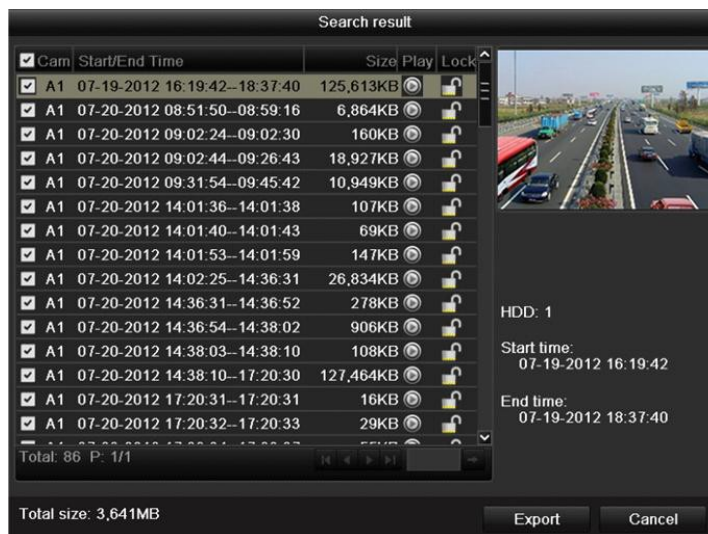


図 7.6 バックアップ用の通常ビデオ検索結果

4. 録画ファイルをエクスポートします。

[エクスポート]ボタンをクリックして、バックアップを開始します。注意：挿入されたデバイスが認識されない場合：

- [リフレッシュ]ボタンをクリックします。
- デバイスを再接続します。
- ベンダーから互換性を確認します。

また、デバイスを介して USB フラッシュドライブや USBHDD をフォーマットすることができます。USB の機器と SATA 機器はフォーマットできません

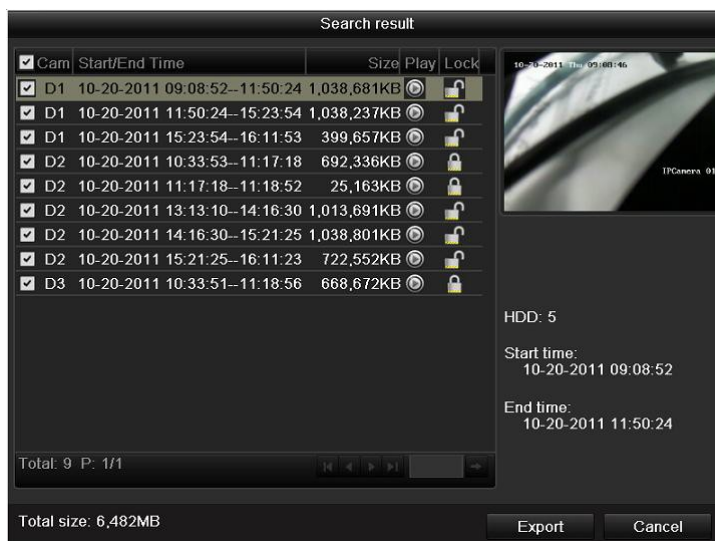


図 7.7 USB フラッシュドライブによる通常のビデオ検索結果のエクスポート



図 7. 8USBライターを使用して、通常のビデオ検索結果のエクスポート

すべての録画ファイルがエクスポートされるまで、ポップアップメッセージボックスが表示されます。完了後“エクスポートが完了しました。”と表示されます。



図 7. 9 エクスポート完了


- バックアップの結果を確認する。エクスポート画面で録画ファイルを選択し、確認のために  ボタンをクリックします。注意：プレーヤーの player.exe が録画ファイルのエクスポート時に自動的にエクスポートされます。



図 7. 10USB フラッシュドライブを使用してエクスポート結果の確認

### 7.1.3. イベント検索によるバックアップ

目的： イベント関連録画をUSBデバイス（USBフラッシュドライブ、USBのHDD、USB機器）またはSATA機器へバックアップする。クイックバックアップと通常のバックアップがサポートされています。

手順：

1. エクスポート画面に入ります。  
[メニュー]>[エクスポート]>[イベント]
2. イベントの種類として動体検知を選択します。
3. 録画ファイルの開始時刻と終了時刻を設定します。
4. 検索するためのカメラを選択します。

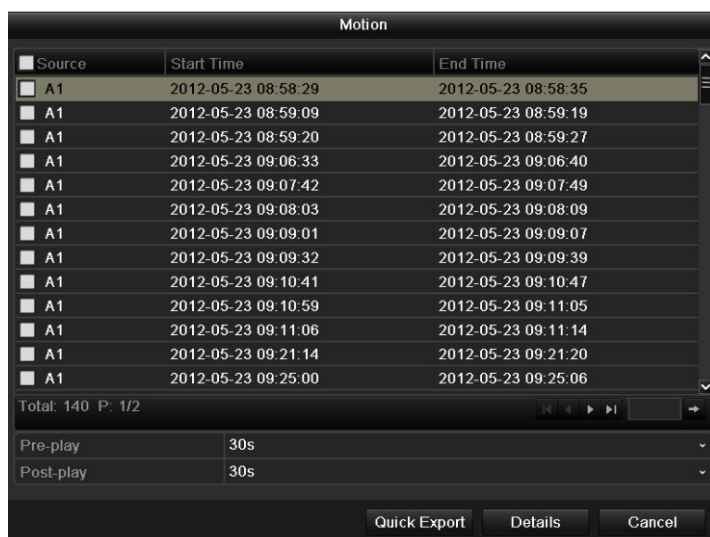


図 7.12 バックアップのためのイベント検索

5. 検索結果の画面を表示するには、[検索]ボタンをクリックします。

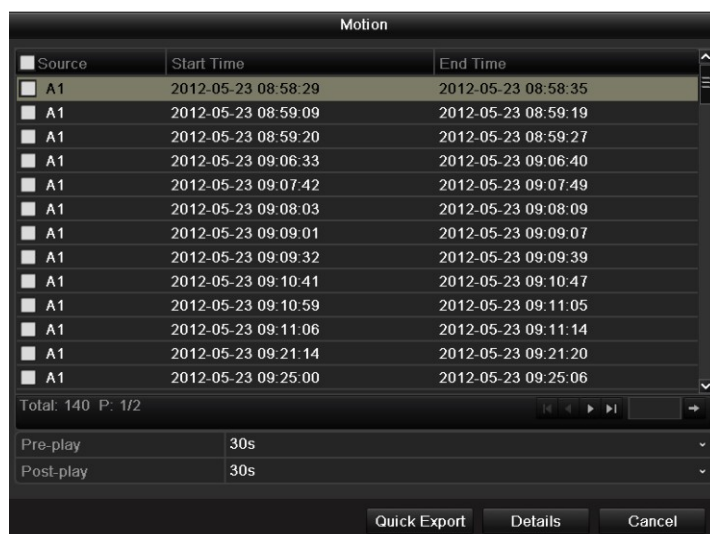


図 7.13 イベント検索結果

6. エクスポートする録画ファイルを選択します。リストから動体検出イベント（複数可）を選択して、[クイックエクスポート]ボタンをクリックして図 7.20 のようにエクスポート画面に入ります。

- 1) [詳細]ボタンをクリックし、開始時刻、終了時刻、ファイルサイズなど録画ファイルの詳細情報の画面に入ります。注意：現在選択されているファイルのサイズは、ウィンドウの左下隅に表示されます。
- 2) リストから録画ファイル（複数可）を選択し、[エクスポート]ボタンをクリックして図 7.20 のようにエクスポート画面に入ります。

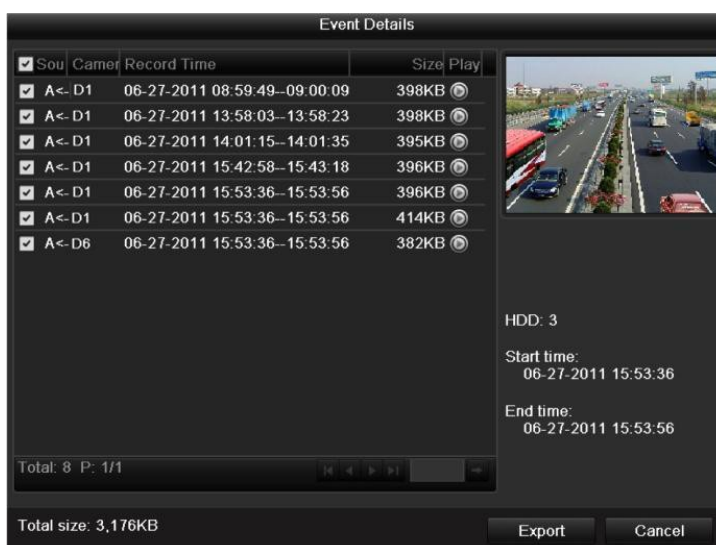


図 7.14 イベント詳細画面

7. 選択された録画ファイルをエクスポートします。[エクスポート]ボタンをクリックして、バックアップを開始します。

注意：挿入された USB デバイスが認識されない場合：

- [リフレッシュ]ボタンをクリックします。
- デバイスを再接続します。
- ベンダーから互換性を確認します。

また、デバイスを介して、USB フラッシュドライブや USBHDD をフォーマットすることができます。



図 7.15 USB フラッシュドライブを使用したイベントによるエクスポート

すべての録画ファイルがエクスポートされると、“エクスポートが完了”とポップアップメニューが表示されます。



図 7.16 エクスポートが完了

8. バックアップの結果を確認する。

エクスポート画面の録画ファイルを選択し、確認のために▶️ボタンをクリックします。注意：プレーヤーの player.exe が録画ファイルのエクスポート時に自動的にエクスポートされます。

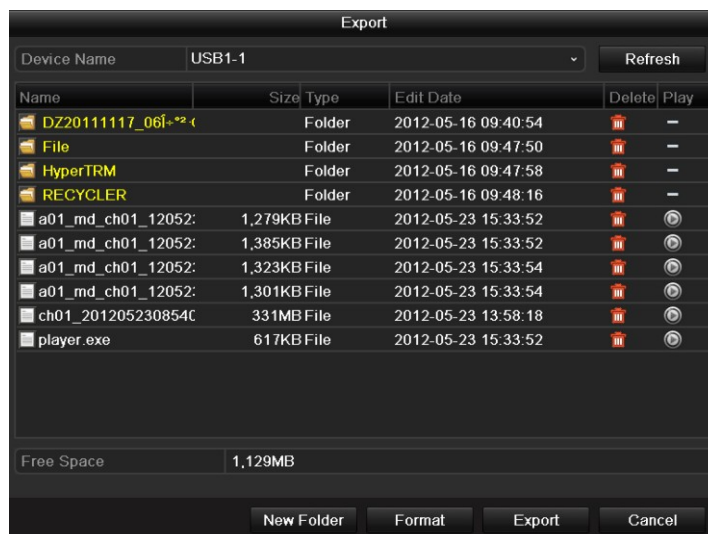




図 7.17 USB フラッシュドライブを使用したイベントのエクスポート結果確認

#### 7.1.4. ビデオクリップのバックアップ

目的:USBデバイス（USBフラッシュドライブ、USBのHDD、USB機器）またはSATA機器を使用して、選択したビデオクリップを再生中に直接エクスポートすることができます。

手順：

1. 再生画面に入ります。  
第6章を参照してください。
2. 再生中に、ツールバーの  と  ボタンを使用して録画ファイル（複数可）のクリッピングの開始または停止を行います。
3. クリッピングを終えた後に再生画面を終了し、その後、クリップを保存するように求められます。

注意：各チャンネルに最大 30 クリップまで選択することができます。



図 7.18 時間による再生画面

- 1) [はい]をクリックしてビデオクリップを保存、[いいえ]で保存せずに終了します。

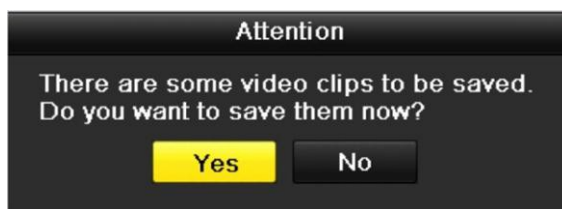


図 7.19 ビデオクリップ保存の注意

- 2) ビデオクリップをエクスポートします。[エクスポート]ボタンをクリックして、バックアップを開始します。注意：挿入した USB デバイスが認識されない場合：
  - [リフレッシュ]ボタンをクリックします。

- デバイスを再接続します。
- ベンダーから互換性を確認します。また、デバイスを介して、USB フラッシュドライブや USBHDD をフォーマットすることができます。

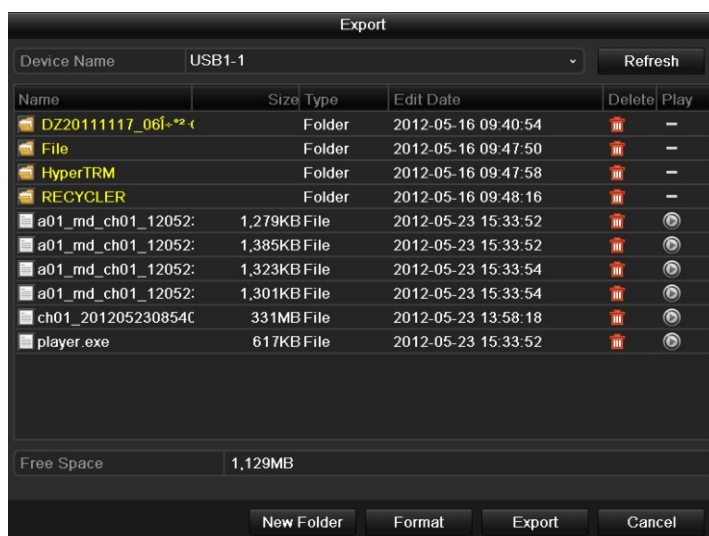


図 7.20 USB フラッシュドライブを使用したビデオクリップのエクスポート

すべての録画ファイルがエクスポートされると、“エクスポート完了”とポップアップメッセージが表示されます。

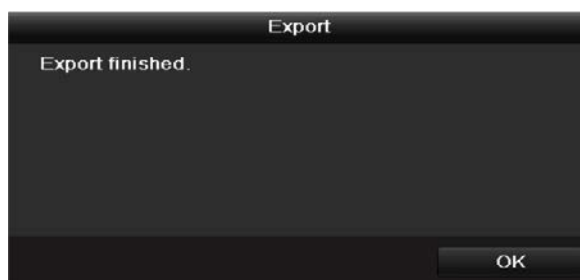


図 7.22 エクスポートが完了

- 3) バックアップ結果の確認。注意：プレーヤーの player.exe がレコードファイルのエクスポート時に自動的にエクスポートされます。



図 7.23 USB フラッシュドライブによるビデオクリップのエクスポート結果確認



## 7.2. バックアップデバイスの管理

### USBフラッシュドライブおよびUSBのHDD、e-SATAHDDの管理

1. 録画ファイルの検索結果画面に入ります。

[メニュー]>[エクスポート]>[通常]検索結果の画面を表示して検索条件をクリックし、[検索]ボタンを設定します。注意：少なくとも1つのチャンネルが選択されなければいけません。



図 7.24 通常のビデオ検索結果

2. バックアップしたい録画ファイルを選択します。エクスポート画面を表示し、[エクスポート]ボタンをクリックします。

注意：少なくとも1つのレコードのファイルが選択されなければいけません。

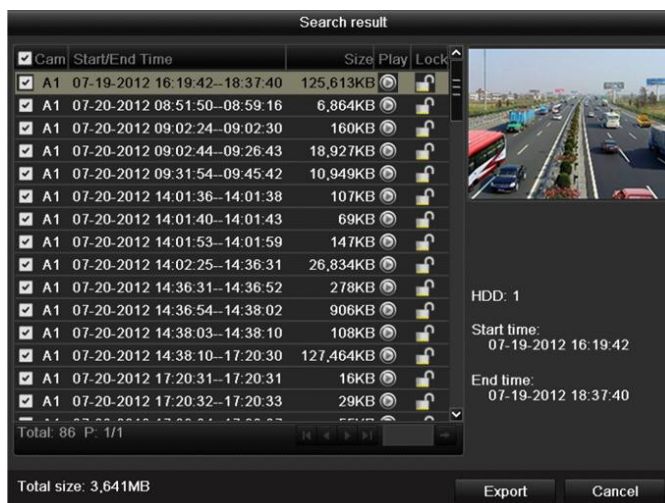




図 7.25 ノーマルのビデオ検索結果のバックアップ

- 1) バックアップデバイスの管理。

バックアップデバイスに新しいフォルダを作成したい場合は、[新規フォル

ダ]ボタンをクリックします。バックアップデバイスを削除したい場合、録画したファイルまたはフォルダを選択し、ボタンをクリックします。バックアップデバイスに記録ファイルを選択し、再生する場合はボタンをクリックします。バックアップデバイスをフォーマットするには[フォーマット]ボタンをクリックします。

注意：挿入した USB デバイスが認識されない場合：

- [リフレッシュ]ボタンをクリックします。
- デバイスを再接続します。

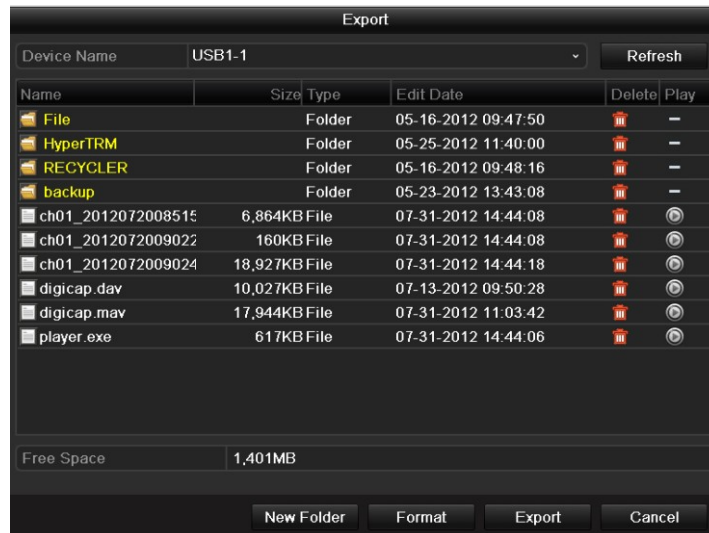


図 7.26 USB フラッシュドライブの管理

## USBの機器とSATA機器のマネジメント

1. 録画ファイルの検索結果画面に入ります。[メニュー]>[エクスポート]>[通常]検索条件を設定し、検索結果画面に入るために[検索]ボタンをクリックします。

注意：少なくとも1つのチャンネルが選択されなければなりません。



図 7.27 通常のビデオ検索結果のバックアップ

- バックアップしたい録画ファイルを選択します。エクスポート画面を表示し、[エクスポート]ボタンをクリックします。

注意：少なくとも1つの録画ファイルが選択されなければなりません。

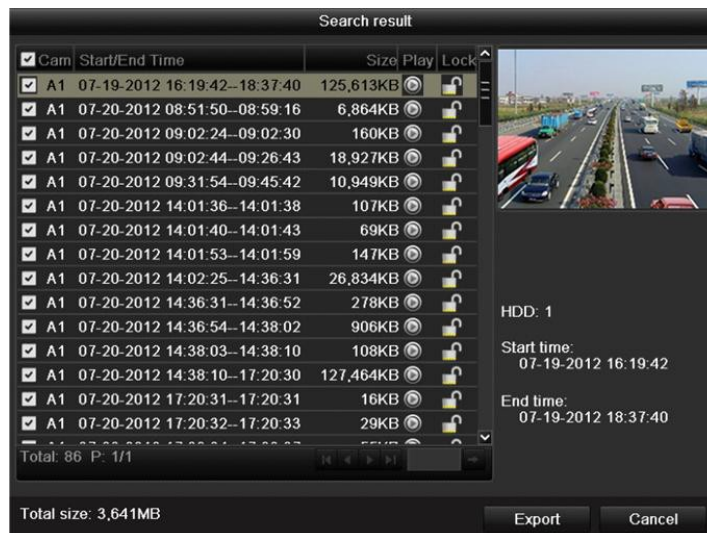


図 7.28 通常のビデオ検索結果のバックアップ

- バックアップデバイス管理。

再書き込み可能な CD/DVD からファイルを消去する場合は[消去]ボタンをクリックします。注意：この操作を行う場合は、再書き込み可能な CD/DVD でなければなりません。

注意：挿入した USB 機器または SATA 機器が認識されない場合：

- [リフレッシュ]ボタンをクリックします。

- デバイスを再接続します。
- ベンダーから互換性を確認



7.29 USB 機器の管理

---

## 8. アラーム設定

### 8.1. 動体検知の設定

手順:

1. 動体検知画面に入り、動体検知を設定したいカメラを選択します。

メニュー>カメラ>動体検知



図 8.1 動体検知設定画面


2. 動体検知エリアと感度を設定します。
  - 1) 動体検知を有効にするために、[動体検知有効]のチェックボックスにチェックを入れます。マウスを使用して検出エリアを描画し、感度を設定するために感度バーをドラッグします。
  - 2) アラーム応答動作を設定するには、手動の  アイコンをクリックします。



図 8.2 検出エリアと感度の設定

3. [トリガチャンネル] タブをクリックし、動体検知がトリガされたときにフルスクリーンの監視または録画のために、1 つまたは複数のチャンネルを選択します。



図 8.3 動体検知のトリガカメラを設定する

4. チャンネルのアラームスケジュールを設定します。
    - 1) チャンネルのアラームスケジュールを設定するために、[アラームスケジュール]タブを選択します。
    - 2) 週の1日を選択して、最大8プログラムを1日内で設定できます。
- 注意：時間帯が繰り返しまたは重なってはいけません。

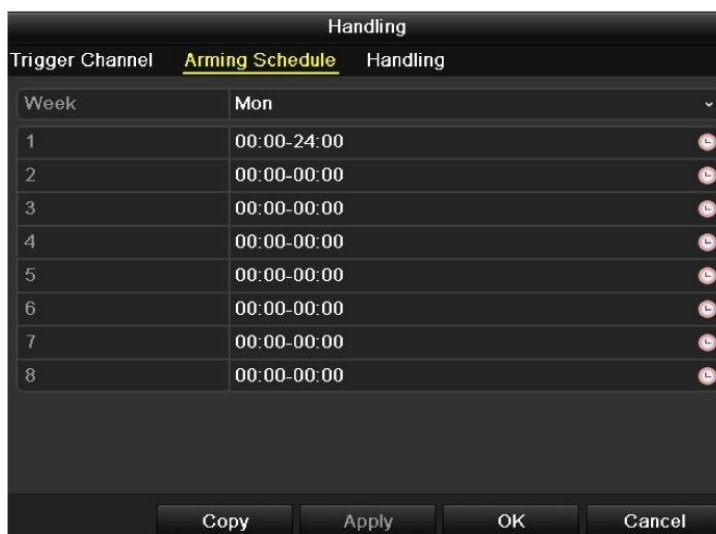


図 8.4 動体検知のアラームスケジュールの設定

5. 動体検知アラームの応答アクションの設定画面は[取扱]タブをクリックして画面を表示します。(第 8.5 章を参照してください)



- 1) 他の曜日のアラームスケジュールを設定するには、上記の手順を繰り返します。また、他の曜日にアラームスケジュールをコピーするには、[コピー] ボタンを使用します。
  - 2) チャンネルの動体検知の設定が完了したら [OK] ボタンをクリックします。
6. 他のチャンネルの動体検出を設定したい場合は、上記の手順を繰り返すか、または上記の設定をコピーします。

注意：“トリガチャンネル”のアクションをコピーすることはできません。



図 8.5 動体検知の設定をコピー

## 8.2. ビデオロスを検出

目的:チャンネルのビデオロスを検出し、アラーム応答アクション（複数可）を行います。  
手順:

1. カメラ管理のビデオロス画面に入ります。

メニュー>カメラ>ビデオロス

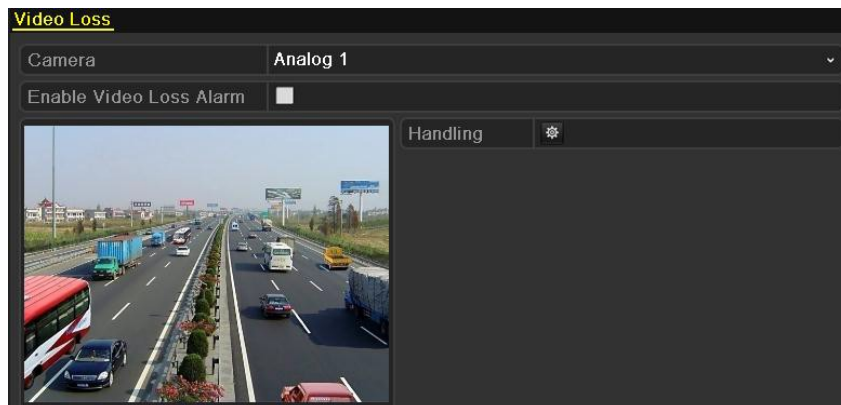



図 8.6 ビデオロス設定画面

2. 検出したいチャンネルを選択します。
3. [ビデオロスアラーム有効]のチェックボックスにチェックを入れます。
4. [取扱]の画面を表示する場合  アイコンをクリックします。  
※以降の詳細説明については第 8.1.1 章の手順 3. 4. 5. 6 項目を参照ください
5. チャンネルのアラームスケジュールを設定します。

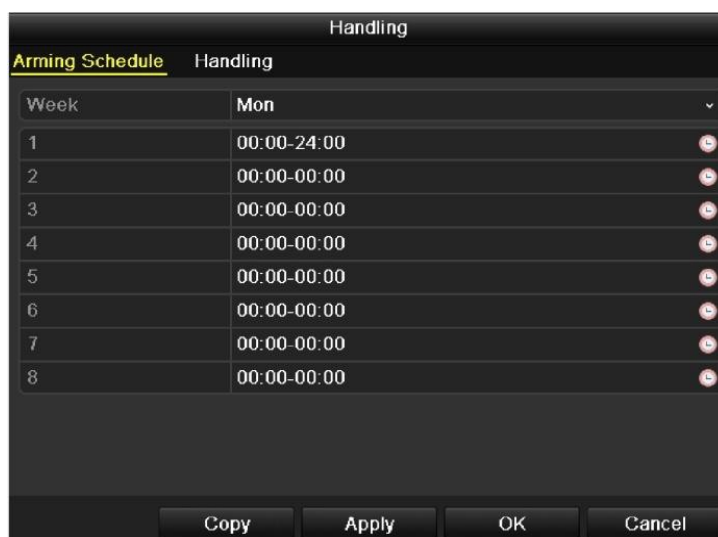


図 8.7 ビデオロスのアラームのスケジュール設定

6. ビデオロスアラーム設定を保存するには、[適用]をクリックします。



### 8.3. 遮断検知

目的: レンズが覆われているアラームのトリガとアラーム応答アクションを行います。

手順

1. カメラ管理の遮断検知設定画面に入ります。

メニュー>カメラ>遮断検知



図 8.8 遮断検知設定画面


2. 遮断を検出したいチャンネルを選択します。
3. 遮断検知有効のチェックボックスにチェックを入れます。  
注意: デフォルトでは、遮断検出がフルスクリーンに設定されています。
4. 感度バーを移動して、適切な感度レベルを選択します。
5. [取扱]の入力画面を表示する場合、 アイコンをクリックします。  
※以降の詳細説明については第 8.1.1 章の手順. 3. 4. 5. 6 項目を参照ください。
6. 他のチャンネルのビデオロスの処理方法を設定したい場合、上記の手順を繰り返すか、または上記の設定をコピーするために、[コピー]をクリックします。



図 8.9 ビデオ遮断設定をコピー

## 8.4. 異常検知設定

目的: 異常の設定は、さまざまな異常の処理方法などを参照してください。

- HDD フル : HDD の容量がいっぱいです。
- HDD のエラー : 書き込み HDD エラー、未フォーマットの HDD 等
- ネットワークが切断 : ネットワークケーブルの切断。
- IP アドレス競合 : 重複 IP アドレスの重複。
- 不正なログイン : ユーザーID またはパスワードが誤っている。
- ビデオ信号異常 : 映像信号に異常がある場合。
- 入力/出力規格不一致 : 入力/出力のビデオ規格が一致していません。
- 録画異常 : 録画ファイルの保存スペースがありません。

手順:

異常検知設定画面に入り、様々な異常を処理します。

[メニュー]>[構成]>[状態異常設定]

異常検知タイプ項目を上記説明を参考に選択します。具体的なアラーム応答アクションは第 8.5 章を参照ください。



図 8.10 異常検知設定画面

## 8.5. アラーム応答アクションの設定

目的：異常が発生したときにアラーム応答アクションは、フルスクリーンの監視、警告音、監視センターに通知、電子メール送信などのアクションが可能です。

Alarm Status	Alarm Input	Alarm Output
Alarm Output No.		A->1
Alarm Name		test
Dwell Time		5s
Handling		🔔

図 8.11 アラームアウトプット設定画面

ポップアップアラーム画面フルスクリーンモードでアラームイベント（動体検知/遮断検知/ビデオロス）がトリガされた時、（※イベント出力に設定されたモニタ（HDMI/VGAまたはBNCモニタ）該当映像をフルスクリーン表示します。アラームがいくつかのチャンネルで同時にトリガされた場合、それらのフルスクリーン画像は10秒の間隔で切り替わります。

[イベント出力設定][フルスクリーン表示時間]は下記メニューから設定することができます。

メニュー[構成]>[表示設定]>[通常設定][フルスクリーン表示時間]

アラームが停止し、ライブビュー表示画面が再び表示されたら、オートスイッチは終了します。

注意：動体検知については、フルスクリーンの監視をしたいチャンネルを選択する必要があります。

メニュー>[カメラ]>[動体検知]>[手動タグクリック]>取扱>トリガチャンネル

サウンド警告アラームが検出された時、ビープ音を出力します。

監視センターに通知するイベントが発生した場合、リモートアラームホストに異常またはアラーム信号が送信されます。アラームホストはリモートクライアントがインストールされたパソコンを指します。注：リモートアラームホストが設定されている場合、アラーム信号が検出モードで自動的に送信されます。アラームホスト構成の詳細については、第 9.2.6 項を参照してください。

メールを送信アラームイベントが検出された場合、ユーザーまたは複数のユーザーへアラーム情報を記載した電子メールを送信します。

電子メール設定の詳細については、第 9.2.10 項を参照してください。

## 9. ネットワークの設定

### 9.1. 一般設定

目的: ネットワークを介してデバイスを操作する前に、ネットワークの設定が適切に構成する必要があります。

手順:

1. ネットワーク設定画面に入ります。

[メニュー]>[構成]>ネットワーク

Working Mode	Net Fault-tolerance
Select NIC	bond0
NIC Type	10M/100M/1000M Self-adaptive
Enable DHCP	<input type="checkbox"/>
IPv4 Address	172 .6 .21 .159
IPv4 Subnet Mask	255 .255 .255 .0
IPv4 Default Gateway	172 .6 .21 .1
IPv6 Address 1	fec0::a:240:48ff:fe62:dcd/64
IPv6 Address 2	2002:ac06:1578:a:240:48ff:fe62:dcd/64
IPv6 Default Gateway	
MAC Address	00:40:48:62:0d:cd
MTU(Bytes)	1500
Preferred DNS Server	
Alternate DNS Server	
Main NIC	LAN1

図 9.1 ネットワーク基本画面

2. [基本設定]タブを選択します。
3. 一般設定画面では: NIC のタイプ (H-DVR シリーズのみ)、IPv4 アドレス、IPv4 ゲートウェイ、MTU と DNS サーバを設定できます。DHCP サーバーが利用可能である場合は、自動的に IP アドレスと、そのサーバーから他のネットワーク設定を取得するために DHCP のチェックボックスをクリックします。注意: MTU の有効な値の範囲は 500~1500 です。
4. 一般的な設定を行った後、設定を保存するために[適用]ボタンをクリックします。

## 9.2. 高度な設定

### 9.2.1. PPPoE の設定を行う

目的: お使いのデバイスはまたイーサネット (PPPoE) 上のポイントツーポイントプロトコルによるアクセスを可能にします。

手順:

1. ネットワーク設定画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[ネットワーク]
2. PPPoE の設定画面に入るために、[PPPoE] タブを選択します。

Enable PPPOE	<input type="checkbox"/>
User Name	
Password	
Confirm	

図 9. 2 PPPoE の設定画面

3. この機能を有効にするには PPPoE のチェックボックスをオンにします。
4. PPPoE アクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。

注意: ユーザー名とパスワードは、ISP から割り当てられます。

Enable PPPOE	<input checked="" type="checkbox"/>
User Name	test
Password	*****

図 9. 3 PPPoE 設定画面

5. 画面を保存して終了するには、[適用] ボタンをクリックします。
6. 設定が成功した後、システムは新しい設定を有効にするには、デバイスを再起動するように求められ、ダイヤルアップ PPPoE は、リブート後に自動的に接続されています。ネットワーク画面で PPPoE 接続の状態を表示するために、メニュー>メンテナンス>システム情報に行きます。PPPoE の状況については、第 12.1 章システム情報を閲覧するを参照してください。

### 9.2.2. DDNS の設定

目的: デバイスは、デフォルトのネットワーク接続として PPPoE を使用するように設定されている場合は、ネットワークへのアクセスに使用するダイナミック DNS (DDNS) を設定します。

DDNS を使用するようにシステムを設定する前に ISP の事前登録が必要です。

手順:

1. ネットワーク設定の画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[ネットワーク]
2. DDNS 設定の画面に入るために、[DDNS] タブを選択します。

Enable DDNS	<input type="checkbox"/>
DDNS Type	IPServer
Server Address	
Device Domain Name	
User Name	
Password	
Confirm	

図 9.4 DDNS 設定画面

- この機能を有効にするには DDNS のチェックボックスをオンにします。
- DDNS のタイプを選択します。5 種類の異なる DDNS の種類が選択可能です : IP Server、DynDNS、PeanutHull、NO-IP と hkDDNS です。

- IP Server : IP Server のサーバーアドレスを入力してください。

注意:サーバーアドレスは IP Server を実行している PC の IP アドレスでなければなりません。

Enable DDNS	<input checked="" type="checkbox"/>
DDNS Type	IPServer
Server Address	172.5.22.122
Device Domain Name	
User Name	
Password	

図 9.5 IP Server 設定画面

- ダイナミック DNS :

- ダイナミック DNS (members.dyndns.org など) のサーバーアドレスを入力してください。
- [デバイスドメインネーム]テキストフィールドに、DynDNS のウェブサイトから取得したドメインを入力します。
- DynDNS のウェブサイトに登録されたユーザー名とパスワードを入力します。

Enable DDNS	<input checked="" type="checkbox"/>
DDNS Type	DynDNS
Server Address	members.dyndns.org
Device Domain Name	123.dyndns.com
User Name	test
Password	*****

図 9.6 DynDNS の設定画面

- PeanutHull : PeanutHull の Web サイトから取得したユーザー名とパスワードを入力します。

Enable DDNS	<input checked="" type="checkbox"/>
DDNS Type	PeanutHull
Server Address	
Device Domain Name	
User Name	123.gicp.net
Password	*****
Confirm	*****

図 9.7 PeanutHull 設定画面

- NO-IP アドレス : 対応するフィールドにアカウント情報を入力します。

DynDNS の設定を参照してください。

- 1) NO-IP のサーバーアドレスを入力してください。
- 2) [デバイスドメインネーム]テキストフィールドに、NO-IP の Web サイト (www.no-ip.com) から取得したドメインを入力します。
- 3) NO-IP の Web サイトに登録されたユーザー名とパスワードを入力します。

Enable DDNS	<input checked="" type="checkbox"/>
DDNS Type	NO-IP
Server Address	no-ip.org
Device Domain Name	123.no-ip.org
User Name	test
Password	*****

図 9.8 NO-IP 設定画面

- hkDDNS : hkDDNS のサーバーアドレスとデバイスドメイン名を入力する必要があり、他のフィールドは読み取り専用です。

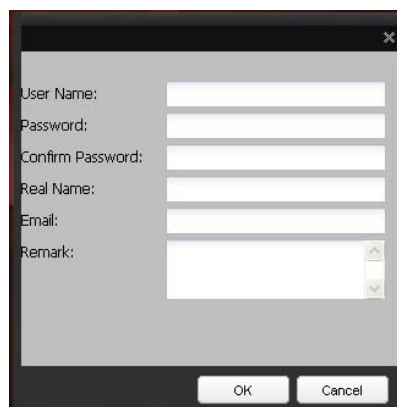
- 1) hkDDNS サーバーのサーバーアドレス www.hiddns.com : を入力します。
- 2) デバイスのドメイン名を入力します。あなたが最初 hkDDNS サーバー内のデバイスのドメイン名のエイリアスを登録し、DVR の [デバイスドメインネーム] にエイリアスを入力します。新しいものを作成するために、DVR のドメインネームディレクトリーにエイリアスを入力します。注意：デバイスドメイン名の新しいエイリアスが DVR に定義されている場合は、サーバーに登録されて古いものに置き換えられます。

Enable DDNS	<input checked="" type="checkbox"/>
DDNS Type	hkDDNS
Server Address	www.hik-online.com
Device Domain Name	test
User Name	
Password	

図 9.9 hkDDNS 設定画面

hkDDNS サーバー上のデバイスを登録してください。

- 3) hkDDNS Web サイト www.hiddns.com にアクセスします。
- 4) ユーザーアカウントが無い場合は [Register new user](#) をクリックして、ユーザーアカウントを登録します。
- 5) 登録が成功した後、アカウントとログインするためのパスワードを使用します。



User Name:

Password:

Confirm Password:

Real Name:


Email:

Remark:

OK Cancel

図 9.10 アカウント登録



- 6) DDNS 管理システム管理画面では、左メニューバーの[デバイス管理]タブをクリックし、デバイスを登録するために  をクリックします。

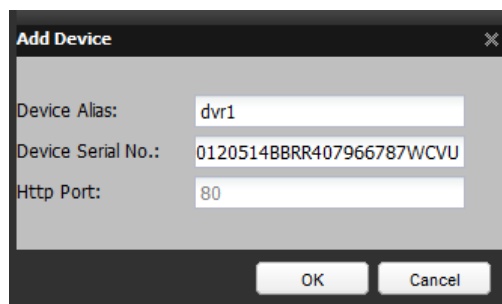


図 9.11 デバイスの登録

注意：デバイスの別名は小文字の英字、数字、'-' は使用することができ、英語のアルファベットの文字で開始する必要があります。保存して終了するには、[適用]ボタンをクリックします。

### 9.2.3. NTP サーバの設定

目的: NetworkTimeProtocol (NTP) サーバーはシステムの日付/時刻の精度を確保するためにデバイス上で設定することができます。

手順:

1. ネットワーク設定画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[ネットワーク]
2. NTP の設定画面に入るために [NTP] タブを選択します。

Enable NTP	<input checked="" type="checkbox"/>
Interval (min)	60
NTP Server	210.72.145.44
NTP Port	123

図 9.12 NTP の設定画面

3. この機能を有効にするには、[NTP 有効]のチェックボックスをチェックします。
4. 次の NTP 設定を行います。
  - 間隔：NTP サーバーと 2 つの同期アクション間の時間間隔。単位は分です。
  - NTP サーバー：NTP サーバーの IP アドレス。
  - NTP ポート：NTP サーバーのポート。
5. 画面を保存して終了するには、[適用]ボタンをクリックします。注意：時刻の同期間隔を 1~10080min に設定され、デフォルト値は 60 分であることができます。デバイスがパブリックネットワークに接続されている場合は、このようなナショナルタイム・センター（: 210.72.145.44IP アドレス）でサーバーなどの時刻同期機能を持っている NTP サーバーを使用する必要があります。デバイスは、よりカスタマイズされたネットワーク内にセットアップされている場合、NTP ソフトウェアは、時刻同期に使用される NTP サーバーを

確立するために使用することができます。

#### 9.2.4. SNMP の設定

目的：デバイスのステータスとパラメータに関する情報を取得するには、SNMPプロトコルを使用することができます。

ステップ：

1. ネットワーク設定画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[ネットワーク]
2. SNMP 設定画面に入るには、SNMP タブを選択します。



Enable SNMP	<input type="checkbox"/>
SNMP Version	V2
SNMP Port	161
Read Community	public
Write Community	private
Trap Address	
Trap Port	162

図 9.13 SNMP 設定画面

3. この機能を有効にするには、SNMP チェックボックスをオンにします。
4. SNMP の設定をします。



Enable SNMP	<input checked="" type="checkbox"/>
SNMP Version	V2
SNMP Port	161
Read Community	public
Write Community	private
Trap Address	
Trap Port	162

図 9.14SNMP の設定値を設定

5. 保存して画面を終了するには、[適用]ボタンをクリックします。

注意： SNMP を設定する前に、SNMP のソフトウェアをダウンロードして SNMP ポートを介してデバイス情報を受信するように管理してください。トラップアドレスを設定することにより、デバイスは監視センターにアラームイベントおよび異常メッセージを送ることができます。

#### 9.2.5. UPnP の設定™

目的：UPnP™を使用すると、WANにデバイスの高速接続を可能にするためのUPnP™機能を使用して、デバイスがシームレスにネットワーク上の他のネットワークデバイスを検出し、データの共有、コミュニケーションなどの機能的なネットワークサービスを構築可能にすることができます。ルータを経由して、デバイスのUPnP™のパラメータを設定する必要があります。

始める前に：

デバイスのUPnP™機能を有効にしたい場合は、デバイスが接続されているルーターのUPnP™機能を有効にする必要があります。デバイスのモードを動作しているネットワークは、マルチアドレスとして設定されている場合、デバイスのデフォルトルートは、ルータのLANIPアドレスと同じネットワークセグメントにないといけません。

手順：

1. ネットワーク設定画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[ネットワーク]
2. UPnP™画面に入るために、UPnP™タブを選択します。

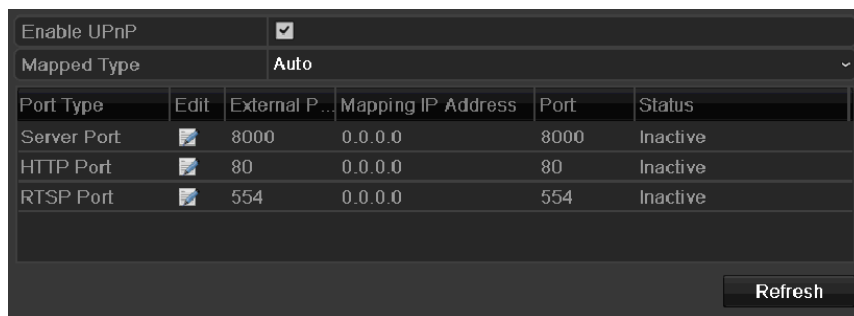


図 9. 15UPnP™設定画面

3. チェックボックスのUPnP™を有効にするには、をチェックしてください。
4. 自動または手動でマップされたタイプを選択します。[自動]を選択すると、マッピングポートは自動的にルータで割り当てることができます。[手動]を選択すると、マッピングポートを編集するステップ5を続行する必要があります。
5. [外部ポート設定]ダイアログボックスを開くためにをクリックします。それぞれのサーバーポート、HTTPポートおよびRTSPポートの外部ポート番号を設定します。

注意：

- 1) 実際の要件に応じて、デフォルトのポート番号を使用するか、または変更することができます。
- 2) 外部ポートは、ルータのポートマッピング用のポート番号を示します。

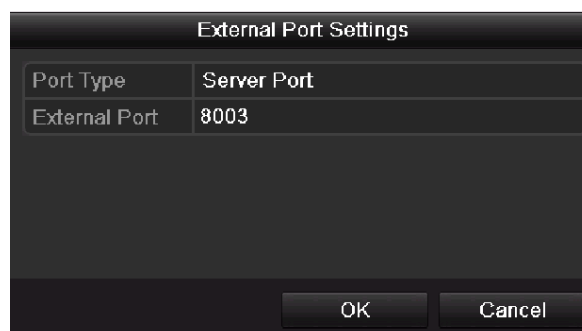


図 9. 16 外部ポートの設定ダイアログボックス

6. ポートマッピングの最新の状態を取得するには、[リフレッシュ]をクリックすることができます。

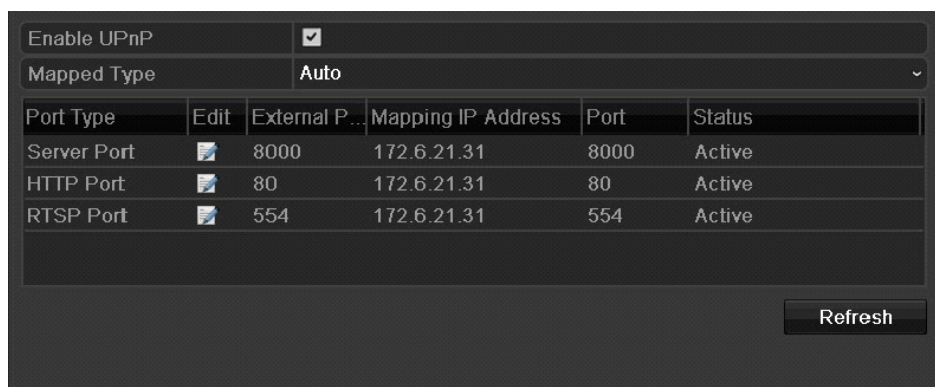


図 9.17 UPnP の設定は終了

7. 設定を保存するために[適用]ボタンをクリックします。

### 9.2.6. リモートアラームのホストの設定

目的：設定されたリモートアラームホストと、デバイスはアラームがトリガされると、ホストへアラームイベントまたは異常メッセージを送るでしょう。リモートアラームホストに CMS（顧客管理システム）ソフトウェアをインストールする必要があります。

手順：

1. ネットワーク設定画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[ネットワーク]
2. 詳細設定画面に入るために、詳細設定タブを選択します。



図 9.18 詳細設定画面

3. テキストフィールドにアラームホスト IP とアラームホストポートを入力します。アラームホスト IP は、CMS（顧客管理システム）ソフトウェア（例えば、IVMS-4200）がインストールされているリモート PC の IP アドレスを参照し、アラームホストポートは設定されているアラームモニタリングポートと同じでなければなりません。（デフォルトのポートは 7200 です）

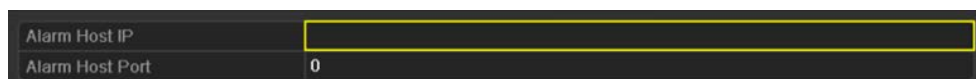


図 9.19 アラームのホストの設定.

4. 画面保存して終了するには、[適用]ボタンをクリックします。

### 9.2.7. マルチキャストの設定

目的：マルチキャストは、ネットワークを介してカメラの数が最大数を超えるライブビューを実現するように設定することができます。マルチキャストアドレスは、224.0.0.0～239.255.255.255のクラスDIPアドレスの範囲です。これは、239.252.0.0～239.255.255.255の範囲のIPアドレスを使用することをお勧めします。

手順：

1. ネットワーク設定画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[ネットワーク]
2. 詳細設定画面に入るには、詳細設定タブを選択します。
3. マルチキャスト IP を設定します。CMS（顧客管理システム）ソフトウェアにデバイスを追加する場合、マルチキャストアドレスは、デバイスのマルチキャスト IP アドレスと同じでなければなりません。

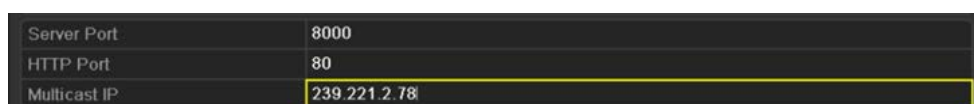


図 9.20 マルチキャストを設定

4. 保存して終了するには、[適用]ボタンをクリックします。

### 9.2.8. RTSP 設定

目的：RTSP（リアルタイムストリーミングプロトコル）はストリーミングメディアサーバーを制御するためのエンターテインメントおよび通信システムで使用するために設計されたネットワーク制御プロトコルです。

手順：

1. メニュー>[構成]>[ネットワーク]をクリックして、ネットワークの設定メニューに入ります。
2. [詳細設定]で男性を入力するには、詳細設定タブを選択します。



図 9.21 RTSP の設定画面

3. RTSP サービスポートのテキストフィールドに、RTSP ポートを入力します。デフォルトの RTSP ポートは 554 であり、あなたは、さまざまな要件に応じて変更することができます。
4. メニューを保存して終了するには[適用]ボタンをクリックします。

### 9.2.9. 設定サーバーおよび HTTP ポート

[ネットワーク設定]メニューでサーバーおよびHTTPポートを変更することができます。デフォルトのサーバーポートは8000で、HTTPポートは80です。

手順：

1. ネットワーク設定画面に入ります。[メニュー]>[構成]>[ネットワーク]
2. 詳細設定画面に入るには、詳細設定タブを選択します。
3. 新しいサーバーポートと HTTP ポートを入力します

Server Port	8000
HTTP Port	80
Multicast IP	239.221.2.78

図 9.22 ホスト/その他の設定メニュー

4. テキストフィールド内のサーバーポートと HTTP ポートを入力します。デフォルトのサーバーポートは 8000 で、HTTP ポートは 80 ですが、あなたは、さまざまな要件に応じてそれらを変更することができます。
5. 保存して終了するには、[適用]をクリックします。

注意：サーバーポートが 2000 から 65535 の範囲に設定する必要があり、リモート・クライアント・ソフトウェアへのアクセスのために使用されます。HTTP ポートは、リモート IE のアクセスに使用されます。

## 9.2.10. Eメールの設定

目的：アラームイベントが検出された場合、システムは指定されたすべてのユーザーに電子メール通知を送信するように設定することができ、動体検知イベント等が検出されます。電子メールの設定を行う前に、デバイスは、SMTPメールサーバーを維持し、ローカルエリアネットワーク（LAN）に接続する必要があります。ネットワークはまた、通知を送信するための電子メールアカウントの場所に応じて、イントラネットまたはインターネットに接続する必要があります。

手順：

1. ネットワーク設定画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[ネットワーク]
2. IPv4 アドレス、IPv4 サブネットマスク、IPv4 ゲートウェイと優先 DNS をネットワークの設定メニューで設定します。

Working Mode	Net Fault-tolerance
Select NIC	bond0
NIC Type	10M/100M/1000M Self-adaptive
Enable DHCP	<input type="checkbox"/>
IPv4 Address	172 .6 .21 .159
IPv4 Subnet Mask	255 .255 .255 .0
IPv4 Default Gateway	172 .6 .21 .1
IPv6 Address 1	fec0::a:240:48ff:fe62:dcd/64
IPv6 Address 2	2002:ac06:1578:a:240:48ff:fe62:dcd/64
IPv6 Default Gateway	
MAC Address	00:40:48:62:0d:cd
MTU(Bytes)	1500
Preferred DNS Server	
Alternate DNS Server	
Main NIC	LAN1

図 9.23 ネットワーク設定画面

3. 設定を保存するために[適用]ボタンをクリックします。
4. 電子メールの設定画面を表示し[メール]タブを選択します。

Enable Server Authentication	<input type="checkbox"/>
User Name	
Password	
SMTP Server	xxx.smtp.com
SMTP Port	25
Enable SSL	<input type="checkbox"/>
Sender	name1
Sender's Address	name1@xxx.com
Select Receivers	Receiver 1
Receiver	name2
Receiver's Address	name2@xxx.com
Enable Attached Picture	<input checked="" type="checkbox"/>
Interval	2s

図 9.24E メール設定画面

5. 下記のメールアドレスの設定を行います。
  - サーバー認証（オプション）を有効にする：[サーバーの認証有効]チェックボックスをオンにします。
  - ユーザー名： SMTP サーバー認証のための送信者の電子メールユーザーアカウント。

- パスワード： SMTP サーバーの認証のための送信者のメールパスワードを入力します。
- SMTP サーバー： SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名(例えば、smtp.263xmail.com)。
- SMTP ポート：SMTP ポート。SMTP で使用されるデフォルトの TCP/IP ポートは 25 です。
- SSL (オプション) 有効：SMTP サーバーで必要に応じて[SSL 有効]のチェックボックスにチェックを入れます。
- 差出人：送信者の名前。差出人アドレス：送信者の電子メールアドレス。
- 宛先の選択：受信者を選択します。最大 3 つの受信者を設定することができます。宛先：通知するユーザーの名前。宛先アドレス：通知されるユーザーの電子メールアドレス。
- 画像添付有効：アラーム画像を添付してメールを送信する場合は、[画像添付有効]のチェックボックスをオンにします。
- 間隔： 添付された画像を送信する場合、二つの動作の時間を指します。

Enable Server Authentication	<input type="checkbox"/>
User Name	
Password	
SMTP Server	xxx.smtp.com
SMTP Port	25
Enable SSL	<input type="checkbox"/>
Sender	name1
Sender's Address	name1@xxx.com
Select Receivers	Receiver 1
Receiver	name2
Receiver's Address	name2@xxx.com
Enable Attached Picture	<input checked="" type="checkbox"/>
Interval	2s

図 9.25 電子メール設定

6. 電子メールの設定を保存するには、[適用]ボタンをクリックします。
7. 電子メール設定が機能しているかどうかをテストするには[テスト]ボタンをクリックします。対応した注意メッセージがポップアップ表示されます。

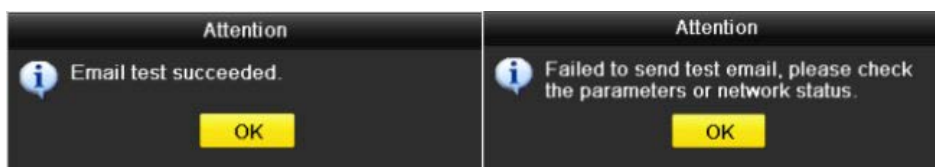


図 9.26 メールテストのポップアップ表記



### 9.3. ネットワークトラフィックの確認

目的：デバイスのリンク状態やMTU, 送受信速度などのリアルタイムの情報を取得するためにネットワークのトラフィック情報を確認することができます。

手順：

1. ネットワークトラフィック画面に入ります。

[メニュー]>[メンテナンス]>ネットワーク検出

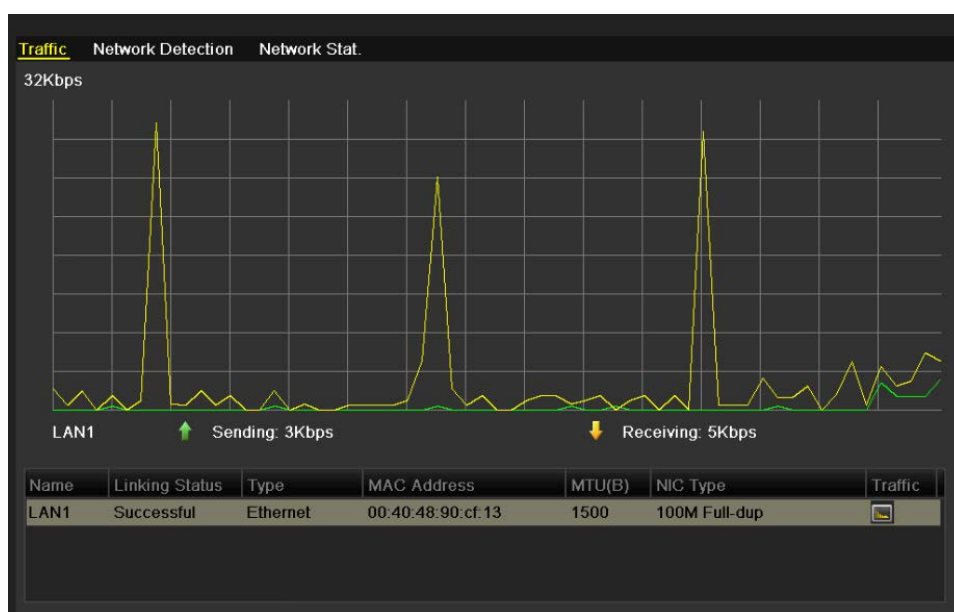


図 9.27 ネットワークトラフィック画面

2. 画面上に送受信レート情報を表示することができます。トラフィックデータは1秒ごとに更新されます。

## 9.4. ネットワークの検出

目的：ネットワーク遅延、パケット損失などを含む、ネットワーク検出機能を介してデバイスのネットワーク接続状態を取得することができます。

### 9.4.1. ネットワーク遅延やパケットロスのテスト

手順：

1. ネットワークトラフィック画面に入ります。  
[メニュー]>[メンテナンス]>[ネットワーク検出]>[ネットワーク検出]
2. ネットワーク検出メニューに入るには[ネットワーク検出]タブをクリックします。

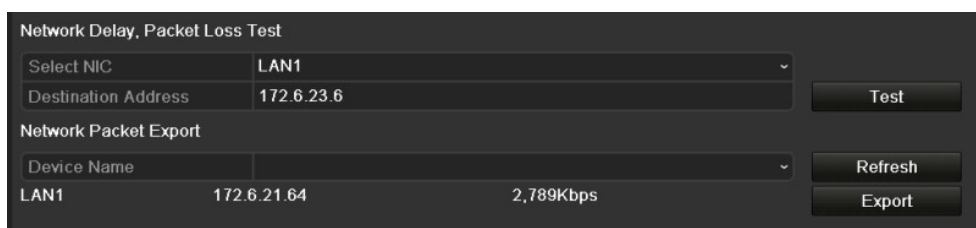


図 9.28 ネットワーク検出画面

3. 宛先アドレスのテキストフィールドに宛先アドレスを入力してください。
4. ネットワーク遅延やパケットロスのテストを開始するには[テスト]ボタンをクリックします。検査結果は、ウィンドウ上でポップアップ表示されます。テストが失敗した場合、エラーメッセージが同様にポップアップで表示されます。

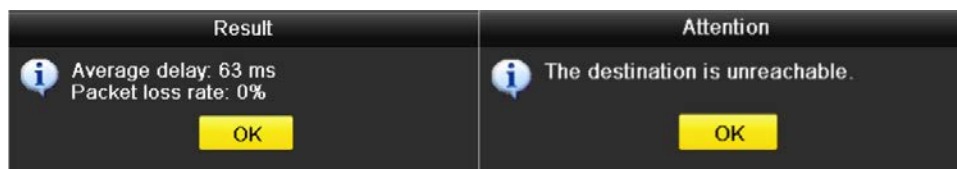


図 9.29 ネットワーク遅延とパケットロスのテスト結果

### 9.4.2. ネットワークパケットのエクスポート

目的：デバイスをネットワークに接続することで、キャプチャしたネットワークデータパケットは、USBフラッシュディスク、ローカルのバックアップデバイスにエクスポートすることができます。

手順：

1. ネットワークトラフィック画面に入ります。

[メニュー]>[メンテナンス]>[ネットワーク検出]

2. ネットワーク検出の画面に入るには、[ネットワーク検出]タブをクリックします。
3. 図 9.30 に示すように、[デバイス名]のドロップダウンリストから、バックアップデバイスを選択します。注意：接続されたローカル・バックアップ・デバイスを表示することができない場合は、[リフレッシュ]ボタンをクリックします。バックアップデバイスの検出に失敗した場合、デバイスと互換性があるかどうか確認してください。フォーマットが正しくない場合は、バックアップ・デバイスをフォーマットすることができます。

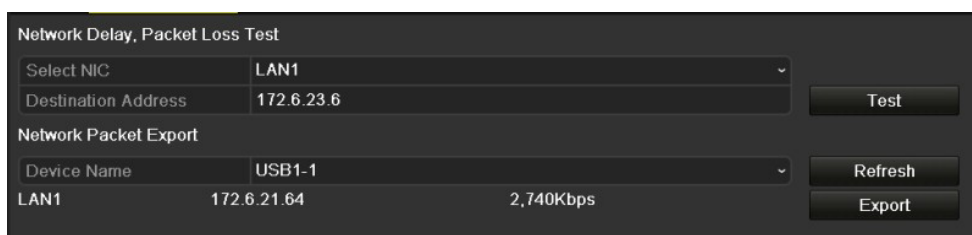


図 9.30 ネットワークパケットのエクスポート

4. エクスポートを開始するには、[エクスポート]ボタンをクリックします。
5. エクスポートが完了すると、[OK]をクリックしてパケットのエクスポートを終了します。

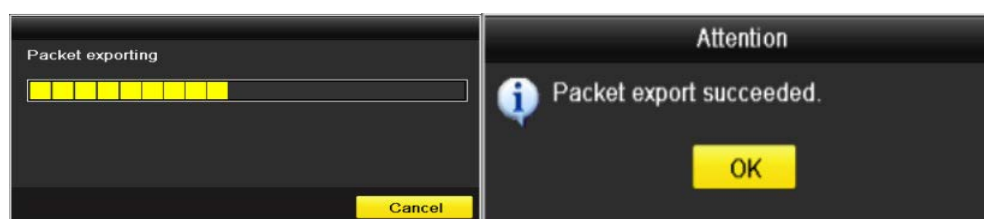


図 9.31 パケットのエクスポートポップアップ表示

注意：毎回最大で 1M のデータをエクスポートすることができます。

### 9.4.3. ネットワークの状態を調べる

目的：ネットワークの状態を確認し、迅速にこの画面でネットワークパラメータを設定することができます。

手順：

ページ右下の[ステータス]をクリックします。

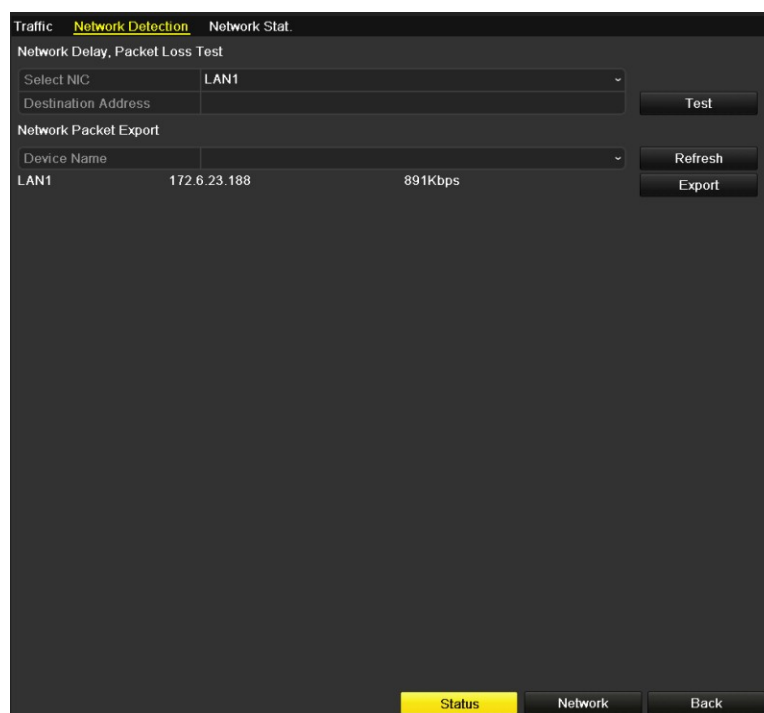


図 9.32 ネットワークの状態を調べる

ネットワークが正常であれば、次のメッセージボックスが表示されます。

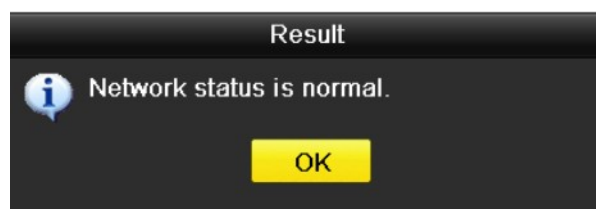


図 9.33 ネットワークステータスの確認結果

このメッセージボックスではなく、他の情報が表示される場合は、ネットワークパラメータのクイック設定画面を表示して、[ネットワーク]ボタンをクリックします。

Network	
Working Mode	Net Fault-tolerance
Select NIC	bond0
NIC Type	10M/100M/1000M Self-adaptive
Enable DHCP	<input type="checkbox"/>
IPv4 Address	172 . 6 . 21 . 87
IPv4 Subnet Mask	255 . 255 . 255 . 0
IPv4 Default Gateway	172 . 6 . 21 . 1
Preferred DNS Server	192.0.0.200
Alternate DNS Server	
Main NIC	LAN1

Apply OK Cancel

図 9.34 ネットワークパラメータの設定

## 10. HDD 管理

### 10.1. HDD 初期化

目的：デバイスで使用する前に、新しくインストールされたハードディスクドライブ（HDD）は初期化する必要があります。

手順：

1. HDD 情報の画面に入ります。

[メニュー]>[HDD]>[基本設定]

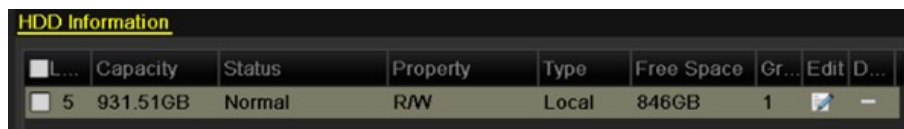


図 10.1 HDD の情報画面

2. 初期化する HDD を選択します。
3. [初期化] ボタンをクリックします。

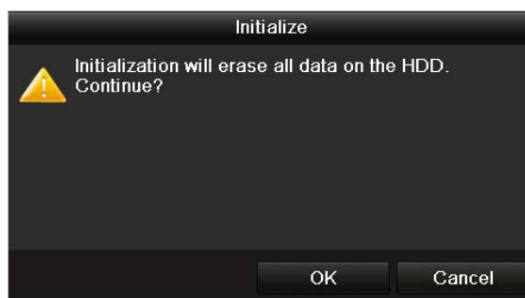


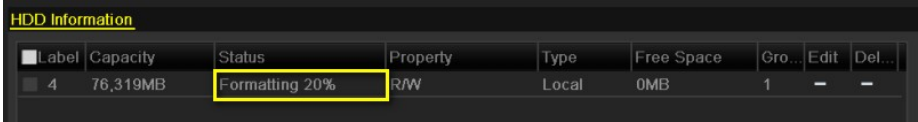
図 10.2 初期化の確認

4. 初期化を開始するには [OK] ボタンを選択します。



図 10.3 初期化を開始

5. HDD が初期化された後、HDD の状態が通常に変わります。



The screenshot shows a window titled "HDD Information" with a table of drive details. The "Status" column for the selected drive is highlighted with a yellow box and contains the text "Formatting 20%".

Label	Capacity	Status	Property	Type	Free Space	Gro...	Edit	Del...
4	76,319MB	Formatting 20%	R/W	Local	0MB	1	-	-

図 10. 4HDD のステータスを通常に変更

---

注意 : HDD を初期化すると、すべてのデータを消去します。

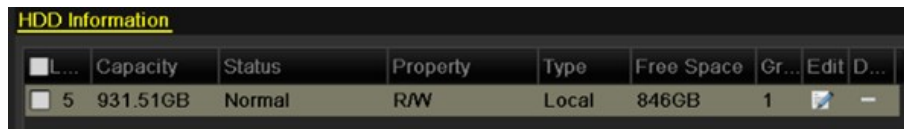
## 10.2. ネットワーク HDD 管理

目的：デバイスにIPSANの割り当てやNASディスクを追加し、ネットワークHDDとして使用することができます。

手順：

1. HDD 情報の画面を表示します。

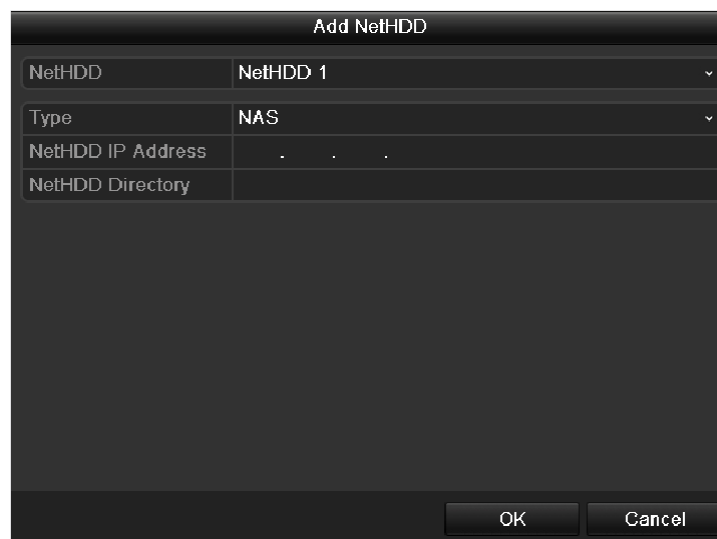
[メニュー]>[HDD]>[基本設定]



L...	Capacity	Status	Property	Type	Free Space	Gr...	Edit	D...
5	931.51GB	Normal	R/W	Local	846GB	1		-

図 10. 5HDD の情報画面

2. 図 10. 6 に示すように、[追加]ボタンをクリックして NetHDD 追加の画面を表示します。



Add NetHDD

NetHDD	NetHDD 1
Type	NAS
NetHDD IP Address	
NetHDD Directory	

OK Cancel

図 10. 6NetHDD 追加の画面

3. 割り当て NetHDD を追加します。
  4. NAS または IPSAN のタイプを選択します。
  5. NAS または IPSAN の設定を行います。
- NAS のディスクを追加します。
    - 1) テキストフィールドに NetHDDIP アドレスを入力します。
    - 2) テキストフィールドに NetHDD ディレクトリを入力します。
    - 3) 設定された NAS ディスクを追加するには、[OK]ボタンをクリックします。

注意：最大 8 台の NAS ディスクを追加することができます。





図 10.7 NAS のディスクの追加

- IPSAN を追加します。
  - 1) テキストフィールドに NetHDD の IP アドレスを入力します。
  - 2) 利用可能な IPSAN ディスクを検索するために、[検索] ボタンをクリックします。
  - 3) 以下に示すリストから IPSAN ディスクを選択します。
  - 4) 選択した IPSAN ディスクを追加するには、[OK] ボタンをクリックします。

注：最大 1 つの IPSAN のディスクを追加することができます。



図 10.8 IP SAN のディスクの追加

6. 正常に NAS または IPSAN のディスクを追加した後、HDD 情報メニューに戻ります。追加 NetHDD がリストに表示されます。

注意: 追加 NetHDD が初期化されていない場合は、選択して初期化のために[初期化]ボタンをクリックします。

Label	Capacity	Status	Property	Type	Free Space	Gro...	Edit	Del...
3	931.51GB	Normal	R/W	Local	890GB	1		—
4	931.51GB	Normal	R/W	Local	867GB	1		—
17	79,968MB	Normal	R/W	NAS	79,872MB	1		

図 10.9 追加した NetHDD の初期化

## 10.3. HDD グループ管理

### 10.3.1. HDD グループの設定

目的:複数のHDDをグループで管理することができます。指定したチャンネルのビデオはHDDの設定を介して特定のHDD群に記録することができます。

手順:

1. ストレージモードの画面に入ります。  
[メニュー]>[HDD]>[詳細設定]
2. 以下に示すように、グループモードに設定:



図 10.10 ストレージモード画面

3. 適用ボタンをクリックし、次の注意ボックスがポップアップ表示されます。



図 10.11 再起動のためのポップアップ表記


4. 変更を有効にするためにデバイスを再起動する場合は、[はい]ボタンをクリックします。
5. デバイスの再起動後、HDD 情報の画面に入ります。  
メニュー>HDD>一般
6. リストから HDD を選択して、ローカル HDD の設定画面に入り、アイコンをクリックします。



図 10.12 ローカル HDD の設定画面

7. 現在の HDD のグループ番号を選択します。注意：各 HDD のデフォルトのグループ番号は 1 です。
8. 設定を確認するには、[OK] ボタンをクリックします。



図 10.13 HDD グループ設定の確認

9. ポップアップ注意ボックスで、設定を終了する場合は、[はい] ボタンをクリックします。

### 10.3.2. HDD のプロパティの設定

目的:HDDのプロパティは、冗長性に設定され、読み取り専用または読み出し/書き込み (R/W) ができます。HDDのプロパティを設定する前に、ストレージモードをグループに設定してください。(第10.3.1章HDDグループの設定ステップ1-4を参照)

HDDは録画モードで上書きでいっぱいになったときに、重要な録画ファイルの上書きを防ぐために、読み取り専用を設定することができます。

ビデオ・データの高い安全性と信頼性を確保するため、HDDのプロパティがミラーリングに設定されている場合、ビデオはミラーリングされたHDDとR/WHDD両方に記録することができます。

手順：


1. HDD 情報の画面に入ります。  
メニュー>HDD>基本設定
2. リストから HDD を選択して、ローカル HDD の設定画面に入り、 アイコンをクリックします。



図 10.14 HDD のプロパティを設定する

3. R/W、読み取り専用または冗長構成に HDD のプロパティを設定します。
4. 設定を保存し、画面を終了するには、[OK] ボタンをクリックします。
5. [HDD 情報] メニューで、HDD のプロパティがリストに表示されます。注意：少なくとも 2 台のハードディスクを使用すると、冗長性に HDD を設定したいときに本体にインストールされている HDD と、R/W プロパティの HDD がある必要があります。

## 10.4. 割当モードの設定

目的:各カメラは録画されたファイルの保存用に割り当てられたクォータを使用する設定ができます。

手順:

1. ストレージモードの画面に入ります。

[メニュー]>[HDD]>[詳細設定]>

2. モード設定から[割り当て]を設定します。

注意: デバイスは、変更を有効にするには再起動する必要があります。

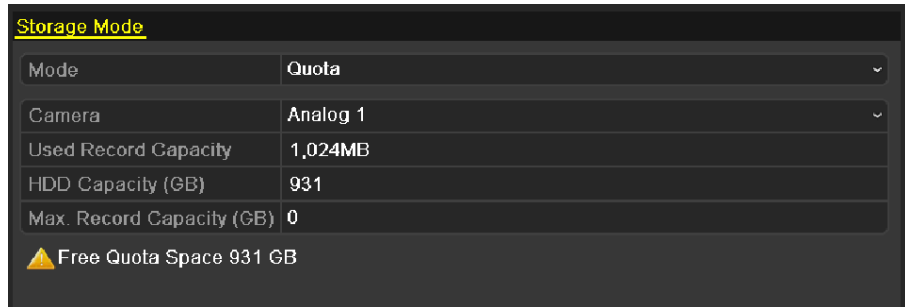


図 10.15 ストレージモードの設定画面

3. 最大録画容量にストレージ容量を入力します。記録容量 (GB)

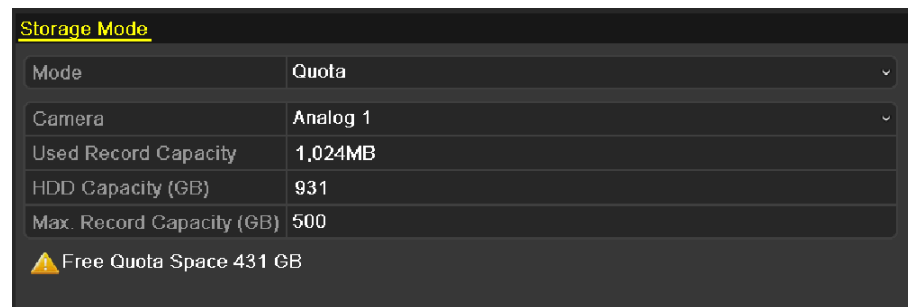


図 10.16 割り当て設定

4. 必要に応じて現在のカメラや他のカメラに割り当て設定をコピーすることができます。下図のように、コピーカメラメニューに入るには[コピー]ボタンをクリックします。



図 10.17 その他のカメラに設定をコピー

5. 同じ割り当て設定を使用して設定するカメラを選択します。また、すべてのカメラを選択する場合はアナログのチェックボックスをクリックします。

6. バックストレージモード画面にコピーの設定終了後、[OK]ボタンをクリックします。

7. 設定を適用するには、[適用]ボタンをクリックします。

注意：割り当ての容量が0に設定されている場合は、すべてのカメラが録画のためにHDDの全容量を使用します。

## 10.5. HDD 状態確認

目的：HDDに障害が発生した場合に、即座に確認とメンテナンスを行えるように、デバイスに設置されたHDDの状態をチェックすることができます。

HDDの情報画面でHDDの状態を確認する。

手順：

1. HDD 情報の画面に入ります。  
メニュー>HDD>一般
2. リストに表示されている各 HDD の状態を確認してください。



Label	Capacity	Status	Property	Type	Free Space	Gro...	Edit	Del...
4	931.51GB	Normal	R/W	Local	921GB	1		—
18	10.048MB	Uninitialized	R/W	NAS	0MB	1		
25	931.51GB	Normal	R/W	eSATA	894GB	1		

Total Capacity	1,872GB
Free Space	1,815GB

図 10.18 HDD 情報画面 (1)

注意：HDD の状態が正常か、スリープの場合は、正常に動作します。ステータスが初期化されていないか、異常であれば、使用前に HDD を初期化してください。HDD の初期化が失敗した場合、新しいものと交換してください。

HDDの情報画面のHDDの状態を確認する。

手順：

1. システム情報の画面に入ります。  
[メニュー]>[メンテナンス]>[システム情報]>HDD 状態
2. リストに表示されている HDD の状態を表示するには、HDD のタブをクリックします。



Label	Status	Capacity	Free Space	Property	Type	Group
5	Normal	931GB	931GB	R/W	Local	1
6	Sleeping	931GB	931GB	Redundancy	Local	1
17	Normal	40,000MB	22,528MB	R/W	IP SAN	1
Total Capacity		1,902GB				
Free Space		1,884GB				


[Back](#)

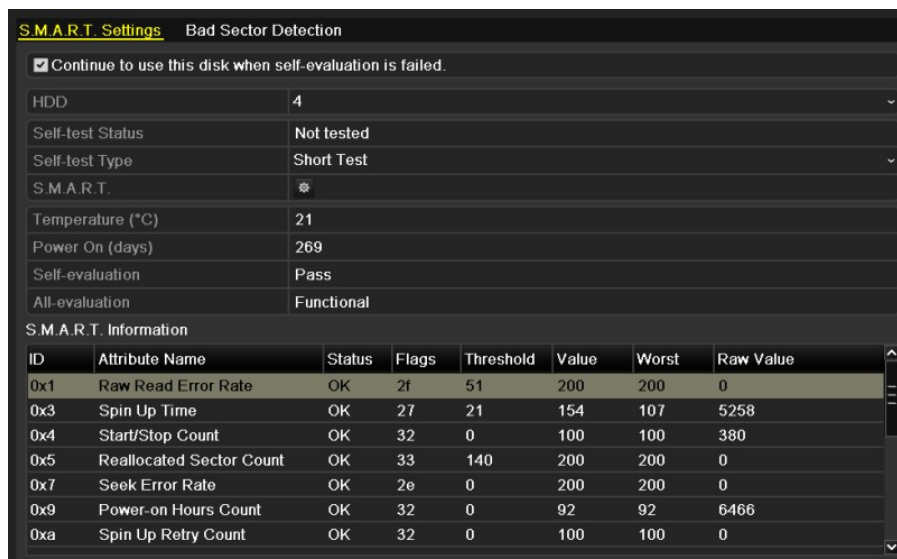
图 10. 19HDD 情報画面 (2)

## 10.6. S.M.A.R.T 情報

目的 : S. M. A. R. T. (自己監視、分析および報告技術) は信頼性の様々な指標を報告するためのHDD用監視システムです。

手順 :

1. S. M. A. R. T. 設定画面に入ります。  
メニュー>HDD>HDD の検出>S. M. A. R. T. 設定
2. S. M. A. R. T. 情報リストを表示するために、HDD を選択します。  
注意 : S. M. A. R. T. 自己評価の項目で失敗した時に、このディスクを続けて使用したい場合、チェックボックスを ON にします。
3. S. M. A. R. T. の 3 つの自己テストはショートテスト、拡張テスト、搬送テストがあります。セルフテストの種類を選択して、セルフテストを開始するには、 をクリックします。



ID	Attribute Name	Status	Flags	Threshold	Value	Worst	Raw Value
0x1	Raw Read Error Rate	OK	2f	51	200	200	0
0x3	Spin Up Time	OK	27	21	154	107	5258
0x4	Start/Stop Count	OK	32	0	100	100	380
0x5	Reallocated Sector Count	OK	33	140	200	200	0
0x7	Seek Error Rate	OK	2e	0	200	200	0
0x9	Power-on Hours Count	OK	32	0	92	92	6466
0xa	Spin Up Retry Count	OK	32	0	100	100	0

図 10.20 S. M. A. R. T. 設定画面

## 10.7. 不良セクタ検出

目的: HDDの不良セクタは、データを読み書きするときに遅くなるようなシステム傷害を引き起こす可能性があります。ここではHDDの不良セクタを検出することができますので、修復のための措置を行ってください。

手順:

1. 不良セクタ検出画面に入ります。

メニュー>HDD>HDD の検出>不良セクタ検出

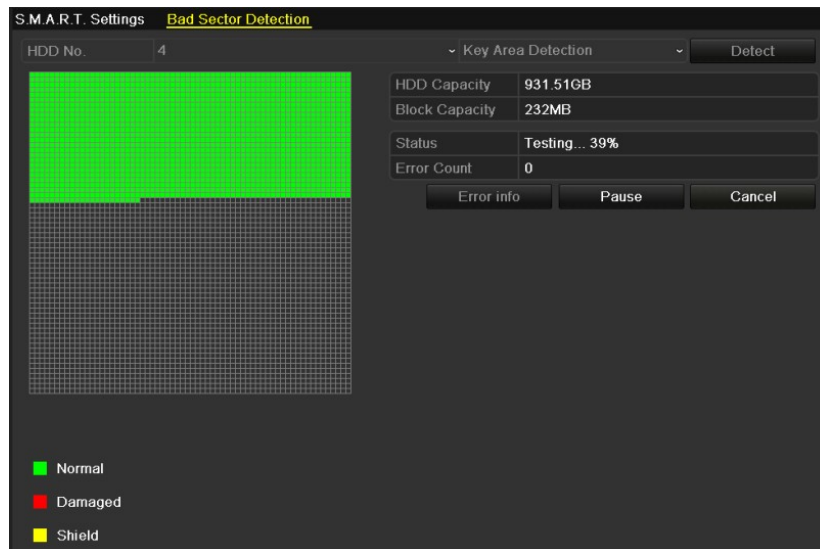


図 10.21 不良セクタ検出画面

2. HDD を選択し、検出を開始するために[検出]をクリックしてください。

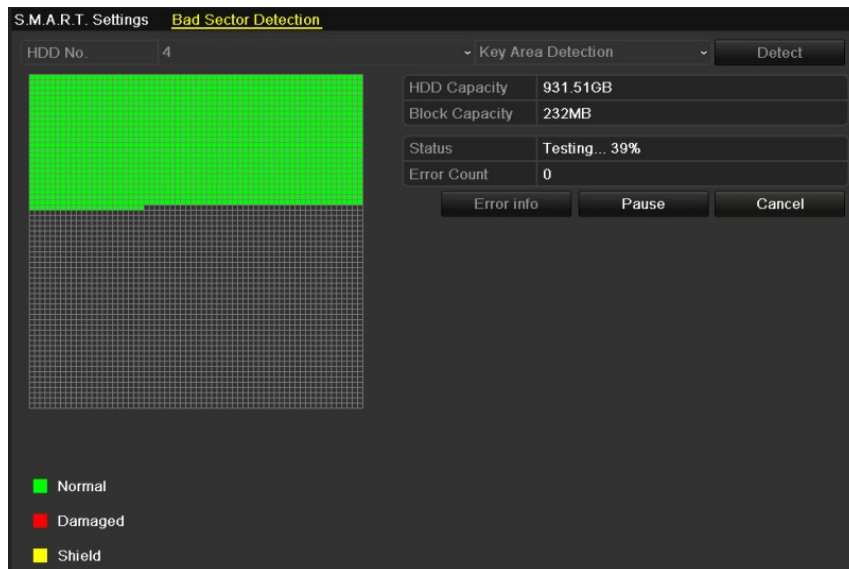


図 10.22 不良セクタ検出中の画面

3. 検出を一時停止するには[一時停止]をクリックし、検出を再開するには[再開]をクリックします。
4. HDD に関するエラー情報がある場合は、情報を表示するために[エラー情報]をクリックします。

## 10.8. HDD 異常検出設定

目的：HDDの状態が初期化されていないか、異常があるときは、HDDのエラーアラームを設定することができます。

手順：

1. 異常検知の画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[状態異常設定]
2. 異常検知タイプのリストから HDD エラーを選択します。
3. HDD のエラーアラームタイプを選択して下のチェックボックスにチェックを入れます。

注意：アラームタイプを選択可能：音声警告、監視センターに通知、メールを送信します。詳細は第 8.5 章：警報設定応答アクションを参照してください。

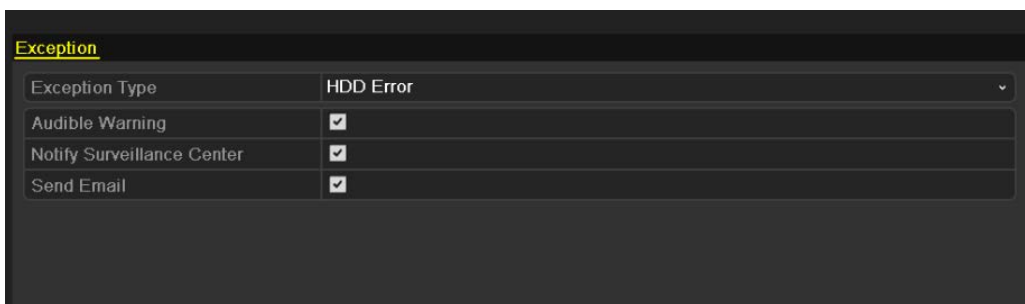


図 10.23 HDD の異常検知設定

4. 設定を保存するために[適用]ボタンをクリックします。

## 11. カメラ設定

### 11.1. OSD の設定

目的：OSD（オンスクリーンディスプレイ）を設定します。

手順：

1. OSD の設定画面に入ります。  
メニュー>カメラ>OSD
2. OSD の設定を構成するためにカメラ CH を選択します。設定はカメラ CH 毎に行います。
3. テキスト欄にカメラ名を入力します。
4. 表示名を設定し、チェックボックスをクリックして、日付と表示曜日を表示します。
5. 日付表示、時刻表示の表示モードを選択。



図 11.10 OSD 設定画面

6. OSD の位置を調整するためにプレビューウィンドウ上のテキストフレームをクリックしてからマウスでドラッグして決定します。
7. カメラのコピー設定他の CH カメラに、現在のカメラの OSD 設定をコピーしたい場合は、図 11.2 に示すように、カメラコピー画面に入り、[コピー] ボタンをクリックします。



図 11.2 他のカメラへ設定のコピー

- 1) 同じ OSD 設定で設定するカメラを選択します。また、すべてのカメラを選択する場合、アナログのチェックボックスをクリックします。
- 2) 背面の OSD 設定画面への設定コピーを終了し、[OK] ボタンをクリックします。
8. 設定を適用するには、[適用] ボタンをクリックします。

## 11.2. プライバシーマスクの設定

目的：閲覧することができないプライバシーマスクのゾーンを作成するための設定です。

手順：

1. プライバシーマスクの設定画面に入ります。  
メニュー>カメラ>プライバシーマスク
2. プライバシーマスクを設定するカメラを選択します。
3. この機能を有効にするには、[プライバシーマスクを有効]のチェックボックスをクリックします。

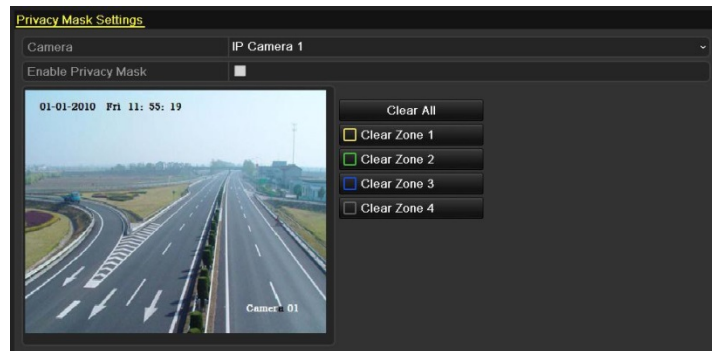


図 11.3 プライバシーマスク設定画面

4. ウィンドウ上のゾーンを描画するためにマウスを使用します。ゾーンは、異なるフレームの色でマークされます。注意：最大4つのプライバシーマスクゾーンを設定することができ、それぞれの領域の大きさを調整することができます。
5. ウィンドウ上で設定するプライバシーマスクゾーンは、ウィンドウの右側にあるクリアゾーン1-4のアイコンをクリックすることでクリアすることができます。また、すべてのゾーンをクリアするには、[すべてクリア]をクリックします。

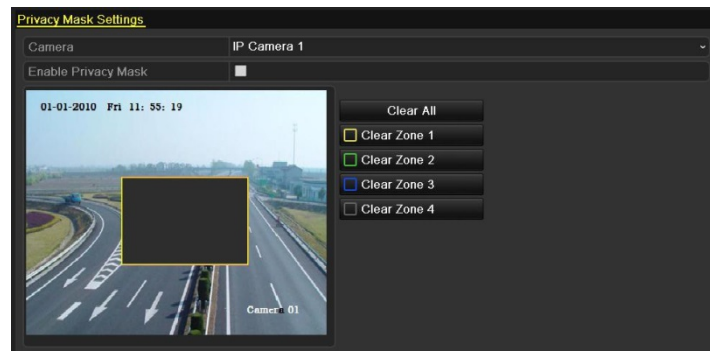


図 11.4 プライバシーマスクエリア設定

6. 他のカメラに、現在のカメラのプライバシーマスクの設定をコピーするには、[コピー]ボタンをクリックします。第12.1章のOSD設定の手順7を参照してください。
7. 設定を保存するには、[適用]ボタンをクリックします。

### 11.3. ビデオパラメータの設定

手順：

1. 画像設定画面に入ります。  
メニュー>カメラ>イメージ
2. 画像パラメータを設定したいカメラを選択します。
3. 異なる光条件、例えば、昼と夜の時間を満足するように独立した画像のパラメータを設定するために、一日の周期を設定します。二つの期間を設定することができます。期間1を設定した場合、期間2はその他の時間として残ります。



図 11.5 画像設定画面

4. 異なる光条件に応じて、ドロップダウンメニューからモードを選択します。  
4つのモードが選択可能です：
  - 標準：一般的な照明の下（デフォルト）である。
  - 屋内：画像は比較的スムーズです。
  - 低光：画像が他の3つのモードよりスムーズです。
  - 屋外：画像が比較的鮮明でシャープです。コントラストと彩度は高い。
5. 明るさ、コントラスト、彩度、色相、シャープネス、スライドバーを移動して値を増減することによってノイズ除去レベルを含む画像パラメータを調整します。  
注意：別のモードを選択すると、対応するデフォルトのパラメータが用意されています。また、明るさ、コントラスト、彩度、色相は0～255の値を調整することができ、0～15およびノイズ除去レベル0～5の設定が可能です。
6. 他のカメラに、現在のカメラの画像設定をコピーするには、[コピー]ボタンをクリックします。第12.1章のOSD設定の手順7を参照してください。

7. イメージ設定の画面では、設定を保存するために[適用]ボタンをクリックします。

注意: デフォルト・パラメータに現在の画像設定を復元するには[復元]ボタンをクリックします。



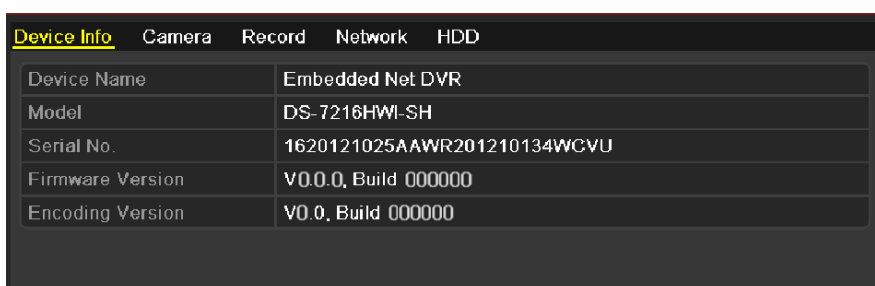
## 12. デバイスの管理とメンテナンス

### 12.1. システム情報の表示

#### 12.1.1. デバイス情報の表示

手順：

1. システム情報の画面に入ります。  
[メニュー]>[メンテナンス]>[システム情報]
2. デバイス名、モデル、シリアル番号、ファームウェアのバージョンとエンコードバージョンを表示するには、[デバイス情報]タブをクリックします。



The screenshot shows a web interface with a dark background. At the top, there are tabs: 'Device Info' (highlighted in yellow), 'Camera', 'Record', 'Network', and 'HDD'. Below the tabs is a table with the following data:

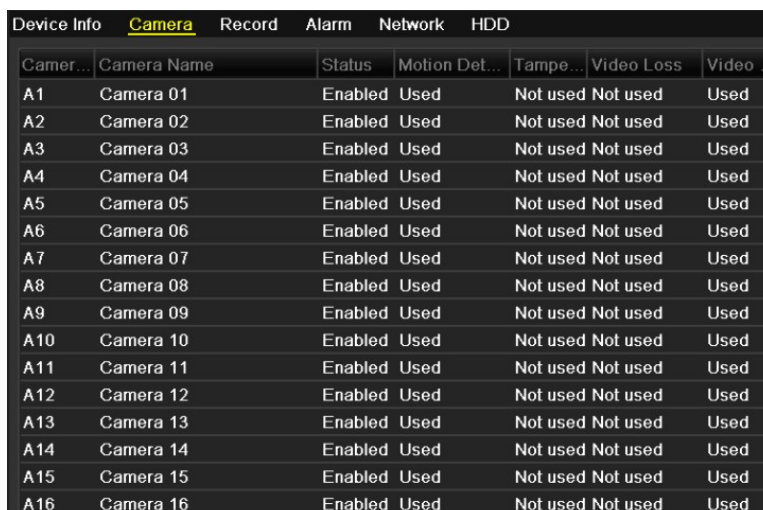
Device Name	Embedded Net DVR
Model	DS-7216HWI-SH
Serial No.	1620121025AAWR201210134WCVU
Firmware Version	V0.0.0, Build 000000
Encoding Version	V0.0, Build 000000

図 12.1 デバイス情報画面

#### 12.1.2. カメラ情報の表示

手順：

1. システム情報の画面に入ります。  
[メニュー]>[メンテナンス]>[システム情報]
2. 各カメラの状態を表示するには、カメラ情報メニューの[カメラ]タブをクリックします。



The screenshot shows a web interface with a dark background. At the top, there are tabs: 'Device Info', 'Camera' (highlighted in yellow), 'Record', 'Alarm', 'Network', and 'HDD'. Below the tabs is a table with the following data:

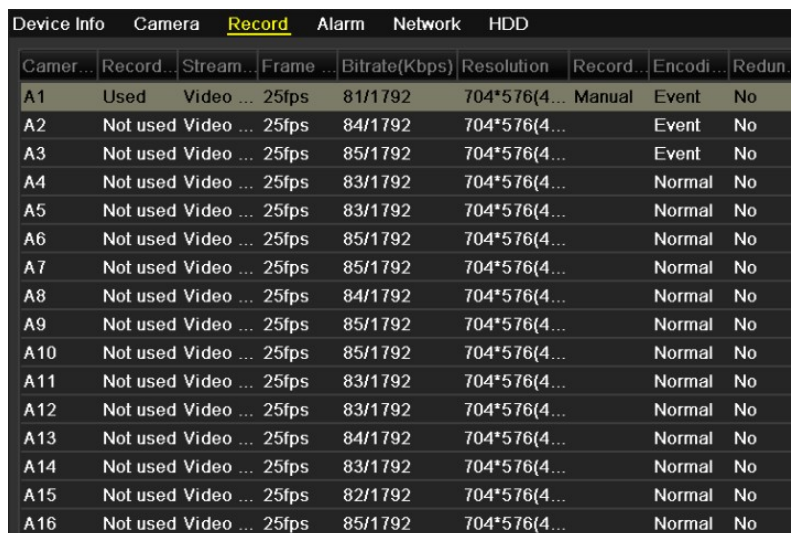
Camera...	Camera Name	Status	Motion Det...	Tampe...	Video Loss	Video ...
A1	Camera 01	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A2	Camera 02	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A3	Camera 03	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A4	Camera 04	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A5	Camera 05	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A6	Camera 06	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A7	Camera 07	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A8	Camera 08	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A9	Camera 09	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A10	Camera 10	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A11	Camera 11	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A12	Camera 12	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A13	Camera 13	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A14	Camera 14	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A15	Camera 15	Enabled	Used	Not used	Not used	Used
A16	Camera 16	Enabled	Used	Not used	Not used	Used

図 12.2 カメラ情報画面

### 12.1.3. 録画状態の表示

手順:

1. システム情報の画面を表示します。  
[メニュー]>[メンテナンス]>[システム情報]
2. 録画状態と、各カメラの符号化パラメータを表示するには、[録画状態]タブをクリックします。




Device Info	Camera	Record	Alarm	Network	HDD			
Camera...	Record...	Stream...	Frame...	Bitrate(Kbps)	Resolution	Record...	Encodi...	Redun...
A1	Used	Video ...	25fps	81/1792	704*576(4...	Manual	Event	No
A2	Not used	Video ...	25fps	84/1792	704*576(4...		Event	No
A3	Not used	Video ...	25fps	85/1792	704*576(4...		Event	No
A4	Not used	Video ...	25fps	83/1792	704*576(4...		Normal	No
A5	Not used	Video ...	25fps	83/1792	704*576(4...		Normal	No
A6	Not used	Video ...	25fps	85/1792	704*576(4...		Normal	No
A7	Not used	Video ...	25fps	85/1792	704*576(4...		Normal	No
A8	Not used	Video ...	25fps	84/1792	704*576(4...		Normal	No
A9	Not used	Video ...	25fps	85/1792	704*576(4...		Normal	No
A10	Not used	Video ...	25fps	85/1792	704*576(4...		Normal	No
A11	Not used	Video ...	25fps	83/1792	704*576(4...		Normal	No
A12	Not used	Video ...	25fps	83/1792	704*576(4...		Normal	No
A13	Not used	Video ...	25fps	84/1792	704*576(4...		Normal	No
A14	Not used	Video ...	25fps	83/1792	704*576(4...		Normal	No
A15	Not used	Video ...	25fps	82/1792	704*576(4...		Normal	No
A16	Not used	Video ...	25fps	85/1792	704*576(4...		Normal	No

図 12.3 記録状態画面

### 12.1.4. ネットワーク状態を表示する

手順:

1. システム情報の画面に入ります。  
[メニュー]>[メンテナンス]>[システム情報]
2. ネットワーク情報を表示するには、ネットワーク情報メニューの[ネットワーク状態]タブをクリックします。



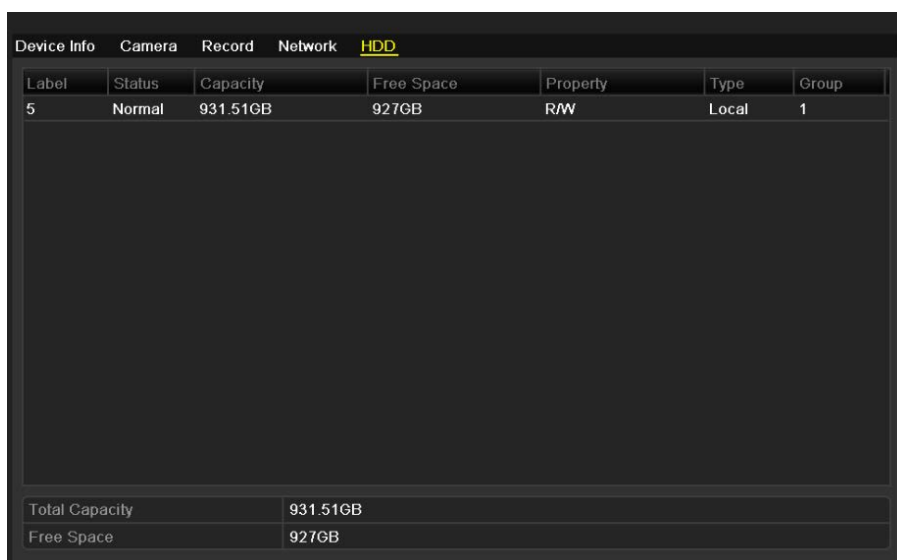
Device Info	Camera	Record	Network	HDD
NIC			LAN1	
IPv4 Address			172.6.24.64	
IPv4 Subnet Mask			255.255.255.0	
IPv4 Default Gateway			172.6.24.1	
IPv6 Address 1			fe80::240:48ff:fe90:c113/64	
IPv6 Address 2				
IPv6 Default Gateway				
Preferred DNS Server			0.0.0.0	
Alternate DNS Server			0.0.0.0	
Enable DHCP			Disabled	
Enable PPPoE			Disabled	
PPPoE Address				
PPPoE Subnet Mask				
PPPoE Default Gateway				

図 12.4 ネットワーク情報画面

### 12.1.5. HDD の情報を表示する

手順 :

1. システム情報の画面に入ります。  
[メニュー]>[メンテナンス]>[システム情報]
2. HDD の状態、空き領域、プロパティ等を表示するために、HDD の情報メニューの[HDD 状態]タブをクリックします。



Label	Status	Capacity	Free Space	Property	Type	Group
5	Normal	931.51GB	927GB	R/W	Local	1
Total Capacity		931.51GB				
Free Space		927GB				

図 12. 5HDD の情報画面

## 12.2. ログファイルの検索とエクスポート

目的：操作、アラーム、異常とデバイスの情報を表示したり、いつでも書き出すことができ、ログファイルに保存することができます。

手順：

1. ログ検索画面に入ります。

[メニュー]>[メンテナンス]>[ログ情報]の検索





図 12.6 ログ検索画面

2. 開始時間を含む検索を絞り込むために、ログの検索条件、終了時刻、メインリストとサブリストを設定します。
3. ログ・ファイルの検索を開始するには[検索]ボタンをクリックします。
4. マッチするログファイルは以下のようにリスト表示されます。

注意：最大 2000 のログファイルを毎回表示させることができます。

Log Search Log Export						
Start Time	05-30-2012		00:00:00			
End Time	05-30-2012		23:59:59			
Major Type	All					
Minor Type	All					
No.	Major Type	Time	Minor Type	Paramet...	Play	Details
1	Operation	05-30-2012 08:43:08	Power On	N/A	—	✓
2	Alarm	05-30-2012 08:43:08	Alarm Input	N/A	—	✓
3	Alarm	05-30-2012 08:43:08	Alarm Input	N/A	—	✓
4	Alarm	05-30-2012 08:43:08	Alarm Input	N/A	—	✓
5	Alarm	05-30-2012 08:43:08	Alarm Input	N/A	—	✓
6	Operation	05-30-2012 08:43:11	Local Operation:...	N/A	—	✓
7	Operation	05-30-2012 08:43:11	Local Operation:...	N/A	—	✓
8	Alarm	05-30-2012 08:43:16	Start Motion Det...	N/A	⏪	✓
9	Alarm	05-30-2012 08:43:55	Stop Motion Det...	N/A	⏪	✓
10	Alarm	05-30-2012 08:43:57	Start Motion Det...	N/A	⏪	✓
11	Alarm	05-30-2012 08:44:11	Stop Motion Det...	N/A	⏪	✓
12	Alarm	05-30-2012 08:44:13	Start Motion Det...	N/A	⏪	✓
13	Alarm	05-30-2012 08:44:32	Stop Motion Det...	N/A	⏪	✓
Total: 352 P: 1/4						

図 12.7 検索結果をログに記録する

5. 各ログの  ボタンをクリックするか、または詳細情報を表示するにはダブルクリックします。関連するビデオファイルを表示するには、 ボタンをクリックします。

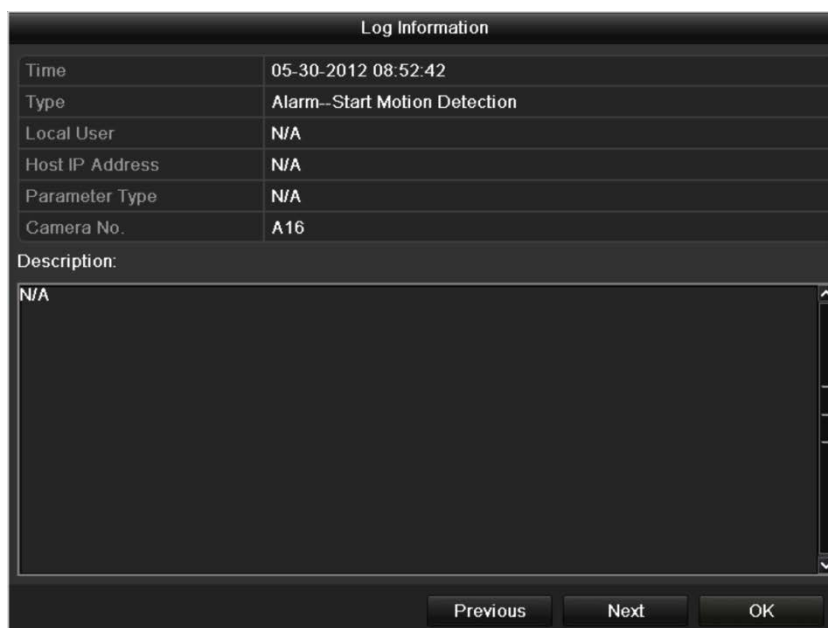


図 12.8 詳細をログに記録する

6. ログ・ファイルをエクスポートには、[エクスポート]メニューに入り、[エクスポート]ボタンをクリックします。
7. また、HDD に格納されているすべてのログファイルを書き出すことができます。

- 1) ログのエクスポート画面に入ります。  
[メニュー]>[メンテナンス]>[ログ情報]>[ログのエクスポート]



図 12.9 ログのエクスポート画面

- 2) チェックボックスの HDD を選択して、エクスポート画面を表示し [エクスポート] をクリックし  をチェックします。



図 12.10 ログファイルのエクスポート

8. デバイス名のドロップダウンリストから、バックアップデバイスを選択します。
9. 選択したバックアップデバイスにログ・ファイルをエクスポートするには、[エクスポート]をクリックします。バックアップデバイスに新しいフォルダを作成するには、[新規フォルダ]ボタンをクリックします。またログのエクスポート前にバックアップデバイスをフォーマットするには[書式]ボタンをクリックします。

注意：

- 1) ログのエクスポートを操作する前に、デバイスにバックアップ・デバイスを接続してください。
- 2) バックアップデバイスにエクスポートされたログファイルは例えば 20110514124841logBack.txt などと名前が付けられます。

### 12.3. 設定ファイルのインポート/エクスポート

目的：デバイスの設定ファイルをバックアップ用にローカルデバイスにエクスポートすることができます。同じパラメータで設定する場合は、1つのデバイスの設定ファイルを複数のデバイスにインポートできます。

手順：

1. インポート/エクスポート設定ファイル画面に入ります。

[メニュー]>[メンテナンス]>[インポート/エクスポート]

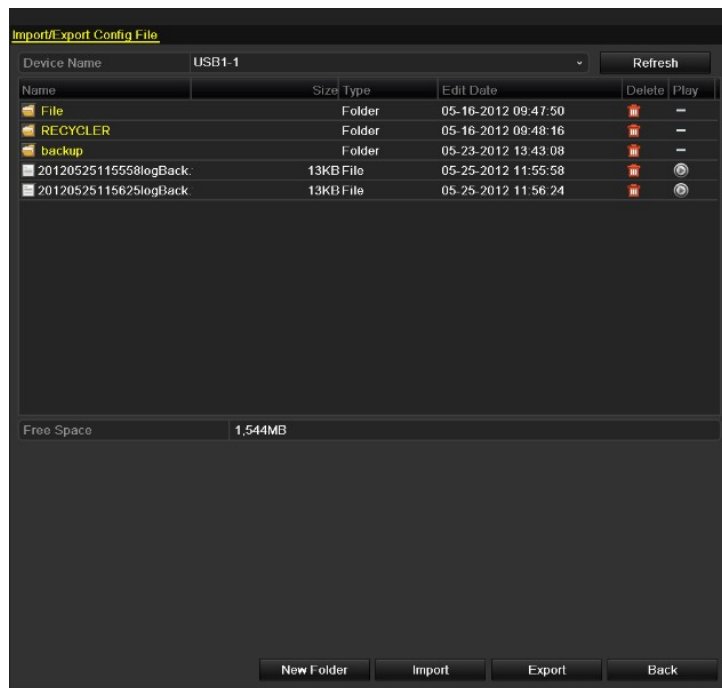


図 12.11 設定ファイルのインポート/エクスポート

2. 選択したローカルバックアップデバイスに設定ファイルをエクスポートするには、[エクスポート]ボタンをクリックします。
3. 設定ファイルをインポートするには、選択したバックアップデバイスからファイルを選択し、[インポート]ボタンをクリックします。インポートプロセスが完了したら、デバイスを再起動する必要があります。

注意：設定ファイルのインポートを終えた後、デバイスは自動的に再起動します。



## 12.4. システムのアップグレード

目的：デバイスのファームウェアは、ローカルバックアップデバイスまたはリモートFTPサーバーよりアップグレードすることができます。

### 12.4.1. ローカルバックアップデバイスによるアップグレード

手順：

1. ファームウェアのアップデートファイルが置かれているローカルのバックアップデバイスをお使いのデバイスに接続します。
2. アップグレード画面に入ります。  
[メニュー]>[メンテナンス]>[アップグレード]
3. ローカルアップグレードメニューに入り、[ローカルアップグレード]タブをクリックします。

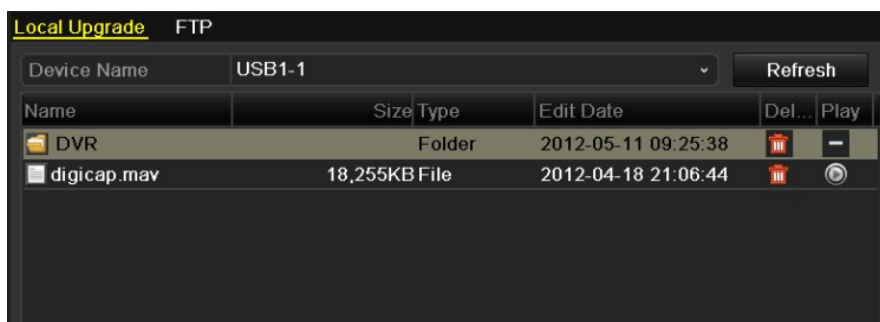


図 12.12 ローカルアップグレード画面

4. バックアップデバイスからアップデートファイルを選択します。
5. アップグレードを開始するには[アップグレード]ボタンをクリックします。
6. アップグレードが完了したら、新しいファームウェアを有効にするためにデバイスを再起動します。

### 12.4.2. FTP によるアップグレード

始める前に：同じローカルエリアネットワーク内のPC（FTPサーバーを実行している）とデバイスを設定します。PC上でサードパーティのTFTPソフトウェアを実行して、TFTPサーバーのルートディレクトリにファームウェアをコピーします。

手順：

1. アップグレード画面に入ります。  
[メニュー]>[メンテナンス]>[アップグレード]
2. ローカルアップグレード画面に入るために[FTP]タブをクリックします。

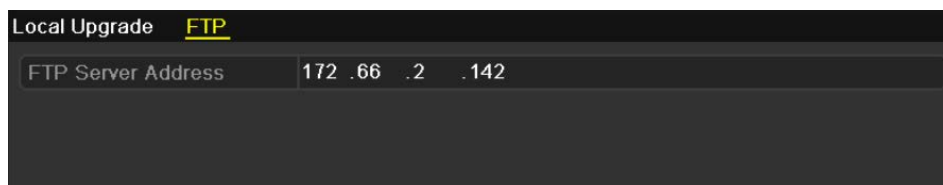


図 12. 13FTP によるアップグレード画面

---

3. テキストフィールドに FTP サーバーアドレスを入力してください。
4. アップグレードを開始するには[アップグレード]ボタンをクリックします。
5. アップグレードが完了したら、新しいファームウェアを有効にするためにデバイスを再起動します。

## 12.5. デフォルト設定の復元

手順:

1. デフォルト設定画面に入ります。

[メニュー]>[メンテナンス]>[デフォルト]

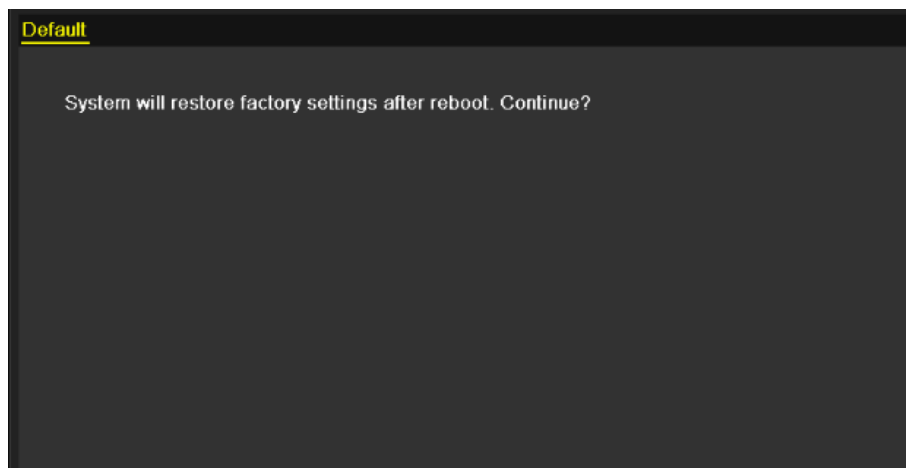


図 12. 14 工場出荷時設定に戻す

2. デフォルト設定を復元するには、[OK] ボタンをクリックします。

注意：ネットワークパラメータ（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MTU とサーバーポートを含む）を除いて、装置の他のすべてのパラメータが工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。

## 13. その他

### 13.1. 基本設定の構成

目的 : BNC出力を標準設定することができ、VGA/HDMI出力解像度、マウスポインタの速度等が変更できます。

手順 :

1. 基本設定画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[基本設定]
2. [基本設定]タブを選択します。

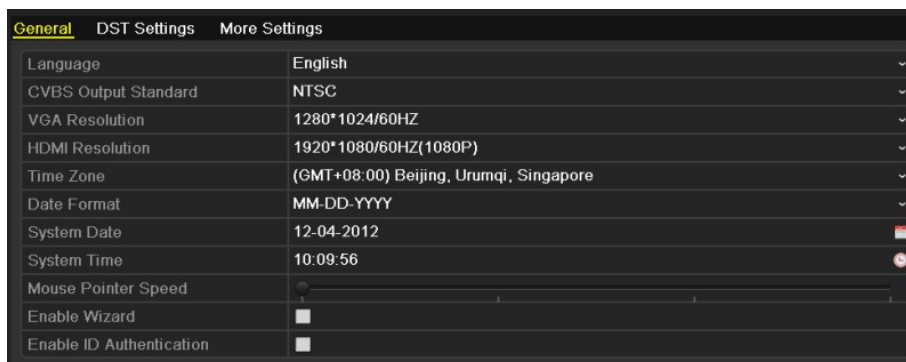


図 13.1 基本設定画面

3. 以下の設定を行います。
  - 言語 : デフォルトの言語は英語です。
  - CVBS 出力規格:ビデオ規格は同じでなければなりません。NTSC または PAL に CVBS 出力規格を選択します。
  - 解像度:モニタ画面の解像度と同じでなければなりません。VGA/HDMI の出力解像度を選択します。
  - タイムゾーン : タイムゾーンを選択します。
  - 日付形式 : 日付の表示形式を設定します。
  - システム日付 : システムの日付を選択します。
  - システム時間 : システムの時刻を設定します。
  - マウススピード : マウスポインタの速度を設定します。4 つのレベルが設定可能です。
  - ウィザード有効 : デバイス起動時のウィザードを有効/無効にします。
  - ID 認証有効 : ログインパスワードの使用を有効/無効にします。
4. 設定を保存するには[適用]ボタンをクリックします。

## 13.2. RS-232 の設定

手順:

1. 基本設定画面に入ります。

[メニュー]>[構成]>[RS-232]



RS-232 Settings	
Baud Rate	115200
Data Bit	8
Stop Bit	1
Parity	None
Flow Ctrl	None
Usage	Console

図 13.2 RS-232 設定画面

2. 設定を保存するには[適用]ボタンをクリックします。

### 13.3. DST の設定

手順:

1. 基本設定画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[一般]
2. DST 設定を選択します。

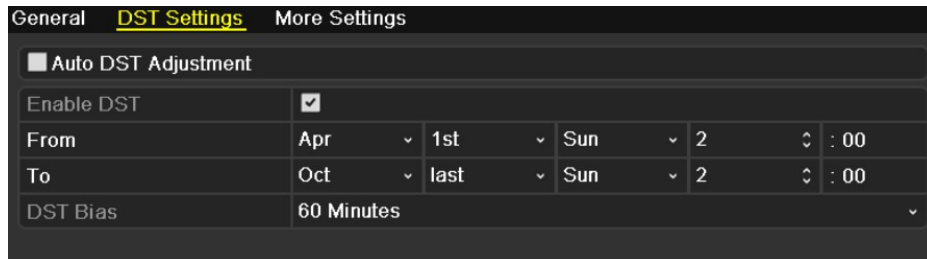


図 13.3 DST 設定画面

3. 設定を保存するには[適用]ボタンをクリックします。

## 13.4. 詳細設定

手順：

1. 基本設定に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[基本設定]
2. 詳細設定画面を入力するには、詳細設定タブをクリックします。

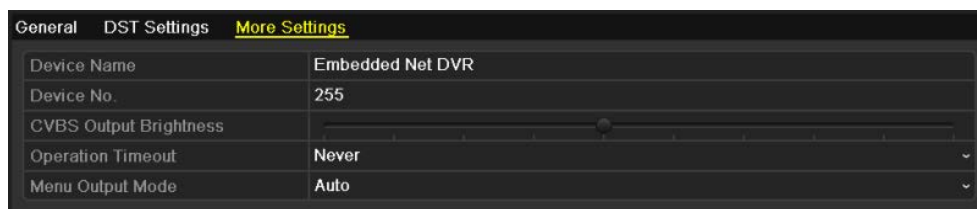


図 13.3 詳細設定画面

3. 以下の設定を行います。
    - デバイス名：デバイスの名前を編集します。
    - デバイス NO：デバイスのシリアル番号を編集します。デバイス番号は、1～255 の範囲で設定し、デフォルトの番号は 255 です。
    - CVBS 出力輝度：ビデオ出力の明るさを調整します。
    - 操作タイムアウト：メニューの非アクティブ設定されたタイムアウト時間。例えば、タイムアウト時間を 5 分に設定されている場合、システムは、メニュー操作が 5 分間なければ現在の操作メニューを終了します。
    - メニュー出力:Auto にメニュー出力モードを選択し、HDMI/VGA またはメイン CVBS。
- 注意：
1. 全てのモニタ接続時に Auto を選択すると、デバイスは自動的にメイン出力を HDMI/VGA 出力とし、補助出力として CVBS 出力を検出します。
  2. 出力モードを変更したら、新しい設定を有効にするためにデバイスを再起動する必要があります。
  3. 設定を保存するには[適用]ボタンをクリックします。

## 13.5. ユーザーアカウントの管理

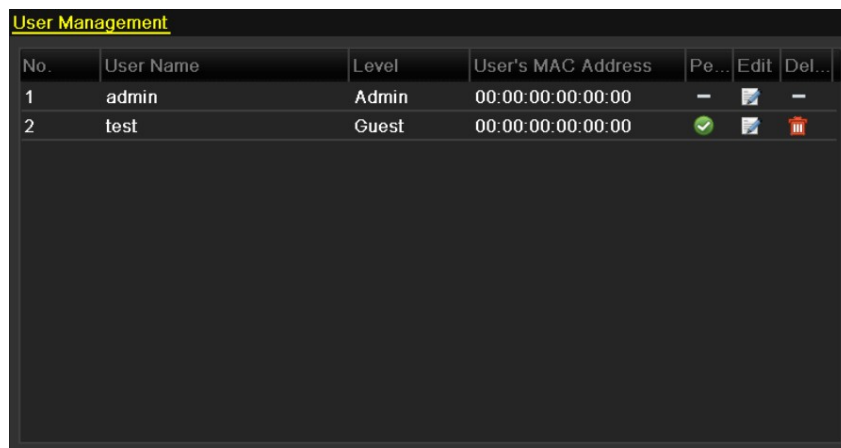
目的：デバイスのデフォルトのアカウントは管理者です。管理者のユーザー名はadminで、パスワードは12345です。管理者は、ユーザーの追加や削除、パラメータ設定を行う権限を持っています。

### 13.5.1. ユーザーの追加

手順：

1. ユーザー設定画面に入ります。

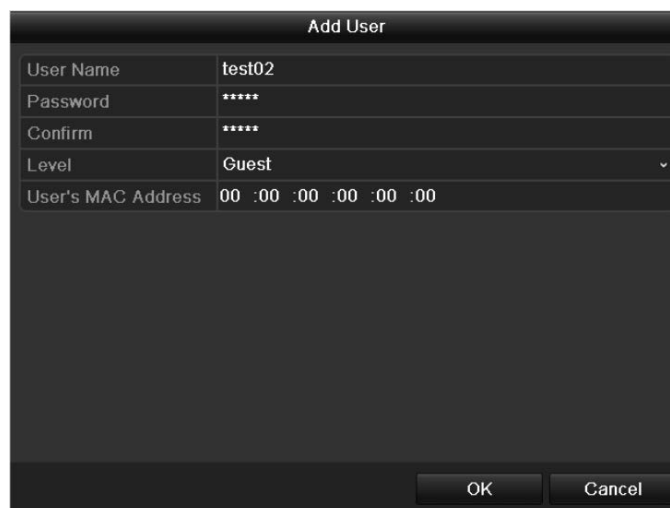
[メニュー]>[構成]>[ユーザー設定]



No.	User Name	Level	User's MAC Address	Pe...	Edit	Del...
1	admin	Admin	00:00:00:00:00:00	—		—
2	test	Guest	00:00:00:00:00:00	✓		

図 13.4 ユーザー設定画面

2. ユーザーの追加インターフェースを入力するには[追加]ボタンをクリック。



Add User	
User Name	test02
Password	*****
Confirm	*****
Level	Guest
User's MAC Address	00 :00 :00 :00 :00 :00

図 13.5 ユーザー追加のメニュー

3. [ユーザー名]、[パスワード]、[レベル]と[ユーザーMAC アドレス]を含む、新しいユーザーの情報を入力します。レベル：オペレータまたはゲストにユーザーレベルを設定します。ユーザーレベルが異なると、操作の内容が異なります。



- オペレータ：オペレータのユーザーレベルはローカル設定のリモートログ検索およびリモート設定の双方向オーディオログ検索、カメラ設定の全ての操作権限を持っています。
  - ゲスト：ゲストユーザは、リモート設定のリモートログ検索とローカル設定におけるローカルログ検索の権限を持っています。カメラの設定では、ローカル/リモート再生をの権限を持っています。ユーザーMAC アドレス：デバイスにログオンしたリモート PC の MAC アドレス。それが設定され、有効になっている場合は、それだけでこの MAC アドレスを持つリモートユーザがデバイスにアクセスできるようになります。
4. 設定を保存し、ユーザー管理画面に戻り、[OK]ボタンをクリックします。追加された新しいユーザーは、図 13.6 に示すように、リストに表示されます。

No.	User Name	Level	User's MAC Address	Pe...	Edit	Del...
1	admin	Admin	00:00:00:00:00:00	-		-
2	01	Operator	00:00:00:00:00:00			

図 13.6 ユーザー管理画面に表示された追加ユーザー

5. リストからユーザーを選択し、アクセス許可設定の画面に入るために ボタンをクリックします。

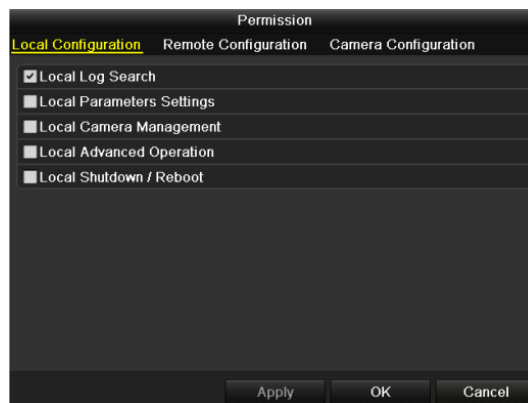


図 13.7 ユーザーアクセス許可設定画面

ユーザーのローカル設定、リモート設定とカメラ設定の操作を許可する設定。

- ローカル設定
- ローカルログ検索：ログおよびデバイスのシステム情報を検索し、表示します。
- ローカルパラメータ設定：工場出荷時のデフォルトパラメータ設定を復元し、設定ファイルにインポート/エクスポートします。
- ローカル高度な操作:HDD の管理操作 (HDD のプロパティを設定や HDD の初期化)、システムファームウェアのアップグレード、I/O アラームの出カクリアなど。
- ローカルシャットダウン/再起動：シャットダウンまたはデバイスの再起動。リモート設定
- リモートログ検索：リモートデバイス上に保存されているログを表示します。

- リモートパラメータ設定：リモートから、工場出荷時のデフォルトパラメータ設定を復元し、設定ファイルをインポート/エクスポートします。
  - リモートシリアルポート制御：RS-485 ポートの設定を行います。
  - リモートビデオ出力コントロール：リモートコントロールパネルの信号を送信します。
  - 双方向音声：リモートクライアントおよびデバイス間の双方向受信を実現します。
  - リモートアラームコントロール：リモートからのアラーム（リモート・クライアントにアラームおよび異常メッセージを通知します）出力を制御します。
  - リモート高度な操作：リモート I/O のアラーム出力のクリア、システムファームウェアのアップグレード、HDD の管理（HDD のプロパティを設定や HDD の初期化）。
  - リモートシャットダウン/再起動：リモートからのシャットダウンやデバイスの再起動。カメラ設定
  - リモートライブビュー：リモートで選択したカメラのライブ映像を表示。
  - ローカル手動操作：ローカルで手動録画、画像の取り込みと、選択したカメラのアラーム出力を開始/停止します。
  - リモート手動操作：リモートから手動録画、画像キャプチャと、選択したカメラのアラーム出力を開始/停止します。
  - ローカルでの再生：ローカルで選択したカメラの録画ファイルを再生します。
  - リモート再生：リモートから選択したカメラの録画ファイルを再生します。
  - ローカルPTZコントロール：ローカルで選択したカメラのPTZ動作を制御します。
  - リモートPTZコントロール：リモートで選択したカメラのPTZ動作を制御します。
  - ローカルビデオのエクスポート：選択したカメラのローカル録画ファイルをエクスポートする。注意：設定された操作権限でカメラの設定画面上でカメラを選択する必要があります。
6. 設定を保存して終了するには、[OK] ボタンをクリックします。

注意：admin ユーザーアカウントはのみ工場出荷時のデフォルトパラメータに復元する権限を持っています。

### 13.5.2. ユーザーの削除

手順：

1. ユーザー管理画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[ユーザー設定]
2. リストから削除するユーザーを選択します。

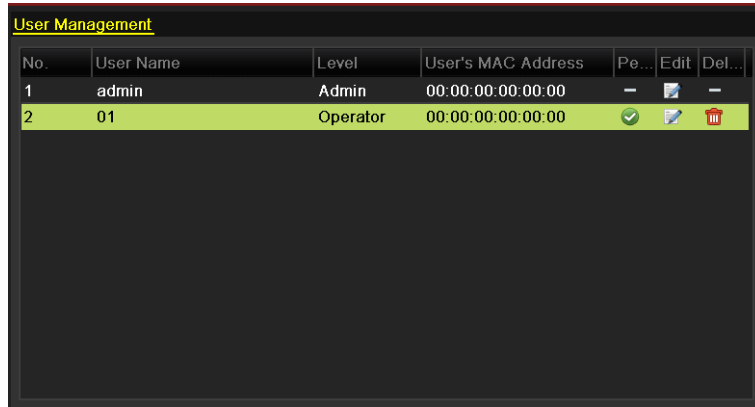


図 13.8 ユーザーの削除

3. 選択したユーザーを削除するには、 アイコンをクリックします。

### 13.5.3. ユーザーの編集

手順：

1. ユーザー管理画面に入ります。  
[メニュー]>[構成]>[ユーザー設定]
2. リストから編集するユーザーを選択します。

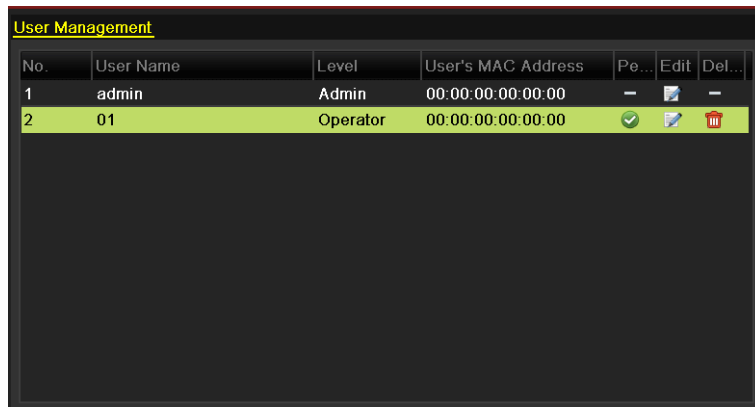


図 13.9 ユーザーの編集

3. ユーザー編集画面に入るために アイコンをクリックします。

Edit User	
User Name	01
Password	*****
Confirm	*****
Level	Operator
User's MAC Address	00 : 00 : 00 : 00 : 00 : 00

Apply OK Cancel

図 13.10 ユーザー編集画面

- 
4. ユーザー名、パスワード、レベルや MAC アドレスなどのユーザー情報を編集します。
  5. 設定を保存し、メニューを終了するには[OK]ボタンをクリックします。

#### 13.5.4. 管理者のパスワード変更

目的：adminユーザーアカウントのパスワードは、ユーザー管理メニューで変更できます。

手順：

1. ユーザー管理画面に入ります。

[メニュー]>[構成]>[ユーザー設定]

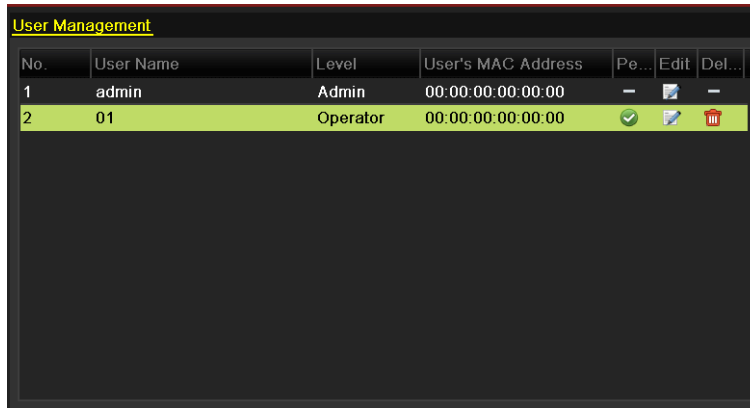


図 13.11 パスワードの変更

2. admin ユーザーを選択し、をクリックしてパスワードを変更します。



図 13.12 パスワードの変更

3. 古いパスワードを入力し、チェックボックスに、新しいパスワードを入力し、メニューのパスワードを確認にチェックを入れます。
4. 設定を保存し、メニューを終了するには[OK]ボタンをクリックします。

## 13.6. ログアウト/シャットダウン/デバイスの再起動

手順:

1. シャットダウン画面に入ります。

[メニュー]>[シャットダウン]

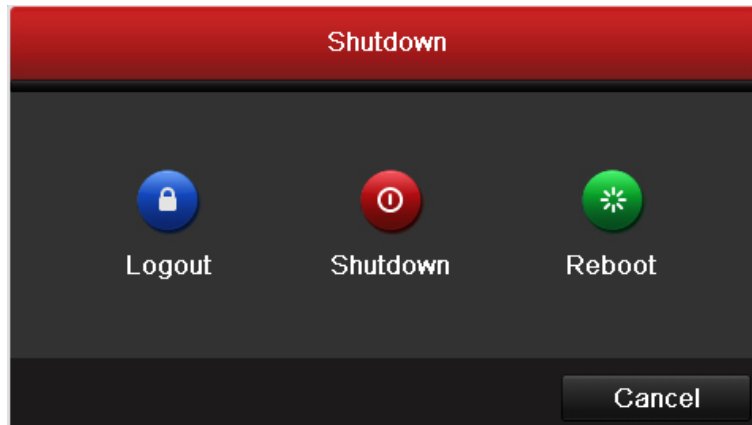


図 13.13 シャットダウンメニュー

2. ログアウトするには、[ログアウト]ボタンをクリックする。デバイスをシャットダウンするにはデバイスの[シャットダウン]ボタンをクリックする。デバイスを再起動する場合は[再起動]ボタンをクリックします。

注意：システムをログアウトした後、画面上のメニュー操作は無効になります。システムにログインするためのユーザー名とパスワードが要求されます。

## 14. iPhone、iPAD、Android と連携

iVMS-4500 は、最高 4 つのチャンネルのリアルタイム・ビデオ・プレビューが可能。iPhone や iPad、Android のタッチとドラッグ操作の特徴を完全利用することにより、プレビューモードでカメラ PTZ の制御ができる。そのうえ、最大 16 台のデバイスが管理されることが可能(デバイスプロフィールの追加、削除と修正)。

iVMS-4500 は、洗練された特徴、例えば横画面モード、スナップショット、その他も提供する。iVMS-4500 は AppStore からダウンロード、利用可能である。

### 14.1. IOS の場合

#### 1. インストール

iPhone、または iPad の AppStore で「iVMS-4500」を検索して、インストールしてください。



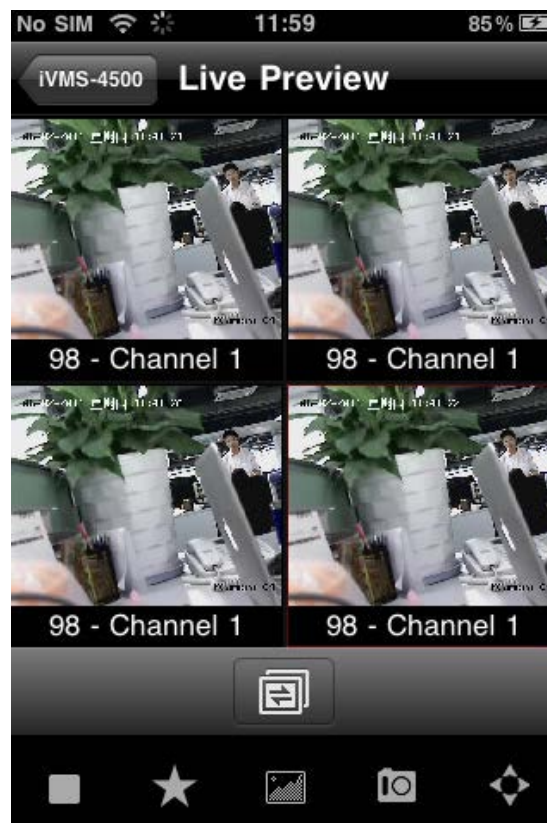
2. インストール後、起動する。
3. ユーザーを登録する。次の画面が出てくる。



4. 「Devices」をタッチして、デバイスを追加する。



5. 「save」をタッチして保存した後「Preview」をタッチして各チャンネルの映像を確認する。





6. 「特定タイルに対して、ダブルタッチしたら、全画面表示することが可能。」



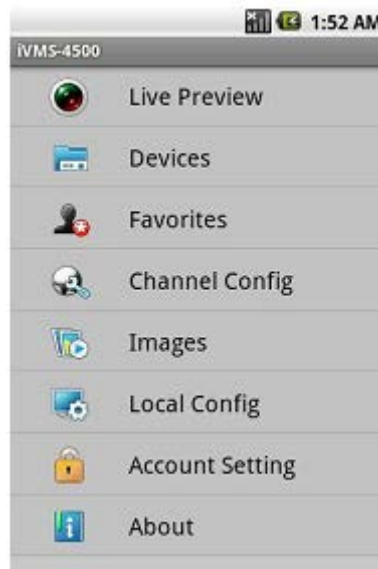
## 14.2. Android の場合

### 1. インストール

マーケットから「iVMS-4500」を検索して、インストールしてください。

### 2. インストール後、起動する。

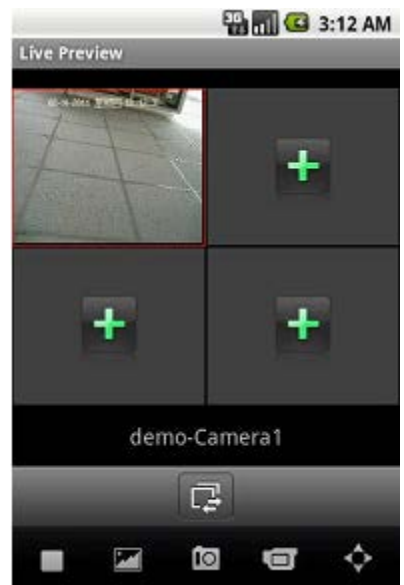
### 3. ユーザーを登録する。次の画面が出てくる。



### 4. 「Devices」をタッチして、「add」でデバイスを追加する。



### 5. 追加した後「Preview」をタッチして、「+」をタッチして各チャンネルの映像を確認する。



6. 「特定タイルに対して、ダブルタッチしたら、全画面表示することが可能。」



## 15. 付録

### 15.1. 用語集

- デュアルストリーム：デュアルストリームがネットワークを介して低解像度のストリームを送信しながら、局所的に高解像度のビデオを記録するために使用する技術です。2つのストリームは4CIFおよびCIFの最大解像度を有するサブストリームの最大解像度を持つメインストリームでは、デバイスによって生成されます。
- DVR：デジタルビデオレコーダーの略。DVRは、アナログカメラからのビデオ信号を受け入れる信号を圧縮し、そのハードドライブにデータを保存することができる装置です。
- HDD：ハードディスクドライブの略。磁気面とプラッタ上にデジタル符号化されたデータを格納した記憶媒体。
- DHCP：ダイナミックホストコンフィギュレーションプロトコル（DHCP）は、インターネット・プロトコル・ネットワークでの動作のための設定情報を取得するための装置（DHCPクライアント）で使用されるネットワークアプリケーションプロトコルです。
- HTTP：HyperText 転送プロトコルの略。ネットワークを介してサーバーとブラウザ間のハイパーテキストの要求と情報を転送するためのプロトコルです。
- PPPoEの：PPPoEを、イーサネット上のポイントツーポイントプロトコルは、イーサネットフレームの内側にポイントツーポイントプロトコル（PPP）フレームをカプセル化するためのネットワークプロトコルです。個々のユーザーがイーサネット上とプレーンメトロイーサネットネットワークにおけるADSLトランシーバ（モデム）に接続し、ADSLサービスで、主に使用されます。
- DDNS：ダイナミックDNSは（広告をリアルタイムで変更するには、ドメイン・ネーム・サーバーに通知するために、このようなインターネットプロトコルスイートを使用して、ルータやコンピュータシステムなどのネットワーク機器用の機能を提供する方法、プロトコル、またはネットワークサービスですその構成されたホスト名、アドレスまたはDNSに格納されている（ad-hoc）アクティブなDNS設定です。
- ハイブリッドDVR：ハイブリッドDVRはDVRとNVRの組み合わせです。
- NTP：ネットワークタイムプロトコルの略。ネットワークを介してコンピュータのクロックを同期させるために設計されたプロトコルです。
- NTSC：全米テレビジョンシステム委員会の略。NTSCは、米国や日本などの国々で使用されるアナログテレビの規格です。NTSC信号の各フレームは、60Hzで525本の走査線が入っています。
- NVR：ネットワークビデオレコーダーの略。NVRは、IPカメラ、IPドームと他のDVRの一元管理とストレージに使用されるPCベースまたは埋め込まれたシステムにすることができます。
- PAL：相交流ラインの略。PALは、世界の大部分で放送中のテレビシステムで使用されている別のビデオ標準です。PAL信号は、50Hzで625本の走査線が入っています。
- PTZ：パン、チルト、ズームの略。PTZカメラは、カメラが左右（パン）、アップと

ダウン(ティルト)、ズームイン、ズームアウトすることができるモータ駆動システムです。

- USB : Universal Serial Bus の略。USB はプラグアンドプレイホストコンピュータとのインターフェースデバイスへのシリアルバス規格です。

## 15.2. FAQ

- 機器からブザー音が出るのは？デバイス上の警告音で可能性のある理由は以下のとおりです。
  - a) 装着されている HDD が無い。
  - b) HDD が初期化されていません。
  - c) HDD のエラー。HDD が無い場合のブザー音をキャンセルし、デバイスを使用するには、異常設定画面に入ります。詳細については、異常処理を参照してください。
- 赤外線リモコンで操作するとき機器が応答しない？赤外線リモートコントロールを使用したセクションを読んで、チェックしてください：
  - a) 電池の極性が逆になっていませんか？
  - b) 電池は新しいですか？
  - c) リモコンは改造されていないか？
  - d) 近くに強い光又は蛍光灯がありませんか？
- PTZ が反応しないように見えるのはなぜでしょうか？PTZ カメラが応答しないと思われる場合は、以下チェックして下さい：
  - a) RS-485 ケーブルが正しく接続されているか？
  - b) ドームデコーダのタイプは正しいですか？
  - c) ドームデコーダ速度の設定は正しいですか？
  - d) ドームデコーダアドレスのビット構成が正しいことを確認してください。
  - e) メインボードの RS-485 インターフェースが中断されていないこと。
- 動体検知を設定した後に記録されていない？動体検知を設定後に記録した映像が存在しない場合、以下チェックして下さい：
  - a) 録画スケジュールは、レコードの設定に記載されている手順に従って、正しく設定されているか？
  - b) モーション検知領域（モーション検知の設定を参照）が正しく設定されていますか？
  - c) チャンネル（動体検知の設定を参照してください）は動体検知にトリガされているか？
- 録画ファイルをエクスポートするために、デバイスが USB デバイスをなぜ検出しないのですか？デバイスおよび USB デバイスに互換性がない可能性があります。
- デバイスは、ライブビューモードになっているとメニューが表示されません。それは、マウスや赤外線リモコンが反応していません。お使いのデバイスは、補助モードであってもよい。VOIP のボタンは、赤外線リモコンが押されたときに発生します。操作の前のモードに戻るには、もう一度 VOIP のボタンを押した後、赤外線リモコンの ENTER ボタンを押します。